昭和八年二月二十日第三種郵便物認可

滿洲日報

三月一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

總退却中の熱河敵軍 古北口長城線で決戰
承德の支持も遂に斷念

【新京特電】熱河省内に立籠つて治安を紊し省民をして塗炭の苦しみに陷れてゐた反滿抗日匪軍及び學良正規軍等は斷然起つた日滿討熱軍のため算を亂して總退却中だが、日滿兩軍は急追又急追、敵は承德の支持も到底望みなしと斷念、古北口關の長城線を最後の一線となし天險を利用して一大決戰を試みる作戰を進めてゐる模樣である

朝陽皇軍けさ前進

【新京特電】關東軍司令部發表＝神速なる行動によつて朝陽を占領し敵膽を寒からしめた皇軍の一部は一日早朝同地を出發前進に移れり

【奉天電話】朝陽に集結した第〇〇團は一日早朝より行動を開始し西進中であるが、同方面は地形嶮岨にして行軍は相當困難なる模樣である、又第〇〇團も引續き〇〇方面に向け前進中である

湯玉麟逃げ路に苦心

【新京特電】匪賊軍の第一線部隊として日滿兩軍に應戰せしめてゐる學良正規軍は、その第一線部隊は各方面とも連戰連敗總崩れの實情にあるので、浮足立ちつゝあるが、承德の離宮内に總司令部を設置してゐる湯玉麟も如何にして北平へ脱出せんかと日夜憔慮しその唯一の脱出路たる萬里の長城中最も嶮岨を以て知られてゐる古北口關への通路警戒は頗る嚴重を極めつゝあり、尚省民の膏血を絞つた熱河首腦者の資産は戰鬪前既に漸次北平その他の安全地帶へ輸送を終つたが、承德の人心が極度に不安を釀して來たので、妻妾家族等の避難準備に多忙を極める一方、一般居住支那人の避難者も古北口關を中心として雪の山路を北平方面へ長蛇の陣を造つてゐる模樣である

星明りをたよりに 凌源街道を進擊

【大杖子二十八日發】長蛇の列をなして前進を繼續する米山枝隊の〇〇〇隊は暗夜の凌源街道を星明りを頼りに前進を開始し、一里餘に亘る〇〇〇大縱隊は轟々たるエンヂンを響かせつゝ走る壯烈な光景を展開してゐる、時に二十八日午後九時、〇〇は暗夜を衝いて一路目的地に進みつゝある

【大杖子二十八日發】廿八日午後七時大杖子を占據するや矢崎參謀米山隊長は先遣隊の次ぎの作戰を鳩首協議の結果、敵軍は今日までの戰ひに既に完全に浮足立ち最早立ち直り不可能の態となつた、この機を逸せず不眠不休急追し一擧に敵を殲滅すべしとの結論に達し直に消燈前進の命を下した蜿蜒長蛇の如き先遣隊の急足隊は暗夜の凌源街道を消燈した儘星明りをたよりに前進を開始した、矢崎參謀は米山隊長と肩を並べ自動車につゝ立ち地圖を片手に前方を睨みつけながら秘策を練る、命令は次々と發せられ、一里餘に亘る〇〇の大縱隊は轟々たるエンヂンの音を響かせながら整然と突破する、壯絕な光景だ

皇軍の朝陽入城（山口特派員撮影）

沙帽山占據

【奉天電話】服部部隊は二十七日龍潭溝附近にて二千名の反滿軍を擊破しこれを西南方の山中に追込み更に同主力前衛部隊も同日午後堅固な陣地を有する沙帽山陣地を攻擊し午後三時これを占據した

聯盟脫退通告
來週早々樞府御諮詢を經て 本月中旬に發送せん

【東京一日發】帝國政府の聯盟脫退通告に關する手續は外務首腦部と法制局と連絡をとり準備してゐるが、今週中には準備完了し閣議の正式決定を俟つて來週早々樞府御諮詢の手續を執る豫定である、政府としては三月中旬正式通告發送手續を執りたいとの希望を抱いてゐる、諮詢案は聯盟脫退通告書文と脫退理由書である

陸軍々縮代表 引揚げ準備
海軍側は當分居殘る

【ジユネーヴ二十八日發】松平、佐藤兩大使は二十八日午後十時四十分發歸任した、陸軍々縮代表も歸途を急ぎ海軍側だけ當分居殘る

神代部隊 下窪到着
茂木部隊に合す

ひ、皇軍の軍紀嚴正にして住民を愛撫する樣は喜ばしい次第で非常に嬉しく感じた

【新京電話】皇軍の神速なる進出に朝陽より退却に退却を續けてゐる敵兵は、藥柏壽に頑強なる抵抗を試むべく堅固なる陣地を構築しつゝありと傳へられたが、二十七日飛行機の偵察によれば同地方には既に敵影を見ずとの事である、又綏東方面より出發せる神代部隊は廿七日下窪に入り茂木部隊と合した模樣である

初年兵敵前訓練
鈴木部隊朝陽にて

【朝陽二十八日發】鈴木部隊は朝陽入城後、直に寸暇を利用して初年兵の教育を始め射擊訓練等敵前訓練を行つてゐる

敗走の敵二千を 爆擊し殲滅
皇軍の士氣益々昂る

【錦州にて山代特派員發】かねて前線視察中だつた齋藤大佐は二十八日歸錦、往訪の記者に左の如く語つた

二十日夜南嶺の隧道、大凌河鐵橋爆破の報に接し駐屯部隊をもつて南嶺、扣北營子を急襲せしめたところ、同地の敵はいづれもこの不意の急襲に折角の爆破裝置をなし乍らその目的を達し得ず逃走した、これがため今日輸送が比較的容易なるを得てゐる、二十二日部隊は北票に進擊したが、敵は既に逃げた後で松田部隊は鈴木部隊と協力のため北票より朝陽の道を、鈴木部隊は扣北營子より朝陽の道へ出發した錦州より步行軍せる兩部隊の一部は二十四日夜大八溝に出て松田、鈴木兩部隊に合して大八溝前面の敵に向ひ攻擊して夜に入つた、鈴木部隊の左翼は勇敢に敵の右側背に出たので敵は遂にこれを支へ切れず同夜敗走した、兩部隊はこれを急追し朝陽に入りなほ凌源に逃げんとする

敵二千を追つて空軍と協力してこれを殲滅し、兩部隊は二十五日朝陽に集結したのであるが兩部隊の士氣は頗る旺んである、なほ滿洲國軍の入城を非常に喜び居り余（齋藤大佐）は廿八日も朝陽に飛行したが、路傍には祭り騷ぎだ、兵士たちはまだこれを……

事變被害邦人並に その遺族救恤
五、六百萬圓支給か

【東京一日發】外務省では尼港事件を始め南京、濟南事件及び今回の滿洲、上海兩事變の被害邦人にして生活に窮迫せるもの、その遺族に對する救恤を實施することに決定し、これに關する救恤法案と所要經費を八年度追加豫算として今議會に提出すべく、過般來大藏當局と折衝中であるが、右經費の要求額は二千萬圓の巨額に上つてゐるため、大藏當局は財政難の折柄難色を示して居るので、結局五六百萬圓程度に減額される外ない模樣である、而して右救恤金の分配方法については、外務省内に外相を委員長とする救恤委員會を設置し、外務次官以下關係局課長及び陸、海軍、大藏三省の關係局長を委員に命じ、被害邦人又は遺族より地方官憲證明附の申告を受けて右委員會においてこれが救恤程度を審査決定したる上、適宜外務省又は地方官憲を通じて給與する答である

國際破局と 日本外交の活躍（下）
法學博士 三枝茂智

日英米この世界の三大海軍國が自分も生き、彼も生きるようにと手を組めば、世界に戰爭といふものはなくなる、あつても地方的のものである、英はインドの存する限り日本を敵にするものではないが、日米關係はどう行くか、米は門戶開放主義によつて長い間支那に働きかけ通商貿易に努力したが今もつて滿洲に三百萬弗の投資さ日本とのそれより三分の一に過ぎない本部との貿易をもつてゐるのみである、支那より三倍の取引をしてゐる日本と絕縁する事は實利的なアメリカ人のなし得る所でなくルーズヴエルト氏は外交協定による門戶開放主義は維持していゝが、實力をもつてまでして、門戶開放主義を徹底させるは避くべきであるといつてゐる、又日本としても滿蒙に進んで行く以上は、フイリツピンの中立不可侵は認むべく、アメリカ・モンロー主義をかれこれいふべきではない、アメリカの日本に對する輿論が惡化したのは、上海事件の時であつた、上海にはアメリカの投資が多く、天津、北平にはその他の國々の利權も介在して居る、日本は滿蒙に限らなければならない、米その他の國の利權地域に兵を進めなければ、米及びその他の國との衝突は絕對にないといつてい、實利主義、通商第一主義の米は自分達の商賣の邪魔をしなければ決して戰爭にしかけて來ない、ロシアも當分の間は日本に向つて自國を護る態度であらう

×

日本は國際政局上孤立した、その孤立は深刻化するであらうが、日本との通商を斷つ事は、經濟恐慌に苦しみつゝある列國は言つても出來る事ではない

猛射を浴びて 敵陣に突入
沙帽山占據長山部隊の殊勲

【大杖子二十八日發】……

電氣牛に電氣隊
熱河居住民膽を潰す

【大杖子二十八日發】熱河農民は戰線を自由自在に飛ぶ怪物〇〇の偉大な存在を……めて見ていづれも電氣牛が……

武者ぶり
長山中尉の

【沙帽山二十八日發】……

宣撫班の 施療開始

【朝陽二十八日發】……

開魯縣城の 郵政接收

【通遼二十八日發】開魯縣城の郵政電政の接收は滿洲國交通部の命により吉黑郵政監察員伊作滕次郎氏とハルビン電政局員吉田政雄氏が入城し、直に接收し二十七日より事務を開始した、永らく通信不……

日章旗打振り 皇軍を歡迎
大杖子の居民

【大杖子二十八日發】米……

共産議員全部の 逮捕命令
獨政府の大彈壓

選擧法案 握潰しか
けふ衆院に上程

東天紅（9）
田中純作　林一三畫

女友（三）

建國一周年の慶び 全滿を搖がす

輝く國家の前途に 國民熱狂の萬歲
新京における大式典

【新京電話】三千萬民衆の熱意と誠心罩めて建設された王道樂土、新興滿洲國の建國を壽ぐべく月餘の準備に營々として整へられた民政部前の廣場の式場は周圍に幕を廻らし、正面の式壇はだんだらに卷いた黑布、赤布に質素に裝飾され萬端準備完成し一點の雲なき晴朗の陽光に張り廻された萬國旗はゆるやかにはためいて美しい、定刻九時には新京附屬地、城內から過去一年のこよなき福祉と安寧に心から今日の佳き日を祝ふべく蝟集する日滿民衆二萬餘を以て既に立錐の餘地なき迄に埋められ、參列の官民が定席に就くや傍なる軍樂隊に依つて嚴かに吹奏される新作の滿洲國歌に一同脫帽、水を打つた如き靜けさを呈しするする式壇側の旗竿に上る黃地の一角に赤、青、白、黑の四筋を入れた新興滿洲國旗が上る、感激に滿ちた民衆は思はず萬歲を叫びやがて一同敬虔な敬禮を行ふ、次で新京特別區市長金璧東氏が起つて開會の力強い聲音をマイクロフォンを通じて全滿に向つて宣す、續いて執政府代表は恭しく執政の敎書を敬讀し、終つて鄭國務總理より一言々々強い語調で一場の訓示をなし白井秘書官は之を通譯し、續いて丁幹事長及日本全權大使(代理)の祝辭朗讀があり、金市長の發聲で三千萬民衆の和する滿洲國萬歲を三唱天を衝く許り、かくて王道の國、樂土滿洲國の建國を壽ぐ民衆の喜びと幸福に充溢した歡呼に金市長から宣ぜられる、閉會の辭も場內に渡らぬ程の有樣でこの記念すべき式典は終了した、時に午前十時三十分、その間この意義深い式典はラヂオを通じ日滿一億二千萬の東洋平和の先導者に傳へられて行つた

『われ等の國家』を謳歌する一大行進
新京式典後の旗行列

【新京電話】民政部前の廣場における盛大なる記念儀式は十時半盛會裡に散會居る會衆は嚴肅な氣分にうたれ一同思はず萬歲を叫び直に指導員に從つて旗行列にうつつた、黑山の如くに雲集した大衆はまたゝく間に四列縱隊に編成せられ總指揮官の乘馬姿いさましい

掛聲 に先頭には早くも行進曲が奏ぜられた、步一步とその大經路目ざして踏み出した參加者總數二萬餘、滿洲國官吏を始め各法團員、長春縣四鄕代表、各公私立學校生徒軍人、一般市民等々、蜿蜒長蛇の如く打ちつゞき行列の先頭には總指揮官(滿洲國軍人)が乘馬姿いさましく次いで副指揮官、軍樂部隊、學生、官吏、各法團員、一般市民の順序に並び軍樂隊の音遠く近く市中にひゞき一大壯觀を呈した、滿洲國歌が高らかに一隅から起りそれに合した民衆の聲は天をもくづさんばかりにひゞき手にくくうちふる滿洲國旗は白い雪の通に綺麗な縞模樣を造る

かくして長い行列は會場を出て大經路を過ぎ西公園に到りそれより中央通、驛前、日本橋通、國務院前をぬけひたすら執政府に赴く、執政府庭前には早くも執政府文武大官が之に和すべく居並び集まり來る

群衆 と共に大滿洲國の萬歲を三唱し嘘ゆるがぬ滿洲國の悠久をいのつた、感激と感謝とがお互の胸をつく、一天からりと晴れあだかも會衆とこの日を壽ぐが如く軍樂隊の奏る音樂もこゝぞとばかり勇ましい、かくして總指揮官の命令下り、行列は再び流れ六馬路、大馬路頭道街堆子胡同、大經路を經て再び會場に來て散會した新市街では在住日本人も喜びにあふれ母親に連れられた子供達娘達の着物も晴れやかに進み來る行列に相次いで加入し我等が友邦の喜びを共にたゝへた、通る自動車、馬車、人力車カラコロと輕やかに滿洲國旗をかざしむち打つ車夫の顏色までも何となく和やかな微笑を表してゐた

天皇陛下 御祝電

【東京一日發】天皇陛下には一日滿洲國に對し優渥なる御祝電を發せられた旨發表された

寒空に揚る一大歡聲
二萬の市民會場に殺到して
大連市民の慶祝大會

アジア民族治成への前奏曲とも見られる滿洲國の建設は國際聯盟の勸告書決議により一層市民を刺激し大連においては天候の激變で既に寒氣加はつたに拘らずけふの慶祝大會は何時になく氣勢揚がり集まるもの

永井民政署長、森本地方法院長高柳中將、山西滿鐵理事、小川市長、大內市會議長、高田商工會議所會頭、張大連、龐西崗子許西部大連各市商會長を始め市內各小學校、公學堂、女學校、中學校、實業學校生徒、在鄕軍人會、海軍協會、修養團、青年會、愛國赤誠會員その他團體約二萬と註せられ會場正面の日滿大國旗を始め各團體旗樹立し早くも場內を壓して緊張さ

感激 が高潮した、定刻午前十時、三發の煙花を合圖に「氣を付け」の喇叭勇ましく響き渡り岡野助役先づ開會を宣するや小川市長や、昂奮の色を双頰に漲らして

登壇 滿洲國建國茲に一年、今や東亞の天地は妖雲散じ新興滿洲國は生々の氣に滿ち三千萬民衆は照々として東生を喜ぶ、友邦國民また倶に同慶に堪へない、惟ふに滿洲國建國の國是は雄大崇高なる王道精神であり仁慈相愛を以て政治の要諦とせるもの滿蒙の黎明は此處に歸き人類の樂土東洋の平和は茲に生れたのである、幸ひ滿洲國人は建國の大精神を體し倶に提携して正義のため邁進せんとす、日滿兩國提携協力して東洋平和を確保せんとする處何者も之を妨ぐる能はず正義の存する處また加冥せらるべきを信ずる、茲に建國一周年に方り滿洲國の隆々たる發展を慶祝すると共に時局多難の際日滿兩國渾然一體となり東洋平和建設のため人類福祉增進のため眞の平和境顯現を翹望して止まない

と朗かに式辭を述べ次で永井民政署長、林滿鐵總裁、高田商工會議所會頭、張大連、龐西崗子、許西部大連各市商會長の

祝辭 あり、大內市會議長はけふの大會に際し左記の如く滿儀執政、鄭國務總理、武藤全權あて發した慶祝電報を報告し、一同滿洲國歌を合唱、龐西崗市商會長の發聲で天地も揺げと萬歲を三唱し、同十時三十分閉會した

執政府秘書長宛
建國一周年を迎ふるに當り大連市民は茲に慶祝大會を開催し謹んで祝意を表す右執政に御とりなし相請ふ

鄭國務總理宛
建國一周年を迎ふるに當り貴國の堅實なる發展を喜び大連市民は茲に盛大なる慶祝大會を開きて祝意を表す

武藤全權宛
滿洲國建國一周年を迎ふるに當り各地の匪賊は掃蕩せられ國內の治安次第に全きを見て閣下並に各將兵、各機關の御奮鬪を感謝し茲に大連市民は慶祝大會を開き滿洲國の隆盛に對し謹んで祝意を表す

白晝磐城町の火事
目拔、木造家屋で大混雜

一日午後一時十分頃市內磐城町カフェー八起より出火忽ち同家を全燒して隣りの安兵衞に延燒し炎々と燃えてゐるが市內目拔の場所と木造家屋多く大混雜を呈してゐる(午後二時)【寫眞は燃えつゝある現場】

本紙を通じて執政の感謝電
建國一周年に方りて

滿洲國々務總理鄭孝胥氏は一日建國一周年記念日に方り本社に對し左の電報を寄せ、本紙を通じて、建國以來日本帝國官民の熱誠なる後援を感謝する旨を表明し來つた

我が滿洲國が三千萬民の總意を以て舊東北軍閥の虐政より脫離し、獨立國家として建國の大業を進め、爾來一年、國本既に固く、內外の政事日に月に實効を收めつゝあるは、一に貴國官民が擧國一致の熱誠なる後援にこれ由る、茲に建國一周年の記念日に當り貴紙を通じ謹みて感謝の意を表す

滿洲國國務總理　鄭孝胥

慶祝の大行進
七八町に亘る旗行列

寒天にとゞろく三發の煙花を合圖に慶祝大行進は開始された、時に午前十時三十分——肌をつんざく寒風をものともせず建國の喜びに醉ふが如き日滿人一萬數千人の足取りも輕く樂隊を先頭に行列委員各種委員これに續いて伏見臺小學校を初め市內小學校、公學堂生徒男女中等學校生徒等が手に

手に 日滿國旗を打ち振りつゝ聲も高らかに、樂隊に和し

見よ早春の黎明の彩
希望燃えたり曠原に
いざ手をとれ諸人よ
久遠樹立の新國家
慈愛あまねし山間に
先づ踏み出さん第一歩

と聲を張り上げて唱ひ續ける、嬉々として各種團體は數百旒の團體旗を押し立てつゝ

七、八町に餘る長蛇の大行進は滿倶グラウンドをスタートとして忠靈塔前—壹岐町—若狹町—三河町—西廣場—伊勢町—浪速町—奧町を經て正午漸く先頭が大廣場に到着

この莊嚴極まりなき大旗行列を見物せんとする日滿市民は行列の沿線を黑山の如く埋め盡し、可憐な小學生、赤、青、紫の學生服に身を包んだ美しい公學堂女生徒らが寒さに

双頰 を紅く染めながら力強く唱ふ建國歌に耳を傾けつゝけふの意義深き日を祝福するのであつた、かくて大行列は大廣場より神明町を經て大連神社に到り全行列は社前に整列し各團體毎に參拜午後一時無事散會した

省城內外をあげて 國旗と萬歲との渦
奉天における盛況

【奉天電話】大同二年三月一日—この日こそ大滿洲國建國一周年の輝かしい誕生日である、奉天省城內外は五色の旗は各戶に飜へり、省公署、實業、敎育、民政、市政の各官公署門前には三層樓が作られ、午前九時からは市政公署主催のもとに

宮殿 清朝華やかなりし頃の八旗の十王亭において慶祝會が催された

式場中央には壇を設け田野備司令部の軍樂隊の奏樂裡に國旗は靜々と揭揚され、旗に向つて三禮の後閻市長の挨拶に省長代理は執政の敎書と宣言を代讀し、章教育廳長は國務總理の訓詞を代讀あり、日本側軍部、蜂谷總領事代理、栗野滿鐵、野口居留民會長、在奉の新聞記者代表、協和會代表、敎育、商務會、工務會、農務會の各代表來賓の祝辭あり、萬歲を三唱して式を終了した

それより十一時、省公署大廣間において日滿各機關官民の招待大宴會が行はれ省長代理の挨拶に對し軍部、居留民會、總領事館等の代表

謝辭 あり宴會裡に正午散會、市中には協和會、教育廳、市政公署等の斡旋で各小、中學校生徒の旗行列に滿洲國歌を高唱し市內を遊行する外、各劇場にては大衆のために王道精神を普及する講演と芝居があり、宣傳ビラ、ポスターに全市は埋められた、この日我飛行隊は上空より祝賀の意を表するため低空飛行を行ひ附屬地一帶には日滿國旗を交叉し、平安廣場、中央廣場等には大日滿國旗を交叉して

祝賀 し、小、中學生の旗行列、トラック隊の市中遊行に意義深き建國記念日を送つた

大連の建國祝賀

(上)祝賀會場(中央)市中行進の旗行列と祝辭朗讀の小川市長(左)と張大連市商議會長(右)(下)は萬歲を唱へる滿洲國兒童

旅順の慶祝
各戶に日滿國旗

滿洲建國第一年を迎へた聖地旅順は朝來寒天寒威激しきも各戶に揭げられた日滿國旗鮮かに飜へり更に祝福の氣が漲つて一種の活氣を呈し各官廳學校では正午迄執務を爲し午後一時三十分昭和園前廣場に集合いづれも日滿小國旗を携帶、大日本帝國並に滿洲國の萬歲を三唱し午後二時から催される旅順公學堂の記念式に參加した、又市役所では此日行事其他に關する宣傳ビラを全市に配布し意義ある滿洲建國第一回記念を徹底せしめた

戰傷者來連

熱河討伐の第一戰南嶺の戰鬪に名譽の負傷をなした太田貞次郞大尉以下四十八名は旅順において療養のため上等看護長栗原修造氏に護られて奉天衞戍病院より一日午前七時着列車にて來連、學生、團體多數の迎送を受けて同七時四十五分發列車にて旅順に向つた

旅順に到着

熱河討伐の第一戰南嶺の戰鬪に參加名譽の負傷を負つた步兵第〇〇〇隊宮川大尉、同第〇〇隊太田大尉、鶴素中尉以下四十二名の傷病兵は一日午前九時十分着列車にて着旅米岡市長以下官民、學生多數の出迎裡に下車、一同に對し米岡市長より慰問の辭を述べ宮川大尉の謝辭あり、出迎人一同目禮裡に四臺のバスにて旅順衞戍病院に向つた

太刀洗機墜落
搭乘者二名卽死

【太刀洗一日發】太刀洗飛行第四聯隊第三中隊森軍曹操縱宮本伍長同乘の八八式偵察機七十號機は今朝十時淺倉郡馬田村の射擊演習參加中千メートルの上空より錐揉狀態に落下畑中に墜落搭乘兩氏共無殘な卽死を遂げた

紅卍字會代表

紅卍會第十二回開幕記念式は來る四日濟南において大々的に擧行されるが一日出帆長春丸で記念祭に參列の爲め海城支部會長李光輝氏營口支部會長夏穎誠氏、安東支部會長王化鑾氏、同會員王惟眞氏、蓋平支部長雛容超氏外一行六名が離滿した

天氣予報

三月二日
北東の風(曇)降雪模樣

各地溫度
大連零下四　奉天零下一二
旅順同三　新京同一七
營口同九　新義州同六

善鬼惡鬼（2）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

血は血 斬る（二）

「兄貴、ちよつと表へ出てもらひたい」

大刀を片手に、五郎兵衛は兄の前へ立ちふさがつた。

「何だ」

「用がある」

「そこで云へ」

「ここでは云はれぬ用だ。お濱さんは床を展べて寢かしてやつた。あまり苦しんだ疲れで、すやすやと眠つてゐる」

「御苦勞だつた」

「纔を云ふには及ばぬ。表へ出ろ」

「やかましい」

「どうあつても出ないな」

刀は腰へ、兩手に嗤をつけて、兄の肩をうしろから、ぐいと抱上げた。

兄は憮で氣味で、ふり放さうとしたが、離れない。

「狼藉なするな」

「默つて出ろ」

「無禮ものめ」

右手なりうさ振つて、弟の向ふ臑へあて身を食はせると、「痛ッ」と叫んでとびすさつた。

それを虎目にかけて、兄重太郎は後ろに立上ると、床の間に立てかけた大小の、古ぼけたのを腰にまつさきと外へ出た。

五郎兵衛は不意打のあて身に、心持ちんばを引きながら、ついてゆく。

月は中天にかゝつて、もう九つ（十二時）に近い。春ながら冬の夜のやうに冴えかへつて、靜かな柳原堤の柳が、青黒い土手に、ポトリポトリと影を落してゐた。土手の下には、神田川の水が、月を浮べて光つてゐた。

弟が土手へ駈け上つて、兄を待ちかまへる。兄は悠々と濕氣の多い土を踏んで、弟の前に立つた。

芽生えた柳が、やわらかに、兄弟のあたまの上で、そよそよとゆれる。

「早く用をいへ」

「お濱さんは何だ」

「女だ」

「おぬしの何にあたるといふのだ」

「たしか女房である筈――」

「たしか……」

弟の聲が慄へを帶びたが、兄は水のやうに冷たかつた。

「さうだ」

「よし、女房なら女房らしくせい」

「いらぬ世話だ――弟の分際で」

五郎兵衛は何か云ひかけたが、默りこくつて、兄の顔を睨みつけた。

「用といふのはそれだけか」今度は兄が云つた。

「まだある」

「さつさと云へ。おれは學問の勉強が忙しい」

「その學問呼はりが氣に食はぬ」

「學問が」

「兄貴。一體、森の家を何と思ふ。我々兄弟の父親の家の職は何だ」

「それがどうしたといふのだ」

「森一刀流、父祖傳來の家の職を忘れて、蘭學至極な書見三昧、それでも、おぬし、父のお位牌の前で、のめのめと、その面をさらしてゐられると思ふか」

「差出た事を申すな。貴樣などにこの重太郎の心が、判つてたまるものか。第一、貴樣のやうな新影劍術が何の役に立つ。たわけものめ」

兄は躪をかへして、さつさと土手を下りかけた。弟の手がぐいと伸びて、兄の刀の鐺をつかんだ。

「新影流劍術なら新影流劍術でもよい。おぬしの勉強してゐる書物は……」

「書物がどうした、何だといふのだ」

「おれは無學でも、ちやんと知つて居る。あれは只の四書五經ではあるまい。貴樣は天下禁制の本を讀んで居るのだ。おぬしが、毎日内を外にして、どこへ通つて居るか、それも判つて居る。この儘ですごしたら、森の家はどうなると思ふ」

「やかましい。天下禁制であらうと、なからうと、おれの志ざす學問の道は、人間の履むべき道を書いてある。貴樣などのやうな人非人の道とはちがふわ」

鐺をぐいと跳ねて、重太郎はごんごん土手を下りた。

「待て」と、五郎兵衛の激しい聲が兄の頭上から浴びせかゝると、右手にさりなほした鐵扇が、ブーンと呻つて宙に飛んだ。

キネマと演藝

岳諷會改稱

渡邊三作氏は梅若流前家元梅若萬三郎師が觀世流に復歸したのでこれに隨從して觀世流に復すことになつた、なほ岳諷會は來る四月を以て第百回に相當するのでそれを機會に觀世松風會と改稱する事となつた

うわさ話

▲松竹の六車次長一路新京へ向つたが▲二十八日午後中央映畫館の安田支配人の案内で各方面に挨拶▲軍部と打合せの上一行は熱河の戰線へ向ふ豫定であります、と▲計畫してゐた映畫人協會の歡迎座談會も歸りまで延期▲藤原義江

松竹ニュース班の來滿で又燃え上つた軍事映畫の流行▲早くも日活が「動員挿話軍用列車」新興が「征け熱河へ」と昨年同社撮影隊が仕入れて行つた熱河地方の實寫をアレンジして適當にやるらしい▲株式組織問題で揉めてゐた菊太郎プロは解散して御大は寶塚キネマへ入り込むらしい。

一よみがへる曉一 新興現代劇で山内英三原作を渡邊新太郎監督、二宮義曉がクラシクし桂珠子が主演、相手に新人黑川洋二が拔擢されてゐる【三月一日より映樂館上映】

メガネデー

浪速町近江洋行が斷然たるサービスとして近江洋行が來る廿五日より來月八日迄の十二日間を特に眼鏡に奉仕して行ふ由なるが必要時に迫る今日、需用家には蓋し便利此の上なし此の際利用するが得策であらう

けふ滿洲と東京で 鐵道問題發表さる

滿洲交通經濟界の一轉機

宇佐美局長ら昨日奉天に出發

久しき懸案たる滿洲國の社外線問題は遂に解決し建國一周年記念の佳節たる三月一日を期し、滿洲においては午後三時大連滿鐵本社、新京滿洲國交通部において、又東京においては時差を入れて午後四時外務省、軍部および滿鐵支社において一齊に發表された、これより先き二月二十八日はこの劃期的事件の前日さて滿鐵本社は上を下への大混雑を來し、鐵路總局の幹部さなるべき人々のプールであつた舊鐵道部長應接室およびその隣の百十三號室は午前十時さいふに早くも多數の小使の手でテーブルや書類が續々運び出され、裏庭で荷造りされる、宇佐美新局長をはじめ幹部ごころ四、五十名のお揃ひの名刺が一包になつて屆けられる、席を奪はれた太田、下津、大里、伊澤などの諸氏が立つたまゝ相談する人事課の藤森千春氏が雄渾の筆を揮つた記念すべき「鐵路總局」の大看板が運び込まれ丁寧に磨いた後白布で幾重にも包んでトラックに乘ぜられた、一方新線建設局さなるべき鐵道部新館四階は佐藤應次郎技師は新京に行つてゐて不在だが、田邊技師、山崎參事らの新幹部を中心にいよ〳〵天下晴れて滿洲の交通開發の先驅者さなる喜びを語り合つてゐる、一昨夕奉天の舊滿鐵病院跡に鐵路總局の新看板をかけて事務を開始するので總局の幹部たる宇佐美氏以下數十名の滿鐵社員は午後四時半の「はと」と午後十時の吉林行きさの一、二等を滿員にして大連驛を出發したがその度に大連驛はこの記念すべき門出を送るために滿鐵要人で人の山を築いた、かくて本一日は豫定のごとく正午後三時總務部長應接室にて石本總務部長より新職制について發表を行ひさらに土肥人事課長はこれに伴ふ人事異動の發表をなし、滿洲交通界の平和多幸なる前途を祝した（寫眞は揮毫を終つた鐵路總局の新看板を磨いてゐるところ）

爲替關稅撤廢案

―議會不提出に決定―

【東京一日發】關稅調査會は二十八日午後六時より藏相官邸に開會中島主税局長より幹事會原案の説明をなし、問題とされた三割五分爲替關稅の撤廢は除外され

一、内地に生産されざる藥品類三種の税率引下
一、木材關稅引上
一、蒟蒻玉引上

等事務的なものゝみに止められ申し譯的小改正に過ぎないが、原案通り可決、午後八時散會した、本改正案は一兩日中に閣議に上程し今週中に議會上程の筈、なほ三割五分關稅改正は提出されざること確實さなつた

在連外商が 現金取引を要求

邦商側にショックを與へた

經濟封鎖を懸念してか

國際聯盟における和協決裂し、日本の聯盟脱退を目前に控へて列國側では經濟封鎖の擧に出るであらうさの説が傳へられてより、早くも大連における對外商取引の上にデリケートな動きを見せ、某外國商館大連支店では多年に亙り毎月數千圓に上る取引ある邦商に對し最近「現金でなければ取引せぬ」との通告を發し邦商間に多大のショツクを與へるさ同時に事態を重大視し所轄大連沙河口警察外事係でも愼重内偵の結果、眞相を關東廳外事課に報告するところあつた即ち外國商店では萬一本國に於て經濟封鎖の擧に出でんか、邦商に對する賣掛代金の回收不能に陷るを憂慮した結果さ見られ、其の他外國商店でも邦商さの掛け取引を回避する傾向が増長しつゝあるに鑑み邦商間では之が對策を講ずる必要から或は問題を商工會議所へ移し協議されるに至るものと見られてゐる

米のモラトリアム説は 僅に地方筋だけ

土方日銀總裁語る

【東京一日發】米國財界の不安につき土方總裁は左の如く語る

最近米國の地方には銀行のモラトリアム騷ぎがあるが財界の中心であるニユーヨーク州には波及して居ない、昨日日銀着電に依るさ、所謂正貨流出が多少あるやうだが、アメリカの金準備を脅す程度ではない、物價引上げの爲にする平價切下げ説に就いてはこれに先立ち戰債棒引き關税引下げやその他の手段が殘つて居り恐らくまだ〳〵金再禁止等はしないであらう

米財界惡化で 内地株慘落

二十八日人氣惡化を示した内地主力株は一日も引續き落潮を辿り北濱定期の新甫は大株百圓、大新百一圓七十錢、鐘紡百九十圓五十錢鐘新八十六圓三十錢さいづれも八九圓乃至十二、三圓安と慘落し東京短期の東新も六七圓方安の百六十圓臺割れを演じたが内地株安は米國の財界惡化からモラトリアム施行や同國の金輸出禁止説などが傳へられ人氣動搖のためさみられてゐる

滿洲化學工業株 大口割當を決定

購組聯合會が第一位

次で東洋窒素と三菱の順

【東京特電一日發】滿洲化學工業會社の株式募集は非常なる好成績を見たが、大口の申込みは何さ云つても全國購買組合聯合會で、昨日農林省の承認を得て四萬五千株を正式に引受ける事さなり、證據金を拂ひ込んだ、産業組合組織によるこの組合が、營利會社に出資する事は法規上差支へなきも、組合の精神に反するさの議論もあつたが、結局農民の利益の爲めに參加の決定を見たもので、大體左の如き條件が附されてゐる

一、聯合會を代表する取締役一名を新會社に送る事
二、年産十八萬噸のうち半數の供給を聯合會に對し優先的に認むる事
三、價格その他取引方法は他の營業に對するよりも便宜を與ふる事

なほ化學工業の株式引受は滿鐵の半數引受を除き、この聯合會が第一位で、ついで東洋窒素の三萬株三位は三菱であるが、その他財閥も相當大口を引受ける事になつてゐるさ

鮑駐日代表

―經濟建設聲明書を發表―

【東京特電二十八日發】鮑滿洲國駐日代表は今日午後二時麻布櫻田町の公署に在京新聞通信記者を招待し滿洲國經濟建設に關する聲明（新京政府發表さ同樣のもの）を公表、説明を加へた、その王道主義に基礎づける經濟建設案は頗る合理的且つ積極的であつて多大の好評を以て迎へられた

黄塵

◇…けふは善隣滿洲國の建國第一周年記念日、世界に殘された文化未開拓の處女地が、一躍東方に國して、今やこの將來には赫奕たる光輝が投げられて居る、こゝに住む三千萬民衆が、歡喜謳舞してこれを慶祝するまた故なしとしない。

◇…それにしてもこの一年はあわたゞしかつた、鄭國務總理もこの訓辭に「轉瞬一年」といつてる、産みの惱みを遂げた滿洲國自體の苦勞も大きかつたが、これがために拂つた我日本の犧牲も異常なものだ。

◇…だが、これも天の大道を踏まんがためには餘儀ないことだ、熱河の肅淸治安も目睫の間に迫つてる、かくて新生滿洲國も一路文化の開發に邁進することが出來やう。

上海標金

寄値	七六八兩二
安値	七七一兩一
高値	七七二兩二
止値	七六八兩〇

各地特産發送高

▲開原　大豆 ―　高粱 ―　豆粕 二車　雜穀 三車
▲四平街　大豆 二一車　高粱 ―　豆粕 ―　雜穀 ―
▲公主嶺　大豆 ―　高粱 ―　豆粕 ―　雜穀 ―
▲新京　大豆 八二車　高粱 ―　豆粕 六車　雜穀 二五車

市場電報

銀塊及爲替（一日）

倫敦銀塊	一七片八分一
同 先物	一七片一六分三
紐育銀塊	二六仙二分一
孟買銀塊	五三留比八分三
スチール	二四弗四分一
アナコンダ	五弗〇分〇
英米爲替	三弗四一仙一六分三
米日爲替	二〇弗五〇仙
米支爲替	二九弗〇分〇

神戸日米

第一回	二〇弗四分一
第二回	二〇弗八分一
第三回	二〇弗三分三

棉花

●米棉

現物	六仙〇五
三月	五仙八八
五月	五仙九七
七月	六仙〇九
九月	六仙一八
十一月	六仙三九
一月	六仙四六

●印棉

ベンゴール	一八〇留比
ブローチ	一六〇留比
オムラ	一四〇留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇〇〇〇	一〇一〇〇
大新	一〇一七〇	一〇一三〇
鐘紡	一九〇五〇	一九四九〇
鐘新	八六三〇	八七五〇
日糖	七九九〇	―
郵船	―	―
滿鐵	―	六二五〇
東株	―	―
東新	一六〇六〇	一六一五〇

(短期)	大新	東新
寄値	一〇〇〇〇	一五八一〇
引値	一〇〇九〇	一五九三〇
高値	一〇一〇〇	一六一一〇
安値	九九八〇	一五七二〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
	鐘新	滿鐵
寄値	八五一〇	六〇〇〇
引値	八八二〇	六〇八〇
高値	八九七〇	六一八〇
安値	八五一〇	六〇〇〇

	前場寄	前場引
東株	一五六九〇	一五七〇〇
東新	一六三六〇	一六三九〇
五品 當	二六八六〇	二六八〇〇
五品 中	二六八〇〇	―
五品 先	―	二六八一〇
豆新 當	―	―
豆新 中	―	三三九〇
豆新 先	三三一〇	三三八〇

(短期)	東新	滿鐵新
寄値	一五九〇〇	四五九〇
引値	一五八五〇	四五九〇
高値	一六〇九〇	四六五〇
安値	一五七一〇	四五〇〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇〇	二三六八
中限	二三九五	二四一一
先限	二四一二	二四四三

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二三八一	二三七〇
中限	二四〇三	二四〇五
先限	二四一〇	二四四四

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三八一	二三七九
中限	二三九〇	二四一四

大阪綿糸

	前場寄	前場引
三月	一七九〇〇	一七九九〇
四月	一七八一〇	一七九四〇
五月	一七八三〇	一七九九〇
六月	一七八〇〇	一七九三〇
七月	一七八六〇	一七九九〇
八月	一七九〇〇	一七九七〇
九月	一七八三〇	一七九八〇
先物限	二三四五	二三六〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	四七五五	四七四〇
先限	五〇一五	五〇二〇

橫濱生糸

	前一節	前二節
三月	六八九〇	六八八〇
四月	六九〇〇	六九二〇
五月	六九七〇	六九〇〇
六月	六九七〇	六九八〇
七月	六九六〇	六九六〇
八月	六九八〇	六九一〇

印度麻袋

鐵筋直積	三留比四分三
青筋直積	三留比一六分五
爲替相場	七九留比三分一

社說 銀本位に對立する金本位論 國幣主要點は兌換の確立

吾人は先日、滿洲國幣制に關して、新生論據による銀本位說を紹介した。しかも之れに對立する所の日滿金本位共通に依る經濟國策を執るべしとなす議論の根據も亦必ずしも薄弱なりとしない。試に左に之れを列擧せん。(一)世界金本位の動向は誠に慘澹たる現狀ではあるが、今直に銀本位に轉換する程の事はない。而して國際協調の必要は日本に之れあるのみならず、滿洲國に於ても亦同樣に考慮すべき問題である。過去の日本が內外流資の實績を擧げ得なかつたその理由のみを以て、金本位を排斥すべきではない。抑も海外投資の行はれなかつたのは、日本の資本主義が力足らずして、國際的に進出し得ざりし爲であるから別に金本位の爲ではない。而して金本位によりて、日本が金本位制を執つた爲に內外流資以外に國際的利益を得たとも當然考量されねばならぬ。金本位實施によりて達せんとした日本の目的は一二に止まらず、頗る多岐に亘る筈である。又物價安定の期待外れといふのも、觀點の相違によつて然るものである。思ふに國際的幣制による金融界が、國際的影響によりて動搖を受けるのは當然であるが日本の事情は必ずしも之を以て解すべきでない。蓋し日本の經濟文化が高速度に進んだ爲に—換言すれば原始的農業的狀態より急激に文化的商工的に進んだ爲に—其の過程に於て、必然的に物價の高低があるのだ。之れは物價の動搖とも不安定とも見られるけれども、半面から見れば當然の進程であつたとも言へる。

◇

(二)紙の上の工作を以て、改制の不能なることは滿洲の實情に徵して首肯し得る所だが、日本の金本位——圓本位——と合流せしむる過程的工作に就いては尚研究の餘地があらう。(三)兌換準備の充實を待つて完全なる金本位となすことは最も確實性ある方法であつて、滿洲國の方針をこれに向つて一定する必要がある。(四)銀貨幣の物價安定說は、上記の如く原始的農業的の金錢會計に緣遠き狀態の下に、銀本位が行はれてゐる所の滿支の實情が然らしむるのである。それも經濟文化の進程に應じて、日本と同樣に商工的となることは爭はれぬ。しかも文化的經濟發達は望ましき所であるから、これに捉はるゝ銀本位論は問題にならない。

◇

又東洋主義の銀本位聯盟?に就きて論ぜんか、國際的動向の現狀に卽する流行意識と共に、地方的利便も否認すべきではない。而して東洋主義といふも、亞細亞主義といふも、世界政策を離れたる孤立的絕緣的のものであつてはならぬ。又歐米主義等に對する對立的單獨意識に支配さるゝものでもない。矢張り世界的國際的認識の下に行はるべき問題であるから、世界を視野に入れずして東洋だけを見る狹見は許されない。隨て經濟的工作も世界の視野の外に走るが如き轉向を許さぬのは言を俟たぬ。寧ろ國際的經濟交涉のより多く頻繁に赴く可きを前提として、その用意の下に考慮さる可き問題であらう。

◇

以上によりて、金銀兩面の新生的論點は判明するのであるが滿洲國にありても、必ずしも銀本位論に膠着してゐるわけではない。只要するに兌換を基礎とする一切の準備を完成して、然る後に金本位を行ふことに困難しないといふ態度である。此節季に當りて中央銀行が兌換に應じたる硬貨は四百萬元に達してゐるが、當局の處置宜しきを得て、中央金融機關——發券銀行——の信用を高度にし、又國幣の流通を促進した效果的成績を擧げた。前年は官銀號管理辦法を以て一日五十元の制限兌換を行ひ、その爲めに無制限に兌換が續き、認識不足の失敗を免れなかつた。それを今年は全然逆轉させて實績に資するが如き兌換の自由を斷行した。之れによりて兌換は四百萬元を限度として、その以後は順次正貨の回收を見つゝある。此點當局の手腕を禮讚するに足るものがある。而して兌換を基幹とする發券の絕對的要件が備はることに依りて、金本位の實行となる見定めはついてゐるから、藉すに時日を以てせよ、準備の完成を待てといふ結論になると共に、今は未だ其時機でないといふことになる。又此間の過渡的方案として金爲替本位——圓爲替本位——の提唱が行はれてゐる。然れども金貨幣は金の正貨の兌換を基礎とし、銀貨幣は銀の正貨の兌換を基礎とする確實なる方法を、殆ど唯一の手段として必要とする狀態とから見て、苟くも兌換に缺陷ある方法は、技巧に過ぎて失敗を招く因であるから、決して容認されない有樣である。

更に進一步を示し 憲法制度調查開始 執政親ら教書を下す

【新京電話】滿洲國においては建國以來着々堅實なる發展の步を進め國礎漸く鞏固を加ふるに至つたので、愈々憲法制度を布くべくこれが準備として憲法制度の調查を行ふこととなり、三月一日午後三時建國一周年記念日を機として執政より左の教書が發せられた

教書

茲に參議府の諮詢を經て憲法制度の調查に關し令すること左の如し

一、憲法制度を調查するため憲法制度調查委員を置く

二、調查委員は特命による

大同二年三月一日 執政 國務總理副署

委員會委員

【新京電話】滿洲國政府發表＝憲法制度調查委員會設置建國一年を經政令ほゞ楷模を具へ人民漸く衽席に登る、邦基鞏固にして憲法を查にし以て國家萬年の大計を樹つべしとの主旨にて今回別紙(別項)の通り教書の發布を見、且つ特命による憲法制度調查委員會を置くこととし國務總理を筆頭委員とし外委員左の如し

調查委員 鄭孝胥、委員 張景惠、趙欣伯、臧式毅、謝介石、熙洽、張燕卿、丁鑑脩、馮涵清、齊默特色木丕勒、袁金鎧、張海鵬、貴福、筑紫熊七、駒井德三、田邊治通、增[illegible]、寶熙、林棨、李槃、阪谷希一、三宅福馬、林延琛

而してその掌理するところの事項概ね左の如し

一、諸外國憲政の調查
一、諸外國憲法制度の經過調查
一、憲法大綱の研究
一、憲法起草委員の詮衡

滿洲國政府の經濟建設綱要 三月一日附發表＝(2)

第三、經濟統制の方策

前述根本方針の主旨に基き政府は現下の情勢上實現可能にして最善なる手段として下記の範圍にて國民經濟の統制を行ふ

一、國防的若しくは公共、公益的性質を有する重要事業は公營又は特殊會社をして經營せしむるを原則とす

二、右以外の產業及資源等各般の經濟事項は民間の自由經營に委す只特に國民の福利を重んじ其の生計を維持する爲に生產、消費の兩方面に亘り必要なる調節を行ふ

第四、交通の充實

我國經濟の根幹たる農業其他一般資源の開發、振興、治安の維持、商業の隆盛、對外經濟連繫上交通の整備は經濟建設の基礎工作として最も緊要なるを以てその有機的擴充を企圖す

一、鐵道
(イ)鐵道建設は經濟開發を主眼とし併せて國防の安固及び治安の維持を期するを以て方針とす
(ロ)將來鐵道の總延長は二萬五千粁を目途として今後十ケ年間に先づ四千粁の新線を敷設し既設のものと合し總延長一萬粁に達せしむ
(ハ)主要鐵道は國有とし統一經營す

二、港灣
(イ)我國經濟開發を促進し生產地方と海港とを最も經濟的に連絡するため我國港灣の外隣國の港灣を有効に利用す
(ロ)營口、安東の兩港に所要の改修を加ふ
(ハ)葫蘆島の築港工事は將來經濟上の要求切實を加ふるの時に完成す
(ニ)海運は差當り近海航路の充實を圖り外洋航路に付てもなるべく速に其發展を期す

三、河川
河川の重要性に鑑み黑龍江、松花江、鴨綠江及遼河における河運の便を增進す

四、道路
(イ)國民の一般交通の便を加へ治安を維持する爲主要都市相互間及主要都市と縣城間を聯絡する爲の路線其他未開地方の開發及國防等の必要に屬する路線等總計約六萬粁を十ケ年間に之を新設又は改修す
(ロ)今後之等線路上には全國に亘り自動車交通を發達せしむ

五、通信
(イ)國內に於て通信の統一を主眼とし併せて海外聯絡通信の充實を期す
(ロ)有線無線の電氣通信を[illegible]經營し經濟幹線及之に[illegible]る支線の改良擴張と主要都市電話施設の改善擴張、放送施設の擴充を行ふ

六、空運
日進月步の趨勢に鑑み空運の發達を助長し、優秀なる機材と技術とを有する滿洲航空會社にこれを經營せしめ差し當り今後三ケ年間に航空路約三、五〇〇粁を開拓し、更に將來歐亞及び東洋各地間航空路の開拓に努む

七、都市計畫
(イ)國都新京は廣袤二百平方粁收容人口五十萬を目標とし模範的都市を建設す
(ロ)奉天、哈爾濱、吉林、齊々哈爾等の都市に對しては適當の時期に近代的都市計畫の實現を期す

建國一周年に際して所懷を述ぶ (下)

關東軍參謀長 小磯國昭

第五、鑛工業の振興

鑛業資源を開發し基礎工業及び國防工業の確立を圖り以て國民經濟の充實國富の增大強化を圖るを以て方針とする、これを各部門について言へば

一、鑛業 國防上重要なる鑛產資源の開發については、日滿兩國の特殊なる關係に鑑み特別なる處置が講ぜられて居る、卽ち該資源は原則として特殊會社をしてその鑛業權を確保せしめ、以て無統制競爭を警むると共に開發に便利なる如くする。石炭は諸炭礦を統一し合理的生產と供給とを行ひ以て低廉豐富なる燃料を提供すると共に輸出の增進を圖る。砂金及び金鑛は國有のものと然らざるものとに區分し、國有のものは特殊會社をして採掘せしめ、其他は一般に開放する。

二、工業 金屬、機械、油脂、パルプ、曹達、酒精、[illegible]等の諸工業は努めて其發達を圖り、紡績、製粉、セメント、釀造等の諸工業は國內の要件に伴ひ所要の統制の下に逐次發達せしめる右以外のものは差當り自然の發達に委するも、將來必要に應じ所要の統制を加へることがあるであらう、又電氣事業は統一經營を行ひ低廉なる電力供給を目標とすると同時に工業の健全なる發達を促進し、施設集中の利益を圖る爲奉天、安東、ハルビン、吉林附近には工業地域を設定する。

第六、金融の整備

舊軍閥の秕政は之を列記するの煩に堪へない、然しながら其民衆に對する害毒の最も甚だしかりしものを擧ぐるならば、紙幣の濫發(註、紙幣類似の通貨)の流行による民力の搾取である、滿洲國政府は建國當初の方針に基き、之が整備を緊急とし、既に中央銀行を設立して國幣を發行し、[illegible]

第七、財政の確立

滿洲國の財政は內外に[illegible]

第八、結言

[illegible]

脫退通告書の樞府諮問十一日頃 考查部問題再燃か

【東京一日發】聯盟脫退通告書の樞府諮詢は大體十一日頃と豫測され樞府はこれが取扱ひを愼重にし對策を講じつゝあり精查委員會に際しては脫退後の對外方策につき突込んだ質問が行はるべしと見られる、しかして昨年末以來審議中絕せる考查部の官制も問題となり脫退後は一層擴大し權威ある設置して外交の刷新並に方針の調查研究に當ることが[illegible]りとの主張擡頭し、本問題も共に再燃することになつた

選擧法案上程 政友議員政府の怠慢を難詰 衆議院本會議(一日)

【東京一日發】一日の衆議院本會議は議員に關係深い選擧法[illegible]

兩大將親任式

【東京一日發】天皇陛下には一日午前十時半宮中鳳凰間に出御[illegible]首相侍立の上小林、野村兩海軍大將の親任式を行はせられた、尙小林司令長官は目下海上勤務中につき海軍省を經て宣記傳達の手續[illegible]

八相 時局とラヂオ

長者町生

投書歡迎 五十行以內 (中略はさする)

レコード放送案

T・K生

選擧法案は審議未了 政友幹部會決定

【東京一日發】政友會は一日午前幹部會を開き米穀統制案に附帶[illegible]選擧法改正案は政友會の主張容れられざるため審議未了に終らしめるに決した

三井銀行總會

【東京一日發】三井銀行總會は一日開かれ配當年八分を可決した尙下ノ關、長崎支店廢止に伴ふ定款改正の件可決

武器輸入不必要 英の禁止聲明全く無影響 わが陸軍方面の見解

【東京一日發】イギリスの日支兩國に武器禁輸斷行聲明に關し、陸軍省方面のこれに對する所感を綜合すると、我陸軍は目下英米兩國よりの輸入武器は全くなく、將來に於ても輸入する必要はない、現在英米より購入してゐるものは特[illegible]

美術品等の輸出取締 今議會に提案

武器禁輸案 一草委員會設置

溥儀執政に名馬を贈る 武藤長官から

叙位

關東廳辭令(廿八日)

大觀

山崎滿鐵理事

水產會新計畫

市民懇談會

けふの兩院

市場電報

神戶特產 / 東京株式 / 大阪株式 / 大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 橫濱生糸

[illegible]

號外發行

本日廳報、附錄、目錄を添ふ

家庭

結婚年 『非常時』の際です 出來るだけ質素に……

準備に忙しい娘さん達へご注意

酉年を迎へて、今年はつぎつぎにおめでたい、そして莊嚴な結婚行進曲が奏られて行きます、一生一度の行事たる記念すべき結婚日を前にしてその準備に忙しく追はれてゐる娘さん達のために東京美容院の德永千代子さんは次の様な注意を與へてゐます

國難 に遭遇してゐる今日の日本ですから出來るだけ式服も質素に打掛のやうなものは略して派手なところで振袖位ですましたいものです、振袖を仕立てられる場合には袖丈は身丈より三寸短くされたら大へん恰好がよいやうです、裄付は前四寸八分後三寸八分と前後は一寸の差をつけます、長襦袢も長着に準じて仕立てます、太つた人でしたら襟肩あきを廣い目にあけないと着付がゆつたりと行きません、そして裄下は普通の着物を仕立てる時のやうに寸法を定めないで襟丈を先づ定めて殘りを裄丈にします、襟丈は振袖の模様次第によつて加減しなければなりませんが大てい腰骨より一寸下つたところにしたのがよい様です

フキ は最近大分太く出す様になつた傾向です

が、仕立屋さんの方ではこちらの希望がなければ普通の着物位しか出しません、儀式用の禮服は振袖に拘らず留袖もフキは大きい目に五六分位出した方がよく、それにフキ綿を入れふつくらとさせますと恰好もよく裾もぴつたりと落ち着いて來ます、次に帶の兩端の織出しの先にある無地の部分は縫ひ込んでしまひます（時々無地のところを縫ひ込んでない場合がありますから）その他衣裳持廻りの調度品は別として式服に必要な附屬品（例へば紐のやうなものにしても）は着付を依頼する專門家に一度相談されたら無駄も省けてよいと思ひます、衣裳の準備ができましたら必ず式の數日前に一度全部着付けて見る事が必要です、でないと中には裄付その他直さなければならない場合がありますから

お髪 は二三回も結びますと恰好もされますから一週間前に洗髮し結はれたら結構です、洋裝される方も同樣數日前に洗髮してその人に似合ふウエーヴの形をつけ、それに洋裝を最も生かし引立てゝ吳れる大切な役目を持つヴエールの形もうまくとつておく事は何より大切な事でせう

式と 披露の時間に仕度される人の髮、記念寫眞の事などは前以て專門家に知らせ打合はせておきましたら混雜も防げてよいと思ひます、お風呂湯ざめしないやうに前晩に入るか仕度より二時間位前に入ることです、神佛の禮拜や父母の訓戒などは當日早くすまされ餘り感傷的にならないやうに努めます式場のお作法は神官が順序を教へて下さる筈ですから失敗ないやうにしていたゞけば結構です（寫眞は東京美容院扱ひ）

めでたく巣立つ 小ゼントルマンの服飾

どうすれば經濟か 洋服を新調する時の心得

▼…**螢雪の** 功を擧げた血氣旺盛な多くの學生生徒が思ひ出深い學園から社會へ送り出され樣としてゐます、在學中するするど譯なく就職口の定まつた人達は高らかに「我が春」を謳歌し、その喜びは早速着古した詰襟の制服におさらばしていよいよゼンツルマンライクな新調の背廣に變ります、いよいよ社會に第一歩踏み出す小ゼンツルマンのために連鎖街の丁子屋で洋服新調についての心得を聞いて見ました

▼…**中等校** を卒へ早速就職される方は大抵初めの二三年間は詰襟ですまされるやうですが專門學校以上の卒業生ですと九割までは折襟です、然し中には學生服から急速度に折襟に轉換するのは何だかしつくりしないので詰襟を選ばれる方もあります、然し體裁を構はぬ人を除いては大抵二、三ケ月か半年も經たぬ中に、同僚間の手前もあり、また年長者には子供扱ひにされるし、ボーイは新米と見て輕く取扱ふので腹も立ち半年もすると詰襟に悲鳴を揚げて又々背廣の再調度といつた順序になります

▼…**これは** 初めて洋服を召す人が必ず一度は經驗されるやうですが、これでは經濟上無駄ですから初めの着心地はまづくても將來のために背廣をつくられた方がお德用です、地色、柄にしても地味な柄や地色を初めは選び勝ですが、一年經つか經たぬ中に洋服には馴れ、見る目も肥えて來て同僚たちのものと比較して、益々臭いと嫌氣がさして又新調するといつたことになります、黑つぽい制服から派手な色に急に變へるのは氣持がしつくりしないかも知れませんが、思ひ切つて大膽に派手なのを選ばれたら、その樣な失敗もあまりありません

▼…**背廣と** 同時にオーバー、ネクタイ、帽子、靴とすべての附屬品が新調されますが、これらも各自にしつくり合ふ色を選び、すべて統一ある同一系統の色を選びます、すると綜合せた樣なへんなものにならず、その人の趣味も現はれ大變上品です、服地は若向きとしては小さい柄に色合の派手なもの、取り合はせが上品で年のいつた方は柄を可成り派手にして色調を地味にします、詰襟は何といつても黑サージが全然勢力を張つて居ます、お値段は總體としては無地物は七割、柄物五割の騰貴ですが、今春の小賣相場には大した影響はなくサージの詰襟注文で二十四、五圓から三十圓、既製品十五、六圓から二十圓、背廣四十五圓から六十圓、既製品三割安見當です

家庭顧問

大へん大きい女兒のおへソ

【問】昨年十二月末出生の女兒ですが臍の緒も十日位で無事に落ちましたのに其後段々臍が大きくなり、最近は徑一錢銅貨位で高さ六七分位までに大きくなつてゐます、別にさはつても痛みも感じないらしく、押へるとグルグルといふ樣な音がして中へ這入つてしまひます、邊びな田舍ですから未だ醫者にも見て頂いてゐませんが何か簡易な治療法はございませんか、それとも手術しなければ駄目でせうか（心配な母）

一錢銅貨と亞鉛華絆創膏で押へよ

【答】臍ヘルニヤ卽ち俗に臍の脫腸といふもので、その邊の腹壁の抵抗が弱いのにひどく泣いたり咳をしたりして力んだためにヘルニヤ（脫腸）を起したのです、放つて置くと段々ひどくなりますから、一錢銅貨を綿に包んで臍に當て出たのを中へ押込み、上から一錢銅貨より稍幅ひろく切つた亞鉛華絆創膏で十文字におさへておきなさい、普通の絆創膏はやはらかい赤ちやんの皮膚をただらかすおそれがありますから感心しません、も少し輕いうちでしたら簡單になほりますがお子さんのは相當度が進んでゐますから氣永に續けられる必要があります、四五ケ月も經つて追々腹壁の抵抗が強くなつたらそのうちなほりませう、若し段々ひどくなるやうでしたら誕生過ぎてから專門醫の外科手術をお受けになつたらよいでせう、鼠蹊ヘルニヤのやうに箝頓するやうなことは滅多にありませんから多少手術がのびても差支へありません（金子甚藏）

嬰兒の便が遠いので心配

【問】生後三ケ月の男子で身體はごく丈夫で日を追うて肥え太つてまゐります、お乳も別に不足しないやうに思ひますが、大抵三時間毎に元氣よく呑みますのにお通じが三日目か四日目に一回宛しかありません、便は固まりもせず下痢でもなく黃色なものを驚くほど澤山出し、排便後はとても上機嫌です。血色もいゝし別に病氣もないやうですが、あまり便通が遠いので心配でなりません。乳が不足すると便秘するやうにも聞いて居りますが如何なものでございませう、この儘放つて置いてよろしいでせうか（奉天M女）

灌腸などせずに斯うなさい

【答】乳の足りる足りないは乳の張り具合やお子さんの授乳の際の樣子でおわかりになる筈だと思ひます、段々ふとつて、元氣で機嫌がよくて、夜もよく眠れるやうでしたら別に心配ないでせう、便もよいやうですから少し便通が遠くても浣腸などしないがよいと思ひます、授乳の時間を守り、授乳時刻の間に番茶か白湯か水飴をうすく溶いたものを日に二、三回與へたら幾分効果がありませう、他に異狀がなければ、追々運動が活潑になり食物が變つて來るに伴れて便通も規則的になるでせう（金子甚藏）

オヨメニユク十九の滿洲人

【問】ワタシ滿洲人デスガ十五ノトキカラ日本人ノ家ニキテボーイシテ日本ノ字テナラッタノデ、コクワカリマセンデセウガナニトゾチシヘテクダサイ、シンプ主人サンノハナシデハ、シンプンハナンデモテシヘテクダサルトキキマシタ。ドウゾタノミマス、ワタシオヨメニユクノデスガ、ゲツケイガイチドモナイノデスガアカチヤンデケルデセウカ、テシヘテクダサイ。ワタシイマ十九ノムスメサンデス（原文の儘）

根氣よくお醫者の治療をうけなさい

【答】ワカラナカツタラヨク主人サンニオキ、ナサイ。あなたのは内生殖器（子宮や卵巢）

干椎茸の煮方

◇…干椎茸を煮る時にははじめサツと水洗ひして溫湯に浸しておき、やはらかになつてから石づきを去りその浸し汁で湯煮をした後味をつけると美味しく出來ます。但し吸物にする時は浸し汁を用ゐますと色が黑くなつて體裁が惡いから清水に入れて湯煮をして用ひます。

滿洲國熱河省 十

樂しい井戸べ

沙漠旅行で第一に困るのは飲料水の補給です、それほど蒙古人の生活にも水は何よりの生命です、黃昏の紅陽をあびて家路を急ぐ牧羊の一群は人にも羊にも樂しい井戸邊の憧れあるのみです、部落の村人は湧水の所在に精通することによつて地理に詳しいとされてゐます、水と草を追うて所在定まりなき原始的放牧の民を知る者には一滴の水が如何に貴重であるか容易に首肯されることです、滿來蒙古地では一道の水源發見によりひろびろとした平原に忽ち蒙古包の一大集團が現出するのです

ミツタン・ト・ポンコ センソウノマキ

橋本清史案並繪 (31)

ドウモニンゲンノコシラヘタモノハハナガツカヘテズベンダ

ポンコシタクヲシロ

ミツタンハ、ウシロノポンコニ、シタクテ、スルヤウニ、メイレイシマシタ。ポンコハキカンジユウノネラヒテ、キメルノニ、ハナガツカヘテ、コマツテヰマス。

サアッ

テキノヒコウキノ一ダイガ、ニホンゴウノ、ウヘニ、キマシタ、ポンコガ、ウチハジメマシタガ、ナレナイノデ、ナカナカ、アタリマセン。

モースコシデハナヲウタレルトコロダッタ

ポンコシッカリウテヨ

テキノウチダシタタマガポンコノハナサキヲ、カスメテ、ユキマシタ。アブナイ。アブナイ。ミツタンハ、ミゴトニ、ニホンゴウヲ、アヤツツテヰマス。

サアイクラデモコイ

アタッタツイラクダ

シメタッ！ポンコノ、ネラヒガ、ウマクアタツタノデ、テキノ一ダイハクワジヲ、オコシテ、ツイラクダ。ポンコハ、ゲンキガ、デテ、サアイクラデモコイ。

飢餓線上にあへぐ本溪農村を救ふ者
陳縣長と小島參事の好スクラム

四

[illegible]

切々たるおもひか、彼の來るのを待ち侘る農村民衆か。

車中に訪れた記者に彼は沈痛な語調を以て語るのであつた。

「農村がすつかり疲弊してゐるのは事實です、併し滿洲農村は日本內地と異つて、生活のコストがいくらでも切り下げることが出來るので、彼等の生活は比較的固定してゐます、從つていま急に政策を持つて、或は計畫を樹てゝ彼等の生活をどうかうしようといふより自然の推移のうちに生活の向上を遂らしめれば駄目です、それより日本に、はつきりした滿洲農民のためにといふ、國民感情が橫溢して來れば、滿洲住民の文化開發は望めません、先日も滿鐵の人が、朝鮮人の學校の問題で見えましたが、滿鐵の人なども少し現實に觸れれば、ピッタリとした意見は湧いて來ません」

農民生活の實際に入り込む彼としては、政策的な、或は机上に作つた計畫に對しては少しも興味が湧かない、農民と共に泣き、共に苦しみ、共に喜ぶといふ脈々たる血が躍ることでなければ、彼の如き第一線の鬪士には關心が湧いて來ないのだ。

五

溫厚寬仁の縣長陳際翹氏と、熱誠果敢の參事小島龍象氏に、加ふるに若き俊髦宮崎、小曾根の兩副參事を配したスクラムは、ガッチリと組んで、飢餓線上に彷徨する本溪縣農民に、醒めよ!と響く生命の曉鐘を打鳴らしてゐる。

見よ!彼等の努力は、城廠から草河口への農村道路となり、或は[illegible]

滿洲國!それは夢ではない。陳縣長、小島參事、宮崎、小曾根副參事等の力によつて實現されようとしてゐるのだ、春待つ乙女子の如く新しき運命はいま本溪縣農村に微笑みかけようとしてゐるのだ。

本溪縣農民に祝福あれ!陳縣長、小島參事等の努力に加護あれ!(完)

有望な多角形的農園經營法
蓋平、辰巳兩園の發展

【蓋平】[illegible]業經營法はその第一着手として單一制農業は不適當で滿洲農業に成功せんとする者はすべからく多角形的農業經營法に

着目

すべきである、この點よりしてその好模範ともすべき各農園の經營法は熊岳城及蓋平附近の各農園の經營法で單一農業に達する迄の農業の合理化、農業の經濟化はこの兩地方の特色とする處より滿洲農業の將來に着目する內地よりの視察者が先づ第一にこの兩地方に足を止むるに至つた事は昨年來大いに注目に價する事實である、就中その道の專門家とせらるゝ蓋平農園主佐々木方策氏の經營法は滿鐵農務課においても同地方視察者に極めて興味を以つて紹介せられてゐる狀態であるが氏の一年作實利主義早生トマト苗及びトマト果養成の經濟化に依る年收數千圓の純利に就ては既に世人周知の事實であるが氏は本年度に於て新たに四棟の溫室を設け蓋平トマトの外に珍種

美味

な早生メロンの栽培に着手し二月中旬既に活々とした花の蕾が將に綻びんとする情景は氷つく滿洲に一寸珍しい趣を有してゐる、之れと相並んで同處隣接辰巳農園若松周吉氏の早生優良トマトも昨年來非常の成績と好評を收め既に兩園に對するトマト苗の注文が續々は入つて來たと云ふ珍現象に多角形的農業經營法は益々注目さるゝに至つた、一方果目的たる苹果樹は樹齡結實期に入り需要豐富昨年度等數萬斤の不足を告げたといふ大根、葱其他の蔬菜類は益々相場も上昇し地元不足の實情[illegible]行き盛況將來滿洲農業に成功せんとする人々の好資料として熊岳城の農業と共に益々世に知られて來た

撫順炭礦增掘で早くも繁忙
いよいよ新年度から

【撫順】撫順炭礦七百萬噸出炭計畫は既報の如く今回山元提出の追加豫算決定と同時に、いよいよ來る四月の新年度から實行に移さるゝこととなり、こゝもと有卦に入つた撫順炭礦は久方振りに繁忙の日を迎へて、早くも右百萬屯增掘に要する諸機械類の注文や露天掘上層剝土作業の準備に忙がしいが聞く處によれば口には百萬噸增掘と簡單にいふも實際上合理的に百萬噸を增掘することは却々至難の大事業で今直ぐといふわけにいかず新年度からといつても施設の關係でいよいよ本格的に大々的增掘を見るのは早くとも先づ十月頃になる模樣で場合によつては十一月乃至は十二月になるやも知れずとあり目下坂口採炭課長以下關係エキスパート一同大車輪の體である卽ち增掘採炭所は主として古城子露天掘で同所には現在所謂撫順頁岩を除去するため電氣ショベル二百B二臺百五十B一臺百廿B八臺百三B一臺五十B三臺及び運搬用の電車十六輛汽車十七輛ダンプカー三百六十輛の施設あり本年度は約一千八百萬噸の剝岩を行ひ二百四十五萬噸の石炭を採掘したるも新年度には二千二百萬噸を剝離して三百三十萬噸の採炭を行ふ計畫であるので差引剝離作業に於て約四百萬噸採炭高に於て八十五萬噸合計四百八十五萬噸の作業增加となるべく之は現在の施設を以つては到底及びもつかず、こゝに追加豫算を以て百二十Bショベル二臺十噸電車六輛及びダンプカー三十六輛を新規購入して上記の作業に當ることゝなつてゐるわけであるが神戶製鋼を始め內地機械製作會社は目下軍需工業に追はれて繁忙を極めてゐる際とて右の如き總額百七八十萬圓にも上る機械類が果して豫期の如く出來るや否や關係當事者が氣を揉むのも無理はないが萬一にも然る場合は折角の增掘計畫に一大支障を來し非常なる無理を伴ふであらうと

金州名物の漬物驛頭に進出
容器も美裝を凝して

【金州】金州名物として全滿各地に嗜好せらるゝに至つた金州漬物が愈々美裝を凝らした容器に入れられ、驛賣として驛頭にお目見得することゝなつた

驛前の岩崎漬物店では名物宣傳に鋭意大童となつてゐたが、此の程滿鐵側の諒解を得たので初志の通り近く茄子辛子漬正味三百匁入の美裝容器のものを五十錢、大根粕漬正味五百匁入同容器のものを七十錢何れも、利益を度外視して奉仕的販賣を決行することにしたのであるが旅行者に取つては簡易であり、しかも恰好の土產物として必ずや好評を博することゝ思はる、從來驛頭に聲高らかに叫ばれた名物金州林檎に今一つ金州漬が加へられて非常な賑はひを呈することゝなるであらう

英雄の忙中閑日月
小山總帥の餘技

【新京】討熱軍事工作も愈々開始され日滿兩軍事當局は目の廻る多忙を極め恐ろしい緊張裡に軍務を執つてゐるが英雄の忙中閑日月は大和魂に付きものゝ最も美しい長所である、新京附近治安の總帥小山憲兵中佐は熱河討匪軍の士氣を鼓舞する意味で鴨綠江節をものして左の如く披露に及ぶ

一、滿洲國僕は君、君や僕故に苦勞しもするさ、せもする 孤軍奮鬪衛國還一百里程晝夜問 互に手を執り睦しく 晴れて世界を蜜月旅行

二、滿蒙の沃野千里の大曠野今ちや匪賊の影もなく王道樂土のユートッピア 世界に類なき新國家

三、滿蒙は不毛の地ちやと誰云ふた 日本と滿洲の丹精で 今ちや五穀の花盛り やがて文化の實を結ぶ

四、胡砂吹くと誇らば誇れ滿蒙は 日本と滿洲の丹精で 今ちやアジアの理想鄕 王道樂土の新國家

撫順鮮農に農耕資金

【撫順】當地鮮人會金融組合では近く開耕期に入るので例年通り管下鮮農に對し農耕資金の貸付を開始する筈で目下借入金額及びその信用程度等を調査中である、而して昨年は役員約六百名に對し總額約六萬圓を融通したといふ豐作に加へて相場騰貴したる等の關係で農家の懷工合よく從つて殆ど全部の回收を見たといふ好結果であつたので、本年も少くとも同樣六萬圓程度の貸付を行ふ筈であるが、元來同會は奉天東亞勸業會社より日步二錢八厘で融通を受けたのを農民には五錢の日步で貸付けて居るし鮮農間にも漸く利子引下げの要望が稱へられてゐるので本年は多少の利子引下げを行ふべく總督府等と協議研究中である

南滿中學堂卒業式

【奉天】南滿中學堂第十五回卒業式並に第一回日語專修科修了式は二十八日午前十時から同學堂講堂に於て擧行され本科生三十六名及び日語專修科生二十四名に對し卒業證書が授與され品行方正學術優等の廉を以て本科卒業の洪錫九君には奉天省長賞、王紹延、李世維の兩君には總裁賞、劉盛德君には總領事賞、洪錫九、宮維滿、鄒福林の三君には堂長賞が夫々授與されたが、これ等卒業生並に修了生は本科生十三名修了生十六名實務志望を除く外全部內地大學、專門學校入學志望で日滿關係の緊密になると共に滿洲國人の日語研究熱が非常に旺盛となつて來た一現象であるが今その志望別を擧げると左の如し

▲本科生 滿洲醫大豫科五名、日專門部三名、明治專門三名、旅順工大豫科五名、高校二名、高工一名、高商一名、早大專門部一名、上海美術校一名、鐵道教習所一名、實務十三名

▲日語專修科生 高商七名、滿洲醫大豫科一名、實務十六名

長春庵の景勝地遊覽道路を新設
四月上旬を期し開通式

【旅順】旅順北道路の開通と共に著しく聲價を高めた三澗堡會將家屯と土城子に在る長春庵は陽春から秋色濃まやかな三季を通じ隱れたる景勝地として旅順民政署では關東廳土木課に依賴し之れが遊覽道路の新設に着手し既に大半の工事を終り來る四月上旬を期し竣工開通式を擧げる事となつた同新設道路は延長約一、八五四、五米路面幅員五米を有し路面築造面積は九二七二五平方米にて總經費二、二四八圓强である、然しこの金額中には村民の賦役價格一七、四八圓餘が含まれてゐる

渾河下流に渡船業出願

【撫順】附屬地市街及び渾河對岸の撫順城及び河北各部落瀋海線撫順驛との交通は事變後とみに頻繁となり解氷以後は一層その度を加ふるものとみられ昨年末完成した永安橋の殷賑が思はるゝが、千金寨滿洲人は一般に上流に偏せる永安橋より下流楊柏堡川の合流地點より渡河するを便とせるところから渾河の解氷に先だち早くも渡船業を企圖する者もあり、市內西四條通陶山治作氏は逸早く小船三隻をもつて第三發電所下から渡船業を營みたき旨その筋に許可を願出た

綏芬河附近の匪賊の狀況

【新京】綏芬河地方における現有匪賊總數は約一千と稱されてゐるが情報に依れば之等匪賊團は各部隊に分れ何等統制なきものにして問題視するに足るものはないがその頭目兵力系統等をあぐれば左の如し

頭目	兵力	系統及その他
天和	五〇	元地方民團
四海	五〇	元王德林軍
東洋	五〇	元關旅長の部下
點東邊	一〇〇	元關旅長の部隊
東山好	八〇	元關旅長の部隊
青龍	七〇	元王德林軍
青林	七〇	元王德林軍
鄭旅長	一〇〇	元關旅長の部隊
雀連長	一〇〇	元王德林軍

建國記念展

【鞍山】鞍山小學校では滿洲建國一周年記念日に際し滿洲國協和會並に關東軍其他から蒐集した滿洲國の記念ポスターを二十八日から向ふ一週間に亘り同校講堂に陳列し記念展覽會を開催して居るが講堂一パイに貼布され一般參觀を歡迎しつゝあり展覽會として中々觀られるものがある

奇特な產婆

【鞍山】鞍山北一條町豆腐製造販賣業某は昨秋渡滿來鞍し豆腐製造から販賣まで人手を傭はず働き續けたが生活に惠まれず三人の子供をかゝへ臨月の妻に轉込まれどうすることも出來ず遂に濟生會の救助を受くるに至つたが此の窮狀に同情した同町內の產婆角南とき氏はいたく同情し無料にて助產婦一切の手當を施し產婦を見舞ひ何くれと世話し數日前玉の樣な女の子を無事分娩した、其後も引續き世話をして居るが同氏は此外にも貧窮者の家庭に就き無料で產婦の手當を施した事多く町內の人々は常に奇特な行爲を賞讃して居る

金に窮して心中
奉天の心中事件詳報

【奉天】既報、廿八日午前九時半頃市內八幡町二番地文化アパート二階十六號室に於て福島縣耶麻郡猪苗代町生れ明治製菓販賣擴張員淺井清一(二七)と岡山市花畑町生れ市內柳町五番地料理店松の家抱藝妓福丸事豐田ゆきえ(二一)の兩名が瓦斯心中を遂げたが淺井は昨年七月明治製菓販賣擴張員として來奉し市內住吉町六番地に居住し本年一月十五日現在のアパートに轉居したもので又福丸は一昨年十二月前借一千圓三年六ケ月の年妓として安奉線橋頭武藏野から仕替へて來たもので淺井とは昨年十月頃から馴染を重ねてゐたが二十七日午後七時頃淺井は柳町料理店松の家に登樓して福丸を呼び金に窮して心中を決意し之を最後と散財をなしそのまゝ兩人手を取つて淺井の自宅前記アパートに歸り二十八日午後四時頃更に兩名ともウイスキー一本をあふり室を閉ぢて瓦斯管を引き心中してゐるのを家主が發見して大騷ぎとなり奉天署に屆出たもので發見した時は既に死後二時間を經過してゐた

撫順の火事

【撫順】二十八日午前五時三十分頃市內永安大街二一滿鐵消費組合ラヂオ御用商時政友治(三四)方階下修理場より出火、室內の椅子テーブル、ラヂオ材料等に轉火燃え擴がれるを折柄通行中の撫順守備隊角田中尉が發見表戶を叩いて家人に急を告ぐるも階上に就寢中のこととて通ぜず同中尉は思ひ切つて腰間の軍刀を以て窓を破壞し室內に侵入直にかくと消防隊に急報するとともに家人を叩き起してバケツに水を汲み消火につとめ間もなく消防隊の出動により約四十分後鎭火した、原因は修理用電流の放置か漏電か出火と同時に撫順署司法係藤本警部補急行取調を開始してゐるがいまだ不明、損害は完成ラヂオセット二十七臺時價約二千七百圓同組立材料五十臺分其他にて三千五百餘圓に上つてゐる

窮困者に寄附

【鞍山】鞍山在鄉軍人分會有志發起の下に窮困者石坂、樺澤兩氏救濟義金の企てに對し南驛前通仁和燐廠佐藤新藏氏は手紙を添へ金二十圓を寄贈し來つたと

奇特な婦人
金一封寄贈

【奉天】二十七日正午ごろ二人の子供を連れた三十歳前後の婦人が奉天特務機關を訪れ滿洲派遣軍にと金二圓を寄贈し名も語らず立ち去つたがこの奇特な婦人の行爲に特務機關では大いに賞讃してゐる

撫順體育協會

【撫順】體育協會理事會は三日午後一時より中央事務所會議室に於て開會八年度豫算及び川口會計部長送別其他につき協議の豫定

鄕軍將校團北滿視察

【撫順】鄕軍撫順分會將校團約五十名は來る三月三十一日から一週間の豫定で北滿視察旅行に向ふ由であるが、四月一日チチハル、二三日昂々溪四日、ハルビン五日、新京、吉林を視察六日歸撫の豫定である、尙哈市は前奉天支部長島本大隊長の講演を聽く筈と

中西地方部長

【鞍山】滿鐵地方部長中西敏憲氏は一日午後三時着急行列車にて來鞍し地方部關係各箇所を初度巡視し守備隊、警察署、憲兵隊等を訪問し時局に奮鬪せらるゝに就き感謝の意を表し、製鐵所其他を歷訪挨拶なし午後五時半から臺町俱樂部に於て鞍山各方面代表者多數を招待し披露宴を張り午後七時四十八分發列車にて湯崗子に至り一泊二日大石橋に向ふ豫定である

旅順市助役
廿五日附で認可

【旅順】旅順市助役に推された岸田愛文氏は二十七日正午廿五日附を以て認可發令となつた、因に水野豐氏の認可は兩三日中發令の筈

山海關改稱

【奉天】從來山海關を臨楡縣と稱して居たが去る一月二十六日(舊正元日)より海平縣と改稱する事となつた

瓦斯に中毒

【鞍山】鞍山製鐵所燒風爐の改造作業中であつた柳西屯生れ趙鳳起(四七)並八家子生れ李振東(四七)は二十七日午後四時頃完全爐の附近で休憩中漏出せる瓦斯の中毒を受け昏倒し滿鐵醫院に於て應急治療を行つたが遂に蘇生せず二十八日聚落莊に於て葬儀を行ひ遺骸は家族に引き渡したと

川口氏送別會

【撫順】撫順炭礦會計係主任川口芳遠氏は今回本社鐵道部に榮轉不日出發することゝなつたが、體育協會では會計部長の送別會として三日午後五時より山陽樓に於て同會主催の送別會を催すと尙會費五圓二日午後三時までに社會係まで申込まれたしと

非常時◇奉天

【奉天】ダンス排擊の聲で些かホール界は寂寥の觀あり▲非常時奉天にふさはしいダンス黨の緊張振▲關東廳局長の奉天驛通過又は來奉に奉天警察署では常に署長以下署員幹部總動員の送迎である▲心からの送迎は勿論惡いことではないが——▲局長としてはこの際署長か署長不在ならば署長代理の出迎へにしたらどうだらう▲署員幹部が浪速通大街をサイドカーで疾驅すると市民はスワ何事かと憚く▲奉天全市民は事變來日なき警察官各位の努力により安心して生活のできるを感謝してゐる▲其れだけ各幹部の揃ふた出動を視ると何だらう?と考へるのだ▲連日休む隙のない署幹部の人々の精神だけでも少しは休める時がありたい▲これは奉天全市民の希望であります

臨時 花柳病豫防協會特報

治淋熱療器 特別宣傳

熱療器一揃ひ 金五圓

救世的實費分讓は社會公益の一端である事に並々ならぬ坊間價格で實費に全快するまで二週分の用意で得る最新の器機を購入出來るので有ます

熱の力で『りん病』を治す 『治淋熱療器』特許さる 發明者は一銀行家

淋病患者が常に經驗する如く、淋病は一度罹つたが最後、假令手當をしてもしなくとも必ず慢性になる。そして**慢性になつた淋病は最早如何なる手當をしても根治するものでない**といふのが、現代醫學上の定論である。然らば淋病は絕對に治らぬかと云ふに必ずしも左樣でない。彼のチブスその他高熱の病に數週間惱まされて居た患者が全快後偶然淋病を併治して、根本的に病根を絕つ事も現代醫學の認むる定說である。つまり淋菌は熱に對して非常に弱く、**四十度前後の熱に逢ふと容易に死滅するといふ、淋菌特有の弱點に重點を置いて、**職を賭し身命を擲ち數年間刻苦精勵して**遂に「治淋熱療器」を案出して、治淋上に革新の烽火を擧げたものは實に是等專門家と全然畑違ひの一銀行家である。**

同器の特色とする所は別項日本政府特許公報記載の如く「最も簡易に合理的に應用し、何人にても安全自由に使用し、よくその目的を達し得る」點であつて、如何なる素人と雖も何等の練習を要せず、即日合理的治療が施せる點である。要するに從來の藥物治療は凡て間接豫防的で、淋菌そのものに對して之を全滅する力がなかつたのであるが、熱療器はこの化學藥の行詰まりを打開して、直接淋菌そのものを死滅せしめて、原因的治療の效果を發揮したものと稱すべきである。

りん病不治論は 化學藥の行き詰り 藥物で全快せぬ理由

ものであるから、內服藥によつて尿と共に放出せらるゝ藥效や、洗滌、挿入による效力では、淋菌の本據たる穴の奧へ達しないのであります。況んや此等の藥は前述の如く淋菌其物を殺す力がないのであるから如何とも仕樣がないのである。最後にゴノワクチンの注射があります。ワクチンは赤痢チブスの如き全身の病には頗る有效ですが、淋疾の如き一小部局部や眞皮と表皮の間などいふ細い部分には思ふ程の效力を發揮しません。然らば淋病は治らぬかといふに、これは最も論爭の多い所でありますが、偶然治る場合が非常に多いのでありまして、常に引用せらるゝチフス患者全快の例であります。

治る 此一點に於て淋病は治るといふ事になつてゐます。これは淋菌その物が熱に對し

凡そ淋病藥位澤山な種類のある藥はなく、家傳漢方の類から、新藥輸入藥、洗滌藥、挿入藥、注射藥等について一々簡有名を擧げる事は如何なる專門家にも不可能であります。何故こんなに澤山出來たかといへば、それは淋病その物が藥では治らぬためであります。他病の如く何病には何藥と的確に效く藥があれば斯樣に無數に現れる譯はないのです。で

漢方 や家傳の如き迷信に類するものは今日問題ではありませぬが、万般の科學中最も進歩せりと誇る歐の醫學が如何なる治淋法を講じてゐるかと申しますと內服藥として殆ど**バルサム**か**白檀油製劑**に限られてゐるまして、殊に前者は胃腸腎臟を刺戟し連用に耐へないのでありますが、頗る安價で一日分の原價數錢で足るから、奸商の乘ずる所となり、有名藥中に之を主藥とせる者甚だ多く中に藥九層倍の暴利を貪つてゐる物も少くない。又洗滌藥としてはレゾルチン水、硼酸タルリン水、次硝酸蒼鉛水、プロタルゴール等、挿入藥としてはペルーバルサム硝酸銀等で油で練つ

たり固めたりした、頗る安價な藥を、博士學者の實驗例をそへて盛んに賣り出してゐるのである是等の所謂最新藥、實藥が如何なる效果ありといへば、それは

收斂 防腐の二作用で、收斂とは縮んで痛みを止め膿を減ずる作用防腐とは膿の如く腐れを防ぐ作用である、この二作用を繰返してゐると謂つておいても慢性になる淋病の事故、自然慢性となり痛みや膿や淋糸ニゴリ等は日に減少しつひには肉眼では見えない位になります。そして之を治つたと稱するのであるが、實際には治つてゐないのであります。何となれば暴飲暴食過勞飲酒に逢ふと忽ち再發して一層苦しむか、婦人に感染して婦人諸病の最大原因となるのである。元來

淋病 は感染後次第に尿道の奧へ進行すると共に尿道の兩壁へ深く眞皮に達する部分へ無數の穴を穿つて、奧深く潜藏してゐる

日本政府特許公報 記載發表の原文

抑も淋菌は攝氏四十度內外の加熱により容易に死滅するものなるは斯界學者の汎く認證する所にして本案は是を最も簡易合理的に應用し何人にても安全自由に使用して克く其目的を達し得る特徴あるものとす（以上原文のまゝ）

【淋菌の巢窟を灼く熱療器】

其の目的を達すと發表された熱療器 日本政府特許公報に安全にして自由に

して非常に弱いからでありまして四十度前後の熱において完全に死滅するのであります。しかし如何にして淋菌を死滅せしむるかといふ方法は、いまだ發表せられてゐなかつたのでありますが、今回一銀行家の手によつて此難問題が解決せられたので有ます。

熱療器 を完成して以來其發明者は古今の發明家が味はふ無限の感慨に打たれつゝ、同器を携へては知人の間を歷訪し、淋疾患者ありと聞く毎に紹介を得て尋ね行き同器の使用法等を懇切に說明教授して無料貸興をなしたる處、使用患者は皆その效力の偉大なるに驚き、全快後同氏を訪れて厚く謝禮をなす者も澤山にあつたが、專門家に非ざる發明者は絕對に之を謝絕し物質的の報酬は發明の本意に悖る事を說いて、つき戾すを常としたのであつたが、かくてあるべきにあらざれば發明者も遂に意を決して昭和二年中同器を携へて自ら

特許局 に出願し所定の手續きを履んで出願せる所遂に昭和三年一月卅一日付を以て上段顯如く登錄第一一三一〇六號を以て特許原簿に登錄せられ更に特許局發行特許公報を以て是れ亦別項掲載の如く、極めて明確に本器の特効を發表せられたのである即ち「…淋菌は四十度內の加熱により容易に死滅するものなるは斯界學者の汎ねく認證する所」とあつて熱と淋菌の關係を明かにし「本案は是を最も簡易合理的に應用し」とあつて、熱療器の理想的なる事を記し、更に「何人も安全自由に使用し」とあつて

素人に も何等の危險なく自由に使用出來る事を實せられ最後に「克くその目的を達し得る特徴ある…」と結んで淋菌驅除の目的を達し得る特質を述べてあるのである。いふ迄もなく特許局は發明に對する最も公正嚴格たる批判者であつて、其間に何等情實の介在を許さないのである。然るに斯く迄優秀なる推奬を添うした事は如何に熱療器の裝置が完全無碍のものなるかを裏書するに足るべきである。

慢性でも淋菌は 熱の力で減滅す 素人に出來る熱療法

前述の如く淋菌の性能や退治の所や豫防法等は十分研究し盡されてあるが、退治其所が藥效の及び難き範圍に屬するため全滅が出來ないのである。治療の洞窟は判明したが、捕へ難いから遺憾にして居るといふのが現代治療學の程度である、併し前言の如く高熱患者が全快と共に當來保有せる處の淋菌を全滅させ全治する事は醫界一般の認むる處であり

高熱を利用して 淋病を輕快にする事は夙に學者の注目する處となつて、慢性淋の病に熱化し排膿過多なるものに對しては一時凡ての治療を中止し、熱器法、熱坐浴、熱水洗滌を施して豫期以上の效果ありとは、伯林大學のゲルハルト教授等の主唱せる處であつて、我國に於てもこの療法は膿々悪性患者に採用せられて顯著な效果を擧げてゐる處であります。若し諸君が排膿頻にて凌ぎ難き際に、試みに懷爐その他の方法により患部を溫めたならば、濫に排膿を減じ輕快を覺えて、熱と淋菌の關係の一端を實驗し得る筈であ

る。昔時骨を灼くと稱された

草津溫泉の入浴 患者は淋菌を一掃した事は屢々實驗せらるゝ所であつて此關係を目敏くも把握したのが實に本器發明の動機である。初めより理工の學に異常の興味を有し、器械の組立等に事業を擲つ事も屢々であつた發明者が銀行奉職中當時花柳病法案が議者間に問題視されしと同時に自己も或る刺戟を受け如何に淋毒の恐る可きかを實地に見聞し何んとか此の病毒の一掃を圖る可く奮起したのである。凡そ發明家たる第一要件は人世有用の具と化し得るや否やを端的に見分ける眼であります世人憐みの的である淋菌病撲滅の手段として熱其物に

着眼した事は實に敬服に値するものであります。第二の要件は既に摑んだ所を飽く迄追及する熱の入でて有ます。第三の要件は相當な知識であります。本器の發明者は初より科學に對して深甚な興味を有してゐたのでありました。この三者が渾然一體となつて、古今の大家が驚嘆を絞つて出來なかつたものが最新の考案により完全な

治淋法が熱療器 となつた事は誠に偶然ではありませぬ。發明者自身も始めは熱の源を何に求むべきかについて研究を重ね、電氣、炭、ガソリン等を種々な方法で實驗したのであるが其患部が微妙なる局部であるため

いづれも不適當にて使用出來ず最後に、柔かな溫度と急激な熱度が直に出來て危險性がない爲めにはアルコールが最も便利なる事を發見し燃料は之をアルコールに取り次に局部を如何に熱するかについて、數百回の實驗を經て、極めて巧なる裝置によつて、完全な溫度の調節と相俟つて、目的を達し得る方法を案出したのであります。效力は極めて確實で更に狂ひが生ずる恐れなく、急性患者は勿論の事永年慢性で苦しんだ多數の患者も本器の使用により全快せし實例は枚擧に遑のない程である。

幸ひに特許權 當會の主權に落ち 救世的實費分讓

頒布方法についても本器の發明者はその理想を徹底せしむる爲め特に細心な注意を拂はれ、患者諸賢の負擔を輕からしむる爲め專念せられ、再三の懇請にも拘らず之を營業者の手に渡す事を肯ぜられなかつたのである。かりに本器が營業者の手にわたるとせば三十圓四十圓の高價となり、患者は六倍七倍の代價を支拂はされるは明かな話で、何等學術的に根據なきあんま器やお灸の器械幸の價格を見れば一般營利業者の心理は判るのである。幸ひにも本器の發明者は吾が協會の主旨に賛せられ、特許に關する一切の權利を讓渡せられたのである。本會に於ても發明者の念願と相俟つて**淋菌一掃てふ大目的貫徹のため金五圓送費無料と云ふ徹底振りを發揮して**世に添ふ事としたのである。希くば從來無效なる新賣藥の類に巨費を投ぜられ憤慨せらるゝ人は本器を使用して短日月に回春無病の健康體となられよ。

淋病を放任 しておくとなぜいけないか？ 過れる藥物療法、猛烈な淋菌も、熱の力で死滅す素人に出來る熱療法

放任して置いていゝといふ疾病は一つもないがその うちでも淋病は特に然りである。淋病を完全に全治しないでゐると徐々に陰〇は〇〇不能の傾向を來し、生存々續上當然の權利であり享樂である交〇不可能となり肉體的破滅を來すばかりでなく精神的にメランコリーに陷る、延いては早老を來し遂に生活戰線上の敗殘者となつて悲慘な死を招くに至る。夫婦間に子寶が得られないばかりでなく男性の淋病は當然妻女にもこれを及ぼし婦女子は子宮病にヒステリーに不姙症に陷り悲慘な破滅は一家に及ぶに至るのである。何淋病を放任して置いて併發する男女の淋疾患性諸症の二、三に就いて述べてみると。

◇包皮〇頭炎——は多くは包莖と尿道淋患者に發するもので、即ち外尿道から漏出する濃汁が〇頭の包皮との間に溜つてその刺戟の爲に〇頭の表面や包皮の內面が糜爛する。症狀の激しい場合は包皮の外面から見ても發赤、腫脹、浮腫を呈して包皮を飜轉することが出來なくなり尙一層激烈になると血液の循環が障害されて包皮の內面が壞れ又は一部分が破壞して孔が出來ることがある。斯うなると在來の藥では一階から目藥程の効きめもなく放任して置けば一層惡化する。

◇コーペル氏腺炎——この症狀は概して稀であるがコーペル氏腺が淋菌に犯されると患者は會〇部に疼痛を感じ、殊に起立步行等に於て著しい疼痛を感ずる。又放尿の際には疼痛を感じ腺が腫脹せる爲に排尿困難を來す。この腺の腫脹は自然に減退することもあるが時には化膿して外部に破潰することがある。そしてコーペル氏腺の化膿せる際は可成りの膿汁を漏らすものであるが熱療器を使用すれば簡易に治療出來る。

淋病になやみ 藥デ全快シタ人ガアリマスカ 直接淋菌ヲ殺スカノアルモノハ 熱療器以外ニアリマセヌ

◇副睾丸炎——淋病患者の多くが副睾丸炎に犯されるが內服藥や注射藥や挿入藥でウミや痛みが止ると多くの患者は最早淋病は全治したもの〻如く誤信するが、豈計らんや多くは副睾丸炎に移行させて了ふ。ウミや痛みは藥を用ひなくとも放任して置いても多くの場合止まるが、多くの患者がこの時全治したと迄は考へない迄もいくらか良くなつたと考へるがこれが大きな誤解である。其時は最早一層執拗な慢性淋に罹つてゐる。淋毒性の副睾丸炎は主に急性淋の第一に灼熱の感あり起立、步行等の際には非常に過敏で場合に依つては步行の出來ぬことがある。そして局部の粘膜は發赤、糜爛を來し疼痛が激しい。

本器は男子專用のものであるから婦人の淋性疾患を治すことは出來ないがこれを豫防する事は亦花柳病豫防協會の念願とする處で、其爲には男性から淋病を完全に驅除することである、熱療器が直接婦女子の淋性疾患を治さないにかゝはらず識者婦人間から多大の聲援援助を受けてゐる所以である。

應答一束

全快者の禮狀や專門家の賞讃と共に種々本器に對する質問がありますが、相互の手數を省くため概括的に左記摘錄して參考に供します

（問）私は醫術の心得は少しもありませんが熱療器は素人でも使用出來ますか

（答）素人の方は勿論どんな不器用の人でも簡便に治療出來るのが熱療器の一大特長です。

（問）現在の熱療器で婦人病も癒りますか

（答）熱療器は男子專用ですから女の方には使へません。

（問）私は遠方のものですが小包で御送り願つても途中で器械が破損する樣な事はありませんか

（答）器械は全部金屬製の上に堅牢な箱に入れてお送りしますから破損したり具合の惡くなつたりする憂ひは絕對にありません。

（問）私の惱んだ淋病もお蔭で完全に全治しましたので不要になつて居る熱療器を現にこまつてゐる友人に貸してやりたいのですが…

（答）あなたの物ですから貸すのは結構ですが、念の爲め器械をよく消毒の上貸して上げて下さい。

（問）感染して約二ケ月あまりのものですが熱療器を何日位使用すれば完全に癒りますか

（答）同じ二ケ月でも體質と病氣の進行程度にもよりますが、本器の實驗例によれば大抵十日間內外で好結果を得ると思ひます。

（問）熱療器を使用すれば別に攝生の必要は有りませんか

（答）如何に特許の器械を使用しても攝生を怠つては全治は長びきます、淋病患者の攝生法食物の撰び方、並びに從來各所で販賣しつゝある賣藥の內容等は器械と共に詳しい說明書を差上ます

（問）廣い場所でなければ熱療器を使用する事は出來ませんか

（答）便所の中でも使用の出來る位の器械ですからどんな狹い場所でも祕密に治す事が出來ます。

◇熱療器が喜ばれる諸點◇

熱療器を實驗された淋病患者から毎日色々のお便りを受けますがそれらの內で實驗者から特に喜ばれる熱療器の特長とも云ふべき諸點を掲げてみますと

◇**效果が極めて確實迅速な點** 本器による發生傳導熱は小局部に限られる爲、白血球が急速に集中し來つて旺盛な喰菌作用を開始しますから治淋效果が極めて確實で迅速なのです。

◇**愉快に治療出來る點** 本器に依る適當な傳導熱は局部に快味を與へます。この點實驗者はどなたも高唱されてゐます。

◇**誰にも使用出來る器械の構造** 特許公報にも記載されてゐる如く「何人にても安全自由に使用」出來る熱療器で、素人に危險なる電氣等を使用せず少量のアルコールを使用發熱さすため何等醫術の心得のない人々にも容易に組立てられ僅少の費用で治療出來ます。

◇**熱度の調節が自由自在な點** 本器には熱度の調節器が付いてゐますから傳導熱は低くも高くも自由自在思ひのまゝに調節出來、使用上何等の危險がありません。

◇**使用に際し場所を嫌はない** 本器は便所の中でも使用出來る位の器械ですからどんな狹い場所でも祕密に治す事が出來又手仕事しながら讀み書きしながらも樂々と治療出來る裝置になつてゐます。

◇**價格の安い點** 花柳病豫防協成の實價格は付屬品等一式付僅金五圓といふ徹底的廉價を以てし坊間賣藥の一二週間分の價にも足らぬ實費で分讓して居ります。

おたより

◇「熱療器」——私の救世主だ。單に私の淋病を治してくれたばかりでなく私の職務をクビになることから救つてくれた「熱療器」私の職務は御承知の如くかなりの激務ですがこの間にあつて僅八日間で全治させました。始めに尿を檢査してもらひましたが大丈夫淋菌を認めないといはれました。其時の私の腕の內を御想像下さい。今は同じ淋病の友人に無料で器械を貸してゐます【××丸鑑原健氏】

◇結婚の話あり小生も承諾致居候も小生は三年越しの慢性淋にて悲觀致居候處治淋熱療器の出現を拜見致し早速貴會にて申込み治療致居候處日々快方に向ひ此處二三日中には完全に全快の曙光相見え、是にて結婚も何の危惧もなく出來る事と（後略）【秋　武田生】

◇熱療器迄一旦半の酒を毎日目標で通つてゐる私です。然も魚は食べ酒は呑み煙草はすひして全治したものですから私にとつては僅五圓の熱療器は實に慈母の如く感ぜられます。私がこれ迄に家傳藥とのみ藥と注射藥につかつた無駄金は三百圓以上だと思ひます。今から考へると實に馬鹿々々しいが何とも仕方がありません。御熱療器と一緒に送つて下すつた書物の中にある淋病賣藥の詳しいすつぱ拔きを見て成程と今更思ひ當つた樣な譯です。器械は後日の爲藏つてあります【台中東光寺氏】

熱療器と使用回數の適度

本器は加熱のみにより淋病を治療するに非ずして患部の白血球の集中增加により淋菌を死滅せしむるものなれば絕對に尿道以外に追ひ込む等の恐れは斷じてなく又副作用を起す如き憂ひは更にありません。御使用後早きは四五日遲くも一週間には白色のウミ（ニゴツテ）出る事（淋菌死滅）が出るか又は小便が出る事になります、其出る事に依つて全治するのでありますから豫め御了承を願ひます。使用回數は朝夕二回が適度ですが書間更に一回使用すれば全治を早からしめ、例へば三週間を要するものも二週間にて全快致します。

淋菌と共に無効賣藥の征服 博士學者が證明した以上の日本政府特許局の登錄證

特許局より上掲の如き立派な折紙をつけられ、御同慶においてもこゝに初めて積年の希望が達せられたるに感謝し、いよく救世濟民のため、淋疾に惱む者をことごとく回春の喜びを味あはさしめん事を期し殊に從來世上の藥種業者たるものが淋病の不治に乘じて新賣藥の類を濫造し、**博士學者の名において、ありもせぬ效能書の證明を連ね、あるひは實驗例と稱して怪しげなる患者の禮狀を蒐集し噓八百を並べて**盛んに患者を詐取する好手段を防止せられん事を期せられ、一意熱療器が有する絕大の如き效驗をより實際に立證せんため、一映博士學者の證明や患者の禮狀等はこれを連ねざる事として、治淋界上に向つて堂々破邪顯正の戰ひを開始したのであります

◆熱療器と他の療法即ち服藥洗滌等の方法と併用して差支なきやとの問合せもよくありますが、これは一向差支ありません。要するに他の療法はウミやイタミ等を止める收斂防腐の手段でありますし、熱療法は直接淋菌そのものを殺す方法ですから、矛盾したり衝突したりする恐れは絕對にありません、唯餘り金錢を浪費せぬ樣御勸すゝめする次第であります。

▶熱療器と特許局下附の登錄證書◀

登錄第一一三一〇六號　實用新案登錄證　東京府北豐島郡　［以下判読困難］

考案者　同右

實用新案ノ名稱　熱療器

前記實用新案ハ登錄スヘキモノト確定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

昭和三年一月卅一日　特許局長官崎川才四郎

政府特許の淋治せしむる『熱療器』淋菌を死滅

一人の全快は十人の豫防となる

淋病は何故治らぬか、それは直接淋菌其物を殺す藥がないからである。然るに此執拗な淋菌も熱に對しては非常に弱く、攝氏四十度內外にて死滅する事は普ねく認められたる事實である。此事實を根柢として完全に熱を局部に送り淋菌を死滅せしむる新裝置を案出したるは、治淋上に革新の炬火を點じたものである。此の熱療器の特色は特許局公報に記載せられた如く一何人にも安全自由に使用して克く其の目的を達し得る點に存し殊に他

征熱特刊

滿洲國軍政部が熱河省民を慰撫教化するため發行する軍事新聞たる征熱特刊の第一號

討熱作戰軍 總司令部聲明 討熱原爲完成國土 國軍是在弔民伐罪

日本軍司令官 告滿洲國三千萬民衆

對日本決心脱退聯盟 張總長致電慰問

殲滅はしたが僅か千名位で殘念

わが飛行隊、大活躍

【錦州にて山代特派員廿八日發】朝陽から凌源に潰走する反滿軍の情況偵察のため〇〇飛行場はエンヂンの音で滿たされてゐた黄色を帶びた夜來の蒙古風はすつかりをさまつて廿八日の早朝は

絶　好の飛行日和である、午前十時〇隊の前島中尉〇〇〇機と〇〇〇機の編隊長として藁柏鎭の反滿軍を討滅するため勇ましく上空に飛ぶ、〇〇飛行場には近頃に見ない活氣が漲り飛機は約三時間熱河の上空山また山、野また野の高原を翔破して午後一時再びその雄姿を〇〇飛行場に現したが、凌源附近一帶には堅固な陣地を構築し反滿軍は應戰の準備を進めつゝあり綏中西南方野鷄溝には約一萬からの反滿義勇軍が移動しつゝありとの情報に接し我等の愛國機廣島號、同帝國生命號に〇〇機は八木中尉の指揮の下に敵を逃がすなとばかりに午後三時半綏中より凌源に向ひ赫牛營子、南公營子に敵匪を發見し飛行機の

爆　音に狼狽して逃げる敵匪に機上より地軸も裂けんばかり爆彈を投下し約一千名に近い反滿軍を撃滅し午後四時二十分歸隊して來たが八木中尉は一萬と聞いてゐたが、一千名位のもので全滅はせしめたが殘念だつたと從容として語つてゐた、反滿軍は凌源附近一帶には堅壘を築いてゐるが朝陽より向つた〇〇隊は凌源間近く肉薄してゐるので凌源占據も近いうちだと

天然痘も流行の兆あり

吉野町四番地大澤鶴松(二九)大和町二六番地稻葉伊助(三〇)の三名は二十八日天然痘を發病、聖愛醫院に收容されたが、今年は天然痘流行の兆があるので大連署衞生係では定期種痘を例年より一ケ月を繰上げ、三月中旬から施行する豫定で準備を進めてゐる

木町、日出町、楓町、大和町、近江町、若狹町、桃源臺の如く社宅街に非常に多くこれが病源について研究を進めてゐる

市内明治町七番地杉浦伊五郎(五三)

失業海員救濟の戰線に異狀

阿波共同も要求拒絶

「日の丸艦の中から國外人を運び出せ」灼ける樣な要求のもとに去る十五日海員組合大連支部の支持を得て海務協會海員集會所において失業海員對策協議會を開き飢餓線上にある三千五百の失業海員の爲め第一聲をあげたが、その際日支乘組員交替實行に關し實行委員太田正夫氏以下四名が選ばれたが實行委員は同大會によつて決議された決議文を大汽阿波共同に提示してその應諾方を要求した、しかるに大汽側では「ともかく考慮する機會を待て」と云ふ返答を得た一方阿波共同汽船は本社が德島にある關係で當地支店を通じ交渉中であつたが一日失業海員對策協議會宛に財政上より見て不可能、しかも嘗て日本海員を使用して懲りた經驗があると暗に要求を拒絶して來た、組合側では更に今一度電報をもつて考慮方を要求すると共に來る三日阿波共同汽船を對象として對策演説會を開催することとなり、組合對阿波共同間の空氣險惡なものがある

太田委員談

失業海員對策實行委員太田正孝氏は語る

我々はあの大會の翌日、阿波共同支店を訪れて決議文を提出したんだがその際特に支那沿岸を航行する船舶に交替方を要求するのでなく目下朝鮮に行つてゐる第三十六共同、第二十一共同の二船の支那船員を乘替をしてくれと云つたんだが一日の返事ではこちらの意見も無駄になつて殘念だが三日に對策につき演説會を開く

上崎支店長談

阿波共同汽船大連支店長上崎龍次郎氏は語る

實は昨日來られて決議に對する返事との事であつたので本社から云つて來た通りを説明しておいたのです

皇后陛下より繃帶を御下賜

【東京一日發】皇后陛下には一日滿洲各地衞戍病院に收容中の負傷兵に對し重ねて繃帶御下賜の御沙汰あり、本日午前九時合田醫務局長を通じ御下賜あらせられた

怪電の主は賣國の支那浪人

空閑少佐を救うた甘も關係

東京憲兵隊に引致

【東京一日發】東京憲兵隊角田大尉は目下千葉憲兵隊に出張、同隊と協力し二十八日午後二時半頃本所區東兩國二丁目二十一番地兩國ホテル止宿の支那浪人千葉縣安房郡長者町宮前一一二梅谷政吉、牛込區富久町楓山莊内川村イツ子外二名を引致取調中であるが同事件は支那政府と結託し祖國を不利に導かんとする賣國奴的行爲に關聯するものである、即ち最近千葉の某所より南京政府某要人に對し「日本の國論不統一なり」とか聯盟に對し「熱河討伐は日本の輿論に非ず」とかの怪電を頻々として發するものあるを探知嚴探中、數日前前記梅谷の宅に中國公使館一等書記官楊雲竣、陸軍武官兼廷博同補佐官甘海瀾、同海軍武官楊定誠が深更會合密議を凝した事實を千葉憲兵隊で探知内偵の結果梅谷等が中國國民黨の手先きとなり聯盟に於ける日本の地位を不利にせんとした事實發覺したものである尚ほ前記甘補佐官は江灣鎭の激戰に傷つき囚はれの身となつた空閑少佐を救ひ國民的感謝を受け昨年日本に赴任した人である

朝陽占據詳報

入城して敵影なく市民は即日店開き

【朝陽にて島田特派員二十六日發】東地營子に宿營の一夜を明した田中右翼隊は二十五日午前七時よりいよ〳〵朝陽の攻撃を開始した、先づ西地營子に砲列を布いた〇〇隊の掩護射撃の下に李海鴻軍を撃破し一路朝陽に進撃したが、この日鈴木部隊長も最前線まで乘り出し田中〇隊長と固き握手を交したのち鈴木部隊長は右方高地に立つて敵情をうかゞひ、又田中〇隊長は〇〇旗のカバーを取らせていよ〳〵正式進撃の形態をとつた、朝陽には李海濤の相當有力な部隊がゐるとのことであつたが我砲撃、〇兵の前進にも拘らず時々迫擊砲、曲射砲を以て砲撃を加へて來るのみで敵兵は全然姿を見せず朝陽のシムボルたる二座のラマ塔は眠るが如く紫にかすんでゐた、いよ〳〵我田中右翼隊の最前線が朝陽に迫るや軍旗を先頭として各々

決死の覺悟

を以て北門に迫つたが敵兵尚姿を見せず午後三時我最先兵が城内に入つた時は敵兵は全然姿を見せなかつた然し〇團本部その他敵兵の宿營舍に當られてゐたと思はれる所には銃器彈藥等軍需品が數多殘されてゐたが餘程あわてゝ朝陽城を逃れ去つたものと思はれた、城民は皇軍の入城を心から喜んでゐるが如く中には「自分は滿洲國民だ、日軍は太陽の如しだ」等と愛嬌を振りまいて來るものもある、從來各地の討匪等において日本軍が入城したところは一ケ所もなかつたが、朝陽では日本軍が入城するや否やたゞちに日滿國旗を掲げて歡迎し當日から店を開いてゐるやうな店を開いて商賣を始める有樣で如

大連の猩紅熱

豫防注射施行

本年に四十七名

一時下火となつた大連市中における猩紅熱は二月末から再び猖獗を極め本年に入つてから四十七名の多數患者を出し、しかも極めて悪性にて中耳炎、關節炎等の合併症を起して死亡率極めて多いので、大連署衞生係では近く第二回の注意ビラを市中に撒布すると同時に豫防注射を施行することゝなつた、今回の猩紅熱發生區域は乃ち

ぢやく〳〵馬に不利の證言

ヒデト、フエリシタ夫人の國際愛破局事件公判

【東京一日發】中野秀人氏とフエリシタ夫人との國際愛破綻の離婚訴訟第二回口頭辯論は一日午前十時四十五分より開廷當のフエリシタ夫人も傍聽席に來て居るのが目立つ、直にアデリア夫人の證言に入り流暢な日本語でフエリシタ夫人對中野秀人との戀愛シーン一幕を物語り次いでフランスに於いて二人が結婚成立に至るまでの努力をなし、且正式の結婚媒妁人である秀人の友人池本喜三夫氏證人席に立ち

私は兩人の結婚のために力を盡したものであるが、フエリシタは思想的にも經濟的にも到底日本人である中野の妻たり得る女でなく、フランスの習慣に從つても彼女は人妻として赦されぬ女である

彼女の母は娘と結婚する以上フエリシタ夫人に一擊を加へ三千フラン(三百圓位)の生活をさせて下さらなければいけぬと要求したが中野は不可能な旨を答へたところ、フエリシタは高い生活を要求するのは母の考へであつて私はどんな愛でもいゝ、手鍋提げても厭はぬと熱情的にいつたものである、そこで私はその後彼女に會ひの事を持出しその心變りを詰つたが全く反省しなかつた

と答へフエリシタ夫人に不利な言をなし、裁判長は彼女は中野の尊屬に對し如何なる侮辱を與へたかと問ふたに對し池本喜三夫氏は彼女は中野の母を惡人といひカルメンを毒殺するだらうといつた

と述べ午後零時四十五分休憩、二時開廷、フエリシタ夫人の性生活等素行上に關する取調に入つたが風俗を紊すものとし傍聽を禁止し

銃と銃る後の人達が——

全滿で團結し射擊協會を結成

滿鐵、關東廳も經費を持ち名譽會長に武藤全權

我が生命線上に活躍する在滿邦人はたとひ銃後の人と雖も何時でも銃を執る覺悟を養成する必要ありとし、從來全滿各地に在つた射撃團體が合して今回全滿を一丸とした滿洲射撃協會が設立されることゝなつた、即ち從來大連には市民射撃會、滿鐵射撃部あり、沿線各地には在郷軍人分會において時々射撃會を催してゐたが、たま〳〵關東軍司令部の贊助の下に今秋九月に全滿都市對抗射撃大會開催の議が決せるを動機に滿洲射撃協會結成の氣運勃興し、去月二十五日關東廳體育研究所發起の下に市民射撃會、滿鐵射撃部の各代表が集合し設立の會議を開いたが愈々結成を決定し既に關東軍司令部の諒解を得た同協會は役員として名譽會長、會長、評議員を置くが武藤大將を名譽會長に推戴するに至るべく、滿鐵、關東廳も參加して經費を分擔し全滿に支部を設けて從來の各地射撃會を支部に包含する、なほ本年九月には全滿都市對抗競技を行ひ選手を明治神宮に派遣するが、このほか奉天北大營附近に國際射撃場を設置すべく目下敷地物色中である

劇的シーン裡に第〇〇團長入城

將軍の挨拶に市民代表感激す

【朝陽にて板屋特派員廿七日發】死の底のやうに疲れ切つてゐた朝陽の町は皇軍の將士を迎へて始めて安堵の日を取戻し、固くとざしてゐた門戸を開け歡喜に沸き返つてゐるが、わが輝ける第〇〇團長を迎へた二十七日は將來全市を擧げて色めき立ち戸毎に眞新らしい日の丸と五色の

皇軍の入城

に安堵して何に皇軍が歡迎され又ゐるかどうかはれた、〇團主力は午後五時頃入城して朝陽は全くある

皇軍の占據するところとなつたが二十七日中に第〇〇團主力が入城し盛大なる入城式が行はれる筈で旗を貼り第〇〇團長の入城を今か〳〵と待ちあぐんでゐた、將軍は北票より八里の山々を數十臺の自動車を連ね戰ひの跡生々しい朝陽への路を堂々進んでゐた、午後三時二十分將軍は川原、鈴木兩部隊長に迎へられ朝陽城外に到着、迎への栗毛の馬に打ち乘り銃劍の護衛の中を小林參謀長、淺間高級副官を從へ馬上豐に堂々南門より入城〇〇に向つた、將軍は鈴木部隊長に昨日の戰鬪の勞苦を謝し、熱烈なる握手を交し劇的シーンであつた、將軍來るとの報傳はるや、この赫々たる風姿をみ警咳に接せんものとつめかけた、將軍は全市民の代表として朝陽治安維持委員會長、商議會長の二名を快く迎へ今度は日本軍の兵隊が色々御迷惑をかけた、今迄は非賊に苦しめられ續けたであらうが、もう我等が來た以上は大丈夫だから皆安心して業に服し滿洲國建設の爲に盡力して欲しいと力強く述べ、市民代表は感謝と誓ひを以て答へ、滿洲國進展の途上に美はしい結合の花束を投げ與へた

三原山 繁昌する 自殺又二人

【東京一日發】大島三原山に投身した本所區龜澤町二の一九齋藤方明治製菓社員大森義江(二三)で二十八日午前七時三、四名の伴れと登山し突然死して空に歸す、父母兄弟に見えず時勢その極に達す社會の健在を祈ると辭世の句があつた

この間の日曜日に見惚れてゐる油斷に投身したもの、尚齋藤の遺書でもないかと居ると何れもキチンと十八日わざ〳〵引取りに來た實兄茂吉、義兄米三兩氏と共に同日正午頃三原噴火口見物に登山し二人身を躍らして噴火口に飛び込んだもの、もう一つは家出人として元村署に保護中の神奈川縣都筑郡新治村岩本富正(二五)と云ふもので二

今度はモラロジー

モデルノロジオが出たと思つたら今度はテクノクラシだ、そこへもつて來てこんどはまたモラロジーといふもの、講習會が三月六日から大阪西成區千本通六丁目玉出第三小學校で開かれることになつた講師は法學博士廣池千九郎、法學士廣池千英、文學士廣池利三郎、中出中、香川景三郎の諸氏そもそもモラロジーとは廣池博士が昭和三年道德科學として提唱したもので產業經濟を最高道德の上に立脚すべきことを科學的に系統づけたもの

唾の神祕黴毒診斷

醫學博士樋口榮氏＝大阪市西淀川區三國町樋口病院長＝が、人間の唾液のもつ新しい神祕をあばいた研究發表をした「唾液による黴毒反應」！これ迄從來の黴毒檢査はワッセルマン、ザックスゲオルギー、マイニッケの方法があつたが唾液による檢査は樋口博士の方法が初めてゞこれにつき博士は次ぎのやうな利害點をあげてゐる

一、反應がワッセルマン反應(血清による)より弱い
一、消毒や器具を使用する必要がない
一、技術を要しない
一、六ケ月間の保存に耐へる
一、遠隔の地に送ることが出來る
一、精神病患者からでもとれる
一、何度でもとれる

盛り場の怪人

この間の日曜日大阪南區心齋橋大丸の表入口から雜沓する客をつきのけ血相をかへて飛び出した廿歳位學生服の青年が清水町を東に彈丸のやうに逃げるのを同じく血相かへた卅歳位トンビの紳士が足袋はだしで追跡する活劇に彌次馬がなんと百餘名！彌次馬はわれこそ犯人逮捕と立ち向つたが必死の青年は八幡筋を東に折れ鰻治屋町筋を南に三津寺筋を東に、竹屋町筋を北に——ぐる〳〵逃げ廻つてその間一哩を越えて鰻谷東之町長堀高島屋の裏でやうやく取押へられたが、この時は彌次馬が三百名を越え黒山を築いた、右は朝鮮生れ住所不定丁學田(二〇)といひかれて島之内署で搜査してゐた萬引常習犯

小指と俳優を交換

東京日本橋區濱町明治座の樂屋の入口に左手の小指を切つて朱に染まつて打倒れてゐる男があるのを坂東彥三郎が發見、事情を訊くと右は茨城縣多賀郡助川町字堀留日立製作所設計係風野春雄(二九)で以前より松本幸四郎に心酔し弟子入したいと五年前よりその科白をレコードで覺え込んだが、愈々俳優で身を立てるに決心し長男明哉(五)及び長女熙子(三)と淚の子別れし助川驛で送りに來た妻はな(二〇)と訣別上京、明治座まで來て幸四郎の出動を待つたが午後四時になつても幸四郎の姿は見えず悲觀の末小指を切つたものである

小學生の思想調べ

赤化教員の續出に驚いた長野縣學務課で小學生の思想しらべに「日本の將來はどうなる」「貧乏人があるわけ」といふ作文の課題を出したところが「ヒックリ返る」「金持ちがさかなを食ふから」との答へを出した兒童がゐた

同性愛のため結婚を解消

新婦の行方不明

【東京一日發】既報堀口文理科大學副手と新婦文子の結婚解消問題は時節柄注目されてゐるが、其原因は新婦に同性愛の女性があり其爲堀口氏と結婚式を擧げたもの、其女性が忘れられず、然も結婚式の日は月經期に當り遂に新婚の家出となつたもの如く、父純一氏も「生理的知識を娘に與へなかつたのが手落だつた」と後悔してゐる、尚新婦の行方は不明である

機關車脫線

【奉天電話】一日朝安奉線安東發蘇家屯行貨物四九一列車が石橋子火連寨間を進行中、突然同列車の機關車が脫線したゝめ不通となつたので直に復舊作業に着手し一日夕方までに開通の見込みであるがこれがため奉天午前九時發釜山行第六列車と午後一時着第七急行列車とは現場において乘客を乘換連絡せしめてゐる

江龍丸出港

第三埠頭二十四番バース繋留の江口汽船所有江龍丸(三千四百噸)は一ケ月の豫定で大阪商船に傭船されてゐたが夜荷役のオーバータイムに對する賃銀增に關し船員側から江口汽船では出してゐたから大阪商船でも出せと要求したことから乘組員と商船側の意見の相違を來したが同日は午後八時半まで夜荷役をなし殘部を一日午前に廻し同船は豫定の如く一日午前十一時内地に向つた

安樂椅子

大連汽船では三月末定時總會を開き昭和七年の決算を討議する筈で目下滿鐵の監査を受けつゝあるが、例の安田前社長が辭める辭めぬで紛擾が起つてから丁度滿一ケ年になる。

……◇……

そこで增田專務は當時を回想して「實際あの時はつらかつたですよ、安田さんは辭めぬといふし、滿鐵側は再任せずと決議してみでれ、小澤宣義君が閣下の重役に頑張つてゐるたし、僕は所謂板挾みでれ、小澤君は氣が強いものだから憎まれ役を買つて頑張つたが僕はさう〳〵内地へ逃げ出しましたがれ」

……◇……

子息の學校關係を口實に内地に行つてゐた增田さん、安田氏去つた後の大汽專務に任命され宏壯なる新社屋の專務室に納まつて如何にも感慨深しといつた態

海と空と（126）

高杉晋一郎作
橋本淸史畫

明暗（十四）

雪夜の大連に別れを惜しむ違もないほど時間に迫られてゐた。家を出てすぐ附近の四辻で馬車を拾ふと、その幌の中から灯に輝く雪の街路に美しい大連の町を眺めつゝ、驛へ急いだ。どこか映畫のクリスマスの夜に似た風景だつた。鋪道を歩いてゐる者は皆少し俯き加減で白い息の輪を背後に流してゐた。喫茶店、酒場などの扉からさつと溫かさうな室内の空氣と一緒に元氣よく出て來る男も見えた。襄は頭の一部でその風景を眺め、一部で今出て來た家の事、ボールの事、逸見のことを考へてゐた。ボールは店へ出てゐるだらう若しひそかにその姿に別れられるものならもう一度とも思つたが、自分ながらさうした未練がましさに嘲笑を感じた。彼は唯、馬車を急がせた。

驛へ着くと、正面の大時計は、旅順行終列車の發車前二分を指してゐた。飛ぶやうにして切符を求め陸橋を渡りプラットホームへ降りると、發車前の鈴が鳴り終つた所だつた。彼は辛うじて列車の踏段へトランクを投り込みながら乘る事が出來た。

發車してから車内へ入つて見ると乘客は僅かだつた。

彼は暫くは何を考へるでもなくぼんやり座席の一つへ埋まつてゐた。それから漸く一切の事が再び潮のやうに頭へ押し寄せて來た。別に今更解決を要すると云ふものではなかつたが、一切の思ひ出が事毎に改めて噛んで見なければならないやうに迫つた。

沙河口、周水子、夏家河子、營城子……それら小さい驛に小刻みに五つばかり止るだけで、旅順迄は五十分位で着く筈だつた。若し、谷に逢つてからまだ周水子まで出る列車があつたら、今夜の中に本線に戻つて奉天まで行つて了はうと彼は思つてゐた。そんな事を考へながら、彼は、兄の別れ際の眼を思ひ、母の哀願するやうな顔を浮べ、ふとまた逸見の苦しんでゐる姿を眼の前に見るやうに思つた。（その逸見――襄が青島の市場の二階に想像してゐた逸見は、もう鴨綠江を渡つて朝鮮へ入つてゐるだらう）

襄の前には、電車道を挾んで何かに焦るやうに癇な上氣をさせてゐるボールが出て來た。あの時のボールは自分を憎んでゐたのだらうか、それとも何かを語さうとしてゐたのか、避けるやうでもあつた。然し自分の眼をじつと見凝めもした……。

彼は逸見とボールを結婚の姿で二つ並べて見た。さうして自分がそれに喜べるかどうかを思つた。彼等の手を取り合つた姿を思ひ浮べて見た。微に喜べるやうだつた。それで彼は滿足だつた。もうこれ以上ボールの事は考へてはならない……。

窓外に走る闇を見つめ、まばらな乘客に無關心な視線を投げ、或ひは前の座席のクッションに眼を落して、來往するそれ等の想念に驅られてゐるうちに、列車は走るやうに過ぎ、氣の附いた時は最後の小驛龍頭をもう通過してゐるのだつた。

間も無く列車は旅順驛の構内へ入つた。

ひつそりした人氣の無い、雪に閉された旅順驛へ、數へるほどの乘客と共に降りた襄は、まづ驛の時間表で此處から今夜のうちに出る列車がまだあるかどうかを調べようとした。

彼は、驛の待合室の壁に貼つてある時間表の前に立つて、細かい活字の上を讀み始めた。それで見ると、彼の乘つて來た列車が僅か二十分をおいて再び大連へ引返すのが最後でそれ以後に出る列車も入る列車もなかつた。此の終列車が、周水子で本線の急行と連絡するやうになつてゐた。

（それでは今夜は谷の處へ泊らなければならぬかな）とさう彼が思つた時だつた。

彼はふと聞覺えのある聲を耳にした。

それは時間表を貼つてあるすぐ左の待合室の窓を通して、内部から聞えて來る聲だつた。

彼は思はず耳を傾けた。

滿日俳壇

冴返る　島田青峰選

冴返る湊の朝の汽笛かな　大連　園部　紅花
冴返る朝の汽笛や泊り船
構内にベル冴返る終列車
曉の海に櫓の音冴返る　香川縣　高木　宏影
紅白の夜の梅花や冴返る
一望の雪の野原や冴返る
梅溪に頽れる雪や冴返る
玻璃戸越し梅花の見えて冴返る　大連　中島　弘叢
着ぶくれし苦力續くや冴返る
表忠塔白く聳えて冴返る
支那馬車の鈴の音や冴返る　[illegible]　河本　寒夢
番犬の鳴く聲絶えて冴返る
冴返る廟の前なる石の段　失名氏
山寺の筧の音や冴返る
除夜の鐘この寒空に冴返る　大連　占部　靜閑
冴返る湖水に近く住みにけり
冴返る教會の塔見えにけり　大連　小松　乙英
冴えきつて曉の窓なる雪の富士
下駄の音鋪道に響き冴返る　大連　岡野しのぶ
遠山の雪のまばらや冴返る
冴返る大地に響き鐘遠し　大連　伊藤　碧州
片町の灯り届かず冴返る　金州　菊地　美枝
山道やたゞ一筋に冴返る
冴返るや醫師と急ぐ橋暗し　旅順　久保田　露星

滿日俳壇募集規定

次回課題「春の寒」「鷲」「桃の花」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲住所雅號氏名明記▲締切三月十日▲封筒に「滿日俳句」と表記の事▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

けふの放送

大連　JQAK　三月二日

▲午後六時ニュース（以下内地中繼）
▲講演（六時三十分）「亞細亞聯盟の結成と世界の平和」文學博士　村川堅固
▲常磐津（七時）「伊賀越道中双六平作腹切の段」淨瑠璃常磐津政太夫、同同豐太夫、三味線同政諒郎
▲落語（七時三十分）「花見の仇討」橘家圓藏
▲獨唱とピアノ（八時）一、獨唱（イ）別れ、アルヴァレス作曲（ロ）ジプシーの娘を求むるは誰パイジレロ作曲、獨唱伊藤敦子　ピアノ獨奏及伴奏ジエームス・ダン、フルート助奏宮田清藏（一）ピアノ獨奏トッカータとフーガバッハ作曲、タウジッヒ編曲（二）獨唱（イ）朝の歌レオンカヴァロ作曲（ロ）ジプシーと鳥（フルート助奏付）ベネデイクト作曲（ハ）歌劇椿姫さらばこの世、ヴエルデイ作曲（以下大連放送局より）
▲（八時三十分）職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

婦女界（三月號）

「夫の職業と妻の苦心を語る座談會」は婚期にある女性も母親も、配偶者の選擇上ぜひ讀んでおく必要がある、ほかに「新時代の結婚行進曲」「話題の結婚四重奏」「結婚適齢期日記」等々、募集實話「貞操を蹂躙された女性手記」「夫の性病に感染して惱む妻」興味讀物は「國際愛破局の裁判傍聽記」「女優森静子の悲戀物語」「歌姫淡谷のり子の戀愛巡禮」等々、實用記事では「婦人子供服を經濟にするコツを語る座談會」「結婚すれば惡化する病氣と手當」「性病の話」などがある、附錄「家庭百科重寶辭典」今月の第六巻で完結した、（附錄共定價五十錢送料七錢東京丸ビル婦女界社發行）

婦人と修養（三月號）

特輯記事「職業婦人になる手引」「税金の話」「私の父母を語る」では鳩山、荒木、駒井、三令孃に林芙美子、ダン道子、水谷八重子及川道子の七女性が、その兩親と家庭生活を書いてゐるし「親心子と共に」「跡見花蹊傳」「世渡りの道」「子供をはじめて入學させるお母樣への注意」など、また季節向の活花、流産の注意、美容、裁縫、お菓子のつくり方等の一般實際の記事、文藝欄では「足利時子」等がある（定價二十錢、東京丸ビル婦女界社）

幼年の友（三月號）

「石コロ六郎」「日吉丸」「タンクの六サン」「チリリン太郎」「チユ吉ニヤン吉」「トンマクラベ」「コハガリ三助」「大ツブノナミダ」「ターワン」「大ノテガラ」「スケサンカクサン」等二十餘の粒よりの童話、附錄として組立物「ウゴク ペリカン」「タコヽドリ」（定價四十錢、送料二錢、東京丸ビル婦女界社發行）

廣告部電四四四九一番

滿洲日報

三月一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

總退却中の熱河敵軍 古北口長城線で決戰

承德の支持も遂に斷念

【新京特電】熱河省内に立籠つて治安を紊し省民をして塗炭のくるしみに陷れてゐた反滿抗日匪軍及び學良正規軍等は斷然起つた日滿討熱軍のため算を亂して總退却中だが、日滿兩軍は急追又急追、敵は承德の支持も到底望みなしと斷念、古北口關の長城線を最後の一線となし天險を利用して一大決戰を試みる作戰を進めてゐる模樣である

朝陽皇軍けさ前進

【奉天電話】朝陽に集結した第〇〇團は一日早朝より行動を開始し西進中であるが、同方面は地形嶮岨にして行軍は相當困難なる一部は一日早朝同地を出發前進に移れりある、又第〇〇團も引續き〇〇方面に向け前進中である

【新京特電】關東軍司令部發表＝神速なる行動によつて朝陽を占領し敵膽を寒からしめた皇軍の

湯玉麟逃げ路に苦心

【新京特電】匪賊軍の第一線部隊として日滿兩軍に應戰せしめてゐる學良正規軍は、その第一線部隊は各方面とも連戰連敗總崩れの實情にあるので、浮足立ちつゝあるが、承德の離宮内に總司令部を設置してゐる湯玉麟も如何にして北平へ脫出せんかと日夜懊惱しその唯一の脫出路たる萬里の長城中最も嶮岨を以て知られてゐる古北口關への通路警戒は頗る嚴重を極めつゝあり、尙省民の膏血を絞つた熱河首腦者の資産は戰鬪前既に漸次北平その他の安全地帶へ輸送を終つたが、承德の人心が極度に不安を釀して來たので、妻妾家族等の避難準備に多忙を極める一方、一般居住支那人の避難者も古北口關を中心として雪の山路を北平方面へ長蛇の陣を造つてゐる模樣である

星明りをたよりに 凌源街道を進擊

【大杖子二十八日發】長蛇の列を一〇〇〇隊は暗夜の凌源街道を星明りに亘る〇〇〇大縱隊は轟々たるエンヂンを響かせつゝ走る壯烈な光景を展開してゐる、時に二十八日午後九時、〇〇〇は暗夜を衝いて一路目的地に進みつゝある

【大杖子二十八日發】廿八日午後七時大杖子を占據するや矢崎參謀米山隊長は先遣隊の次ぎの作戰を鳩首協議の結果、敵軍は今日までの戰ひに既に完全に浮足立ち最早立ち直り不可能の態となつた、この機を逸せず不眠不休急追し一擧に敵を殲滅すべしとの結論に達し直に消燈前進の命を下した蜿蜒長蛇の如き先遣隊の急足隊は暗夜の凌源街道を消燈した儘星明りをたよりに前進を開始した、矢崎參謀は米山隊長と肩を並べ自動車につゝ立ち地圖を片手に前方を睨みつけながら秘策を練る、命令は次々と發せられ、一里餘に亘る〇〇の大縱隊は轟々たるエンヂンの音を響かせながら整然と突破する、壯絕な光景だ

皇軍の朝陽入城 ―山口特派員撮影

聯盟脫退通告

來週早々樞府御諮詢を經て 本月中旬に發送せん

【東京一日發】帝國政府の聯盟脫退通告に關する手續は外務首腦部と法制局と連絡をとり準備してゐるが、今週中には準備完了し閣議の正式決定を俟つて來週早々樞府御諮詢の手續を執る豫定である、政府としては三月中旬正式通告發送手續を執りたいとの希望を抱いてゐる、諮詢案は聯盟脫退通告書文と脫退理由書である

沙帽山占據

【奉天電話】服部部隊は二十七日龍灣溝附近にて二千名の反滿軍を擊破しこれを西南方の山中に追込み更に同主力前衞部隊も同日推進を有する堅固な沙帽山陣地を攻擊し午後三時これを占據した

陸軍々縮代表 引揚げ準備

海軍側は當分居殘る

【ジュネーヴ二十八日發】松平、佐藤兩大使は二十八日午後十時四十分發歸任した、陸軍々縮代表も荷造を急ぎ海軍側だけ當分居殘る

初年兵敵前訓練

鈴木部隊朝陽にて

【朝陽二十八日發】鈴木部隊は朝陽入城後、直に寸暇を利用して初年兵の教育を始め射擊訓練等敵前訓練を行つてゐる

敗走の敵二千を爆擊し殲滅

皇軍の士氣益々昂る

【錦州にて山代特派員發】かれて前線視察中だつた齋藤大佐は二十八日歸錦、往訪の記者に左の如く語つた

二十日夜南嶺の隧道、大凌河鐵橋爆破の報に接し駐屯部隊をもつて南嶺、扣北營子を急襲せしめたところ、同地の敵はいづれもこの不意の急襲に折角の爆破裝置をなし乍らその目的を達し得ず逃走した、これがため今日輸送が比較的容易なるを得てゐる、二十二日部隊は北票に進擊したが、敵は既に逃げた後で松田部隊は鈴木部隊と協力のため北票より朝陽の道を、鈴木部隊は扣北營子より朝陽の道へ出發した錦州より步行軍せる兩部隊の一部は二十四日夜大八溝に出て松田、鈴木兩部隊に合して大八溝前面の敵に向ひ攻擊して夜に入つた、鈴木部隊の左翼は勇敢に敵の右側背に出たので敵は遂にこれを支へ切れず同夜敗走した、兩部隊はこれを急追し朝陽に入りなほ凌源に逃げんとする敵二千を追つて空軍と協力してこれを殲滅し、兩部隊は二十五日朝陽に集結したのであるが兩部隊の士氣は頗る旺んである、なほ滿洲國軍の入城を非常に喜び居り余(齋藤大佐)は廿八日も朝陽に飛行したがまるでお祭り騷ぎだ、路傍には露店が出兵士たちはまたこれを喜んで買ゐる

事變被害邦人並に その遺族救恤

五、六百萬圓支給か

【東京一日發】外務省では尼港事件を始め南京、濟南事件及び今回の滿洲、上海兩事變の被害邦人にして生活に窮迫せるもの、その遺族に對する救恤を實施することに決定し、これに關する救恤法案と所要經費を八年度追加豫算として今議會に提出すべく、過般來大藏當局と折衝中であるが、右經費の要求額は二千萬圓の巨額に上つてゐるため、大藏當局は財政難の折柄難色を示して居るので、結局五六百萬圓程度に減額される外ない模樣である、而して右救恤金の分配方法については、外務省内に外相を委員長とする救恤委員會を設置し、外務次官以下關係局課長及び陸、海軍、大藏三省の關係局長を委員に命じ、被害邦人又は遺族より地方官廳證明附の申告を受けて右委員會においてこれが救恤程度を審査決定したる上、適宜外務省又は地方官廳を通じて給與する筈である

國際破局と日本外交の活躍 (下)

法學博士 三枝茂智

日英米この世界の三大海軍國が自分も生き、彼も生きるようにと手を組めば、世界に戰爭といふものはなくなる、あつても地方的のものである、英はインドの存する限り日本を敵にするものではないが、日米關係はどう行くか、米は「門戶開放主義によつて長い間支那に働きかけ通商貿易に努力したが今もつて滿洲に三百萬弗の投資と日本とのそれより三分の一に過ぎない本當との實際をもつてゐるのみである、支那より三倍の取引をしてゐる日本と絕緣する事は實利的なアメリカ人のなし得る所でなくルーズヴエルト氏は外交協定による門戶開放主義は維持していゝが、實力をもつてまでして、門戶開放主義を徹底させるは避くべきであるといつてゐる、又日本としても滿蒙に進んで行く以上は、フイリッピンの中立不可侵は認むべく、アメリカ・モンロー主義を、かれこれいふべきではない、アメリカの日本に對する輿論が惡化したのは、上海事件の時であつた、上海にはアメリカの投資が多く、天津、北平にはその他の國々の利權も介在して居る、日本は滿蒙に限らなければならない、米その他の國の利權地域に兵を進めなければ、米及びその他の國との衝突は絕對にないといつてい、實利主義、商業第一主義の米は自分達の商賣の邪魔をしなければ決して戰爭はしかけて來ない、ロシアも當分の間は日本に向つて自國を護る態度でゐるであらう

×

日本は國際政局上孤立した、その孤立は深刻化するであらうが經濟恐慌に苦しみつゝある列國が、日本との通商を斷つ事は、即ち經濟封鎖を以て壓迫する事は言つても出來る事ではないと想像し得られる、日本の孤立は觀念上の孤立であり、國際聯盟クラブでの孤立に過ぎない、事實上はさうでないのである、又先に述べた如く、英、米、佛、和等のアジアに植民地を持つ國々は、日本と共同の利害關係を持つ故に日本をたゝく事は到底なし得る所ではない

かく睨むれば、日本が國際破局に直面し、世界から孤立したといつても、堂々國策を遂行するに當つて何等恐るべきものはないのである

聯盟を脫退したからといつて反動的にアジア・モンロー主義、アジア聯盟を旗じるしにするの要はない、一時國際政局の表面から手をひいて、今迄通り滿洲國と提携して行けばそれで日本は生き得られる、但し滿洲國は朝鮮や臺灣の如く領土ではない、全力を擧げて滿洲國を育て上げるべきである、滿洲國をして國家として立派に完成すれば問題は自然解消するのである從つて國際政局における日本の立場も回復する、帝國外交の活路もそこに拓けて行くのである

×

先年ポーランドが隣國ルチアニアの半分を一夜にして占領してしまつた事がある、その占領した地域にはルチアニアの首都も入つてゐた、國際聯盟は驚いてポーランドにむかひ、占領した所を卽刻還せと命令したが、ポーランドはいふ事をきかず、爾後五年たつた今日でもルチアニアの半分はポーランドのものになつてゐる、日本が堅忍不拔且つ良策をもつて日滿共存の實を擧げて行く所、日本の經濟的地理的國防的安全は保障せられるであらう

猛射を浴びて 敵陣に突入

沙帽山占據長山部隊の殊勳

【大杖子二十八日發】大杖子の敵陣地は海拔約二千米の天嶮を利用した要害で、山上には六十の陣壘が構築され、此處に第一一九師第一〇八師が陣取つてゐた、米山支隊は附近の山頂に逃げ込んだ敗殘兵を掃蕩中である、敵は多數の死體を遺棄してゐるが我軍の損害は負傷三名のみである

【大杖子二十八日發】大杖子占領に先立ち米山先遣部隊は沙帽山の要害に對し二十七日午後二時より攻擊を開始したが、頑強なる百十九師孫軍の抵抗により戰ひは今曉に及び午前九時敵の砲兵陣地を潰滅し、勇敢なる我兵の突擊を最後に沙帽山上高く日章旗を翻へしたこの間省境を越えた長山中尉の〇車〇輛は敵の集中射擊を物ともせず敵壕を破壞、敵の砲兵陣地を攪亂し殊勳を樹てた、米山部隊の〇子〇隊及び村井〇隊は六股河上流において敵の敗殘兵に全滅的打擊を與へた、この戰鬪における我軍の損害は當方面での最初の戰死者谷口軍曹以下中田一等兵、他四名で敵の死體百餘、捕虜六〇、鹵獲品多數に達した、もつて如何に激

長山中尉の 武者ぶり

【沙帽山二十八日發】沙帽山の戰鬪に參加して武勳をたてた關東軍〇〇隊〇隊長長山中尉は〇〇指揮に當つてゐたが敵の頑強さに業を煮やし俄然〇〇體上に躍り上り拳銃片手に部下の士氣を鼓舞しつゝ〇〇を驅つて敵陣深く突入してこれを擊破したが身に微傷だも受けずその鬼神の如き行爲は荒武者揃ひの全軍賞讃の的となつた

烈な戰鬪であつたかを知ることが出來よう

神代部隊 下窪到着

茂木部隊に合す

【新京電話】皇軍の敏速なる進出に朝陽より退却に退却を續けてゐる敵兵は、葉柏壽に頑強なる抵抗を試むべく堅固なる陣地を構築しつゝありと傳へられたが、二十七日飛行機の偵察によれば同地方には既に敵影を見ずとの事である、又綏東方面より出發せる神代部隊は廿七日下窪に入り茂木部隊と合した模樣である

宣撫班の 施療開始

【朝陽二十八日發】宣撫班は二十八日午後二時より治安維持會と協力して一般市民に對する治療を開始したが患者治療所に殺到し大混雜を呈し一般市民は日滿當局の博愛に心から感謝の意を表してゐる

開魯縣城の 郵政接收

【通遼二十八日發】開魯縣城の郵政の接收は滿洲國交通部の命により吉黑郵政監察員伊佐藤次郎氏とハルビン電政局員吉田政雄氏が入城し、直に接收し二十七日より事務を開始した、永らく通信不能に陷つてゐた開魯住民は茲にも滿洲國の有難さをしみじみ感じてゐる

日章旗打振り 皇軍を歡迎

大杖子の居民

【大杖子二十八日發】米山先遣部隊到着後の當地方の情勢を觀るに永年に亘る湯玉麟の暴政に加へて學良軍侵入後掠奪暴行勝手次第の有樣で疲弊極度に達し一般民衆の生色更になし、皇軍の入城に良民は熱狂し小兒に至るまで手に手に日の丸の旗を打振り歡迎の意を表してゐる、今日同隊の通過せる老爺廟では村長以下有力者が日本軍によつて熱河省民は救はれると歡迎文を隊長のもとに獻じた

電氣牛に電氣豚

怪物〇車やサイドカーに 熱河居住民膽を潰す

【大杖子二十八日發】熱河地方の農民は觀念を自由自在に飛び廻る怪物〇〇の偉大な存在を生れて初めて見ていづれも電氣牛が來たと膽を潰し輕快にとび廻るサイドカーを見て可愛い電氣豚が來たから皆出て見ろと村々の子供は大喜びだ

共産議員全部 の逮捕命令

獨政府の大彈壓

【ベルリン二十八日發】ドイツ國粹社會黨政府は國會議事堂の出火を機に俄然共産黨議員の大彈壓を開始しプロシヤ内相ゲーリング氏は二十八日早曉警察當局に全國會に百餘の議席を占める共産黨議員全部の逮捕を命じた

人事

▲うすりい丸 二日午前八時三十分大連港外着豫定

▲里見甫氏(國通主幹) 二十八日朝來連、一日午前九時發列車で奉天へ

▲石塚忠氏(日滿貿易協會理事長) 廿八日來連、遼東ホテルに投宿二日出帆の香港丸で內地へ

▲吉田新七郞氏(北支那駐屯軍囑託) 一日出帆長春丸にて靑島へ

▲岩崎鶴松氏(大連新聞記者)同上

▲野瀨孝生氏(奉天商議書記長) 一日午前八時着列車にて來連遼東ホテルへ

牝角

◇けふ建國一周年記念日、南北滿洲は瑞雲靉々。

◇たゞ熱河の空は、正義の日滿軍進擊して戰雲濛々。

◇中にも皇軍決河の勢ひは、例によつて凄じく。

◇果然、ソウエートが聯盟に大きな脫鐵をドカン。

◇お次ぎはアメリカ、但しこの方は色目使ひ、財鐵なンどは相應しからず。

◇何せよ、無力聯盟の有力化がチイト一頓挫は愉快。

選擧法案 握潰しか

けふ衆院に上程

【東京一日發】選擧法改正案は愈々一日の衆議院本會議に上程される事になつたが、各派の質問通告者は十數名の多きに達して居るので、質疑は二日の本會議迄繼續されることになるであらうが、同法案に對する政友會の態度は選擧公營其他の根本方針を無視し而も改惡に近い條項を含むものとし、改正案に絕對反對の方針であるが政府の面目を考慮の上原案否決の如きことをなさず結局委員會で握り潰すことに決してゐる

東天紅 (9)

田中純作
林一三畫

女友(三)

「まア、お掛けなさい」

「有難う」

窓ぎわの小卓を隔てゝ、二人は椅子に就いたが、かうしてまざまざと向き合つて見ると、二人とも急には言葉が出なかつた。それほどに、二人は、時間的にも空間的にも、遠くかけ離れてゐたのだつた。

「全く、しばらくですわ」

「えゝ。お變りございません?」

「えゝ。まア」

「文子さんも?」

「有難う」

「お子さんがお出來になつたのですつてね」

「えゝ。なにしろ、結婚してもう七年になりますからね」

「お子さんはお幾人?」

「一人です。三つになります」

「では、今が丁度お可愛ざかりで」

「先月、出て參りましたの。それまで、しばらく、神戶の方にゐたのですけれど」

「併し、こちらには確、お母さんとお兄さんがいらした筈ですわ」

「ところが、その兄は、四年ばかり前に家出した切り、行方不明になりますし、その心配やら何やらで、丈夫だつた母までが、その翌年、亡くなつてしまひましたの」

「へえ、それは……」

「全く、散々ですわ」

「それで、お兄樣の行方は、今だに解らないのですか」

「解りませんの。何だか、臺灣邊に行つてるらしいと云ふ噂だけはちらと聞いたことがあるのですけれど」

「では、あなたは今、全くのお獨身ですか?」

「無論ですわ。それでなければ、あなたをお訪ねしたりなぞ、しやすわれ」

「しかし、あなたは?結婚なすつたことだけは聞きましたが」

「駄目ですわ。何もかも」と、晶子は、投げ出すやうに言つた。

「駄目つて言ふと……?」

「ほう。それは――何處か、但馬の方とかへ、結婚していらしたと言ふことを聞いてゐましたが」

「えゝ。初めは、但馬の方へ行つてゐたのですけれど、私のやうなもの、とてもそんな田舍には住んでゐられないものですから、良人にさう云つて、大阪に出て貰つたのですけれど、今度は良人との間が巧く行きませんでね、一昨年、さうさう、思ひ切つて出ちまひましたの」

「お子さんは?」

「出來るものですか。良人はお爺さんなんですもの」

「それで、こちらには?」

しませんわ」

晶子はさう言つて、美しい齒をちらりと見せた。

「どうしてです。結婚してらしたつて、手紙くらゐ、たまにはよこして下すつたつて好いぢやありませんか。文子なんぞ、始終それを云つて、恨んでゐましたよ」

「あら、だつて、落ちぶれた舊友が訪ねて來るなんてことは、誰だつて厭ぢやありませんか」

「そんなことがあるものですか。第一、あなたは、決して落ちぶれてなんぞ、いらつしやらないぢやないですか。僕は今、あなたにお目にかゝつた時、あんまり綺麗になつていらつしやるんで、びつくりしましたよ」

「まア、よくつて?そんな空世辭をおつしやつて。あとで屹度、後悔なさるわよ」

晶子はさう言つて、意味ありげな微笑を送つた。

建國一周年の慶び 全滿をゆすがす

輝く國家の前途に 國民熱狂の萬歳

新京における大式典

【新京電話】三千萬民衆の熱意と誠心を罩めて建設された王道樂土、新興滿洲國の建國を壽ぐべく一月餘の準備に營々として整へられた民政部前の廣場の式場は周圍に幕を廻らし、正面の式壇はだんだらに卷いた黑布、赤布に質素に裝飾され萬端準備完成し一點の雲なき晴朗の陽光に張り廻された萬國旗はゆるやかにはためいて美しい、定刻九時には新京附屬地、城内から過去一年のこよなき福祉と安寧に心から今日の佳き日を祝ふべく蝟集する日滿民衆二萬餘を以て既に立錐の餘地なき迄に埋められ、參列の官民が定席に就くや傍なる軍樂隊に依つて嚴かに吹奏される新作の滿洲國歌に一同脱帽、水を打つた如き靜けさを呈しする〳〵と式壇側の旗竿に上る黄地の一角に赤、青、白、黑の四筋を入れた新興滿洲國旗が上る、感激に滿ちた民衆は思はず萬歳を叫びやがて一同敬虔な敬禮を行ふ、次で新京特別區市長金璧東氏が起つて開會の力強い聲音をマイクロフオンを通じて全滿に向つて宣す、續いて執政府代表は恭しく執政の教書を敬讀し、終つて鄭國務總理より一言々々強い語調で一場の訓示をなし白井秘書官は之を通譯し、續いて丁幹事長及日本全權大使（代理）の祝辭朗讀があり、金市長の發聲で三千萬民衆の和する滿洲國萬歳を三唱天を衝く許り、かくて王道の國、樂土滿洲國の建國を壽ぐ民衆の喜びと幸福に充溢した歡呼に金市長から宣ぜられる、閉會の辭も場内に渡らぬ程の有樣でこの記念すべき式典は終了した、時に午前十時三十分、その間この意義深い式典はラヂオを通じ日滿一億二千萬の東洋平和の先導者に傳へられて行つた

『われ等の國家』を謳歌する一大行進

新京式典後の旗行列

【新京電話】民政部前の廣場における盛大なる記念儀式は十時半盛會裡に散會並居る會衆は嚴肅な氣分にうたれ一同思はず萬歳を叫び直に指揮員に從つて旗行列にうつつた、黑山の如くに雲集した大衆はまたゝく間に四列縱隊に編成せられ總指揮官の乘馬姿いさましい

掛聲 に先頭には早くも行進曲が奏せられた、歩一歩とその大經路目ざして踏み出した參加者總數二萬餘、滿洲國官吏を始め各法團員、長春縣四鄕代表、各公私立學校生徒軍人、一般市民等々、蜿蜒長蛇の如く打ちつゞき行列の先頭には總指揮官（滿洲國軍人）が乘馬姿いさましく次いで副指揮官、軍樂部隊、學生、官吏、各法團員、一般市民の順序に並び軍樂隊の音遠く近く市中にひゞき一大壯觀を呈した、滿洲國歌が高らかに一隅から起りそれに合した民衆の聲は天をもくづさんばかりにひゞき手に〳〵うちふる滿洲國旗は白い雪の道に綺麗な縞模樣を造る

かくして長い行列は會場を出て大經路を過ぎ西公園に到りそれより中央通、驛前、日本橋通、國務院前をぬけひたすら執政府に赴く、執政府庭前には早くも執政府文武大官が之に和すべく居並び集まり來る

群衆 と共に大滿洲國の萬歳を三唱しゆるがぬ滿洲國の悠久をいのつた、感激と感謝とがお互の胸をつく、一天からりと晴れわたかも會衆とこの日を壽ぐが如く軍樂隊の奏る音樂もこゝぞとばかり勇ましい、かくして總指揮官の命令下り、行列は再び流れ六馬路、大馬路頭道街壕子胡同、大經路を經て再び會場に來て散會した

新市街では在住日本人も喜びにあふれ母親に連れられた子供達娘達の着物も晴れやかに進み來る行列に相次いで加入し我等が友邦の喜びを共にたゝへた、通る自動車、馬車、人力車カラコロと輕やかに滿洲國旗をかざしむち打つ車夫の顏色までも何となく和やかな微笑を表してゐた

天皇陛下 御祝電

【東京一日發】天皇陛下には一日滿洲國に對し優渥なる御祝電を發せられた旨發表された

寒空に揚る一大歡聲

二萬の市民會場に殺到して 大連市民の慶祝大會

アジア民族治成への前奏曲とも見られる滿洲國の建設は國際聯盟の勸告書決議により一層市民を刺戟し大連においては天候の激變で俄に寒氣加はつたに拘らずけふの慶祝大會は何時になく氣勢揚がり集まるもの

永井民政署長、森本地方法院長、高柳中將、山西滿鐵理事、小川市長、大内市會議長、高田商工會議所會頭、張大連、龐西崗子、許西部大連各市商會長を始め市内各小學校、公學堂、女學校、中學校、實業學校生徒、在鄕軍人會、海軍協會、修養團、青年會、愛國赤誠會員その他團體約二萬と註せられ會場正面の日滿大國旗を始め各團體の旗樹立し早くも場内を壓して緊張さ

感激 が高潮した、定刻午前十時、三發の煙花を合圖に「氣を付け」の喇叭嚠喨と響き渡り岡野助役先づ開會を宣するや小川市長や、昂奮の色を双頰に漲らして登壇

滿洲國建國茲に一年、今や東亞の天地は妖雲散じ新興滿洲國は生々の氣に滿ち三千萬民衆は熙々として更生を喜ぶ、友邦國民また倶に同慶に堪へない、惟ふに滿洲國建國の國是は雄大崇高なる王道精神であり仁慈相愛を以て政治の要諦とさせるもの滿蒙の黎明は此處に輝き人類の樂土東洋の平和は茲に生れたのである、幸ひ滿洲國人は建國の大精神を體し倶に提携して正義のため邁進せんとす、日滿兩國提携協力して東洋平和を確保せんとする處何者も之を妨ぐる能はず正義の存する處また加冥せらるべきを信ずる、茲に建國一周年に方り滿洲國の隆々たる發展を慶祝すると共に時局多難の際日滿兩國渾然一體となり東洋平和建設のため人類福祉增進のため眞の平和境顯現を翹望して止まない

と朗かに式辭を述べ次で永井民政署長、林滿鐵總裁、高田商工會議所會頭、張大連、龐西崗子、許西部大連各市商會長の

祝辭 あり、大内市會議長はけふの大會に際し左記の如く溥儀執政、鄭國務總理、武藤全權あて發した慶祝電報を報告し、一同滿洲國歌を合唱、龐西崗子市商會長の發聲で天地も搖げと萬歳を三唱し、同十時三十分閉會した

執政府秘書長宛 建國一周年を迎ふるに當り大連市民は茲に慶祝大會を開催し謹んで祝意を表す右執政に御とりなしを請ふ

鄭國務總理宛 建國一周年を迎ふるに當り貴國の堅實なる發展を喜び大連市民は茲に盛大なる慶祝大會を開きて祝意を表す

武藤全權宛 滿洲國建國一周年を迎ふるに當り各地の匪賊は掃蕩せられ國内の治安次第に全きを見て閣下並に各將兵、各機關の御奮鬪を感謝し茲に大連市民は慶祝大會を開き滿洲國の隆盛に對し謹んで祝意を表す

白晝磐城町の火事

目拔、木造家屋で大混雜

一日午後一時十分頃市内磐城町カフエー八起より出火忽ち同家を全燒して隣りの安兵衛に延燒し炎々と燃えてゐるが市内目拔の場所と木造家屋多く大混雜を呈してゐる（午後二時）【寫眞は燃えつゝある現場】

本紙を通じて [illegible]の感謝電

建國一周年に方りて

滿洲國々務總理鄭孝胥氏は一日建國一周年記念日に方り本社に對し左の電報を寄せ、本紙を通じて、建國以來日本帝國官民の熱誠なる後援を感謝する旨を表明し來つた

我が滿洲國が三千萬民の總意を以て舊東北軍閥の虐政より脱離し、獨立國家として建國の大業を進め、爾來一年、國本既に固く、内外の政事日に月に實効を收めつゝあるは、一に貴國官民が擧國一致の熱誠なる後援にこれ由る、茲に建國一周年の記念日に當り貴紙を通じ謹みて感謝の意を表す

滿洲國國務總理 鄭孝胥

慶祝の大行進

七八町に亘る旗行列

寒天にとゞろく三發の煙花を合圖に慶祝大行進は開始された、時に午前十時三十分——肌をつんざく寒風をものともせず建國の喜びに醉ふが如き日滿人一萬數千人の足取りも輕く樂隊を先頭に行列委員各種委員これに續いて伏見臺小學校を初め市内小學校、公學堂生徒男女中等學校生徒等が手に

手に 日滿國旗を打ち振りつゝ聲も高らかに、樂隊に和し
見よ早春の黎明の彩
希望燃えたり曠原に
いざ手をとれ諸人よ

この慶祝行進歌を唱ひ出せば、これに和して各種團體は幾百旗の團體旗を押し立てつゝ

久遠樹立の新國家
慈愛あまねし山間に
先づ踏み出さん第一歩

と聲を振り上げて唱ひ續ける、蜒々七、八町に餘る長蛇の大行進は滿倶グラウンドをスタートして忠靈塔前—壹岐町—若狹町—三河町—西廣場—伊勢町—濱町—奥町を經て正午漸く先頭が大廣場に到着 この莊嚴極まりなき大旗行列を見物せんとする日滿市民は行列の沿線を黑山の如く埋め盡し、可憐な小學生、赤、青、紫の學生服に身を包んだ美しい公學堂女生徒らが寒さに

双頰 を紅く染めながら力強く唱ふ建國歌に耳を傾けつゝけふの意義深き日を祝福するのであつた、かくて大行列は大廣場より神明町を經て大連神社に到り全行列は社前に整列し各團體毎に參拜午後一時無事散會した

省城内外をあげて 國旗と萬歳との渦

奉天における盛況

【奉天電話】大同二年三月一日—この日こそ大滿洲國建國一周年の輝かしい誕生日である、奉天省城内外は五色の旗は各戸に翻へり、省公署、實業、教育、民政、市政の各官公署門前には三層樓が作られ、午前九時からは市政公署主催のもとに

宮殿 清朝華やかなりし頃の八旗の十王亭において慶祝會が開催された式場中央には壇を設け田警備司令部の軍樂隊の奏樂裡に國旗は靜々と揭揚され、旗に向つて三禮の後閻市長の挨拶に省長代理は執政の教書と宣旨を代讀し、章教育廳長は國務總理の訓詞を代讀あり、日本側軍部、蜂谷總領事代理、栗野滿鐵、野口居留民會長、在奉の新聞記者代表、協和會代表、教育、商務會、工務會、農務會の各代表來賓の祝辭あり、萬歳を三唱して式を終了した

それより十一時、省公署大廳間において日滿各國官民の招待大宴會が行はれ省長代理の挨拶に對し軍部、居留民會、總領事館等の代表

謝辭 あり盛會裡に正午散會、市中には協和會、教育廳、市政公署等の斡旋で各小、中學校生徒の旗行列に滿洲國歌を高唱し市内を遊行する外、各劇場にては大衆のために王道精神を普及する講演と芝居があり、宣傳ビラ、ポスターに全市は埋められた、この日我飛行隊は上空より祝賀の意を表するため低空飛行を行ひ附屬地一帶には日滿國旗を交叉し、平安廣場、中央廣場等には大日滿國旗を交叉して

祝賀 し、小、中學生の旗行列、トラック隊の市中游行に意義深き建國記念日を送つた

大連の建國祝賀 （上）祝賀會場（中央）市中行進の旗行列と祝辭朗讀の小川市長（左）と張大連市商議會長（右）（下）は萬歳を唱へる滿洲國兒童

旅順の慶祝

各戸に日滿國旗

滿洲建國第一年を迎へた聖地旅順は朝來曇天寒威激しきも各戸に揭げられた日滿國旗鮮かに翩へり更生祝福の氣が漲つて一種の活氣を呈し各會社銀行は臨時休業を行ひ又各官廳學校では正午迄執務を爲し午後一時三十分昭和園前廣場に集合いづれも日滿小國旗を携帶、大日本帝國並に滿洲國の萬歳を三唱し午後二時から催される旅順公學堂の記念式に參加した、又市役所では此日行事其他に關する宣傳ビラを全市に配布し意義ある滿洲建國第二回記念を徹底せしめた

戰傷者來連

熱河討伐の第一戰南嶺の戰鬪に名譽の負傷をなした太田貞次郎大尉以下四十八名は旅順において療養のため上等看護長栗原修造氏に護られて奉天衞戍病院より一日午前七時着列車にて來連、學生、團體多數の迎送を受けて同七時五分發列車にて旅順に向つた

旅順に到着

熱河討伐の第一戰南嶺の戰鬪に參加名譽の負傷を負つた歩兵第○○○隊宮川大尉、同第○○隊太田大尉、鶴業中尉以下四十二名の傷病兵は一日午前九時十分着列車にて着旅米岡市長以下官民、學生多數の出迎裡に下車、一同に對し米岡市長より歡迎の辭を述べ宮川大尉の謝辭あり、出迎人一同目禮裡四臺のバスにて旅順衞戍病院に向つた

太刀洗機墜落

搭乘者二名卽死

【太刀洗一日發】太刀洗飛行第四聯隊第二中隊森軍曹操縱宮本伍長同乘の八八式偵察機七十號機は今朝十時淺倉郡馬田村の射擊演習參加中千メートルの上空より錐揉狀態に落下畑中に墜落搭乘兩氏共無殘な卽死を遂げた

紅卍字會代表

紅卍會第十二回隊慶記念式は來る四日濟南において大々的に擧行さるるが一日出帆長春丸で記念祭に參列の爲め海城支部會長李光鐮氏、營口支部會長夏顯誠氏、安東支部會長王化寶氏、同會員王惟眞氏、遼平支部長龐容超氏外一行六名が離滿した

三月二日 北東の風（曇）降雪模樣

各地溫度 大連零下四 奉天零下一二 旅順同三 新京同一七 營口同九 新義州同六

家庭

結婚年
『非常時』の際です　出來るだけ質素に……
準備に忙しい娘さん達へご注意

酉年を迎へて、今年はつぎ〳〵におめでたい、そして莊嚴な結婚行進曲が奏られて行きます、一生一度の行事たる記念すべき結婚日を前にしてその準備に忙しく追はれてゐる娘さん達のために東京美容院の德永千代子さんは次の樣な注意を與へてゐます

國難　に遭遇してゐる今日の日本ですから出來るだけ式服も質素に打掛のやうなものは略して派手なところで振袖位ですましたいものです、振袖を仕立てられる場合には袖丈は身丈より三寸短くされたら大へん恰好がよいやうです、袖付は前四寸八分後三寸八分と前後に一寸の差をつけます、長襦袢も長着に準じて仕立てます、太つた人でしたら襟肩あきを廣い目にあけないと着付がゆつたりと行きません、そして裄下は普通の着物を仕立てる時のやうに寸法を定めないで襟丈を先づ定めて殘りを裄丈にします、襟丈は振袖の模樣次第によつて加減しなければなりませんが大てい腰骨より一寸下つたところにしたのがよい樣です

フキ　は最近大分太く出す樣になつた傾向ですが、仕立屋さんの方ではこちらの希望がなければ普通の着物位しか出しません、儀式用の禮服は振袖に拘らず留袖もフキは大きい目に五六分位出した方がよく、それにフキ綿を入れふつくらさせますと恰好もよく裾もぴつたりと落ち着いて來ます、次に帶の兩端の織出しの先にある無地の部分は縫ひ込んでしまひます（時々無地のところを縫ひ込んでない場合がありますから）その他衣裳持廻りの調度品は別として式服に必要な附屬品（例へば紐のやうなものにしても）は着付を依頼する專門家に一度相談されたら無駄も省けてよいと思ひます、衣裳の準備ができましたら必ず式の數日前に一度全部着付けて見る事が必要です、でないと中には袖付その他直さなければならない場合がありますから

お髮　は二三回も結びますと恰好もされますから一週間前に洗髮し結はれたら結構です、洋裝される方も同樣數日前に洗髮してその人に似合ふウエーヴの形をつけ、それに洋裝を最も生かし引立てゝ呉れる大切な役目を持つヴエールの形もうまくとつておく事は何より大切な事でせう

式と　披露の時間に仕度される人の數、記念寫眞の事などは前以て專門家に知らせ打合はせておきましたら混雜も防げてよいと思ひます、お風呂は湯ざめしないやうに前晩に入るか仕度より二時間位前に入ることです、神佛の禮拜や父母の訓戒など當日早くすまされ餘り感傷的にならないやうに努めます式場のお作法は神官が順序を教へて下さるのですから失敗ないやうにしていたゞけば結構です（寫眞は東京美容院扱ひ）

めでたく巣立つ　小ゼントルマンの服飾
どうすれば經濟か　洋服を新調する時の心得

▼…**螢雪の**　功を舉げた血氣旺盛な多くの學生生徒が思ひ出深い學園から社會へ送り出され樣としてゐます、在學中するく〳〵と譯なく就職口の定まつた人達は高らかに「我が春」を謳歌し、その喜びは早速着古した詰襟の制服におさらばしていよ〳〵ゼンツルマンライクな新調の背廣に變ります、いよ〳〵社會に第一歩踏み出す小ゼンツルマンのために連鎖街の丁子屋で洋服新調についての心得を聞いて見ました

▼…**中等校**　を卒へ早速就職される方は大抵初めの二三年間は詰襟ですまされるやうですが專門學校以上の卒業生ですと九割までは折襟です、然し中には學生服から急速度に折襟に轉換するのは何だかしつくりしないので詰襟を選ばれる方もあります、然し體裁を構はぬ人を除いては大抵二、三ケ月か半年も經たぬ中に、同僚の手前もあり、また年長者には子供扱ひにされるし、ボーイは新米と見て輕く取扱ふので腹も立ち半年もすると詰襟に悲鳴を揚げて又々背廣の再調度といつた順序になります

▼…**これは**　初めて洋服を召す人が必ず一度は經驗されるやうですが、これでは經濟上無駄ですから初めの着心地はまづくても將來のために背廣をつくられた方がお徳用です、地色、柄にしても地味な柄や地色を初めは選び勝ですが、一年經つか經たぬ中に洋服には馴れ、見る目も肥えて來て同僚たちのものと比較して、爺々臭いと嫌氣がさして又新調するといつたことになります、黑つぽい制服から派手な色に急に變へるのは氣持がしつくりしないかも知れませんが、思ひ切つて大膽に派手なのを選ばれたら、その樣な失敗もあまりありません

▼…**背廣と**　同時にオーバー、ネクタイ、帽子、靴とすべての附屬品が新調されますが、これらも各自にしつくり合ふ色を選び、すべて統一ある同一系統の色を選びます、すると縫合せた樣なへんなものにならず、その人の趣味も現はれ大變上品です、服地は若向きとしては小さい柄に色合の派手なもの、取り合はせが上品で年のいつた方は柄を可成り派手にして色調を地味にします、詰襟は何といつても黑サージが全然勢力を張つて居ます、お値段は總體として無地物は七割、柄物五割の騰貴ですが、今春の小賣相場には大した影響はなくサージの詰襟注文で二十四、五圓から三十圓、既製品十五、六圓から二十圓、脊廣四十五圓から六十圓、既製品三割安見當です

家庭顧問

嬰兒の便が遠いので心配

【問】生後三ケ月の男子で身體は……ごく丈夫で日を追うて肥え太つてまゐります、お乳も別に不足しないやうに思ひますが、大抵三時間毎に元氣よく呑みますのにお通じが三日目か四日目に一回宛しかありません、便は固まりもせず下痢でもなく黄色なものを驚くほど澤山出し、排便後はさても上機嫌です。血色もいゝし別に病氣もないやうですがあまり便通が遠いので心配でなりません。乳が不足すると便秘するやうにも聞いて居りますが如何なものでございませう、このまゝ放つて置いてよろしいでせうか（奉天M女）

灌腸などせずに斯うなさい

【答】乳の足りる足りないは乳の張り具合やお子さんの授乳の際の樣子でおわかりになる筈だと思ひます、段々ふとつて、元氣で機嫌がよくて、夜もよく眠れるやうでしたら別に心配ないでせう、便もよいやうですから少し便通が遠くても灌腸などしないがよいと思ひます、授乳の時間を守り、授乳時刻の間に番茶か白湯か水飴など少し溶いたものを日に二、三回與へたら幾分効果がありませう、他に異狀がなければ、追々運動が活潑になり食物が變つて來るに伴れて便通も規則的になるでせう（金子甚藏）

大へん大きい女兒のおヘソ

【問】昨年十二月末出生の女兒ですが臍の緒も十日位で無事に落ちましたのに其後段々臍が大きくなり、最近は徑一錢銅貨位で高さ六七分位までに大きくなつてゐます、別にさはつても痛みも感じないらしく、押へるとグル〳〵といふ樣な音がして中へ這入つてしまひます、邊びな田舍ですから未だ醫者にも見て頂いてゐませんが何か簡易な治療法はございますまいか、それとも手術しなければ駄目でせうか（心配な母）

一錢銅貨と亞鉛華絆創膏で押へよ

【答】臍ヘルニヤ卽ち俗に臍の脫腸といふもので、その邊の腹壁の抵抗が弱いのにひどく泣いたり咳をしたりして力んだためにヘルニヤ（脫腸）を起したのです、放つて置くと段々ひどくなりますから、一錢銅貨を綿に包んで臍に當て出たのを中へ押込み、上から一錢銅貨より稍幅ひろく切つた亞鉛華絆創膏で十文字におさへておきなさい、普通の絆創膏はやはらかい赤ちやんの皮膚をたゞらかすおそれがありますから感心しません、もう少し輕いうちでしたら簡單になほりますがお子さんのは相當度が進んでゐますから氣永に續けられる必要があります、四五ケ月も經つて追々腹壁の抵抗が強くなつたらそのうちなほりませう、若し段々ひどくなるやうでしたら誕生過ぎてから專門醫の外科手術をお受けになつたらよいでせう、鼠蹊ヘルニヤのやうに箝頓するやうなことは滅多にありませんから多少手術がのびても差支へありません（金子甚藏）

オヨメニユク十九の滿洲人

【問】ワタシ滿洲人デスガ十五ノトキカラ日本人ノ家ニキテボーイチシテ日本ノ字チナラッタノデ、ヨクワカリマセンデセウガナニトゾチシヘテクダサイ、主人サンノハナシデハ、シンブンハナンデモテシヘテクダサルトキキマシタ。ドウゾタノミマス、ワタシオヨメニユクノデスガ、ゲッケイガイチドモナイノデスガアカチヤンデケルデセウカ、テシヘテクダサイ。ワタシイマ十九ノムスメサンデス（原文の儘）

根氣よくお醫者の治療をうけなさい

【答】ワカラナカッタラヨクキイテクダサイ……人サンニオキ、ナザイ。あなたのは内生殖器（子宮や卵巣……

滿洲國熱河省 ⑪
樂しい井戸べ

沙漠旅行で第一に困るのは飲料水の補給です、それほど蒙古人の生活にも水は何よりの生命です、黄昏の紅陽をあび家路を急ぐ牧羊の一群は人にも羊にも樂しい井戸邊の憧れあるのみです、蒙落の村人は湧水の所在に精通することによつて地理に詳しいとされてゐます、水と草を追うて所在定まりなき原始的放牧の民を知る者には一滴の水が如何に貴重であるか容易に首肯されることです、爾來蒙古地では一道の水源發見によりひろ〳〵とした平原に忽ち蒙古包の一大集團を現出するのです

ミツタンハトンポンコ
キマノウソンセ

繪並案史清本橋（31）

ミツタンハ、ウシロノポンコニ、シタクチ、スルヤウニ、メイレイシマシタ。ポンコハキカンジュウ……

テキノヒコウキノ一ダイガ、ニホンゴウノ、ウヘニ、キマシタ、ボ……

テキノウテダシタタマガポンコノハナサキチ、カスメテ、ユキマシ……

干椎茸の煮方

滿日各地版

各軍に反熱河機運 學良最後のもがき

兵力を主要地に集中

熱河戰愈々本舞臺へ

【奉天】命令一下、俄然火蓋を切つたわが熱河討伐軍はその疾風的行動によつて瞬く間に前線主要地の占據を完了し皇軍の武威を遺憾なく中外に宣揚したが、開魯を潰走した○○軍は茂木部隊の追撃に追はれて林西に續々集結しつゝあつたが、その勝算なきを悟つてか遂に二十八日○○は○○地の我が特務機關に對し歸順を申し出で反熱河旗色を

闡明にした、また林東の民團軍秦維魁並に全縣の金成有軍も同樣親滿旗色を掲げ、わが方に歸順を誓つた、この情勢に附近に集散する小部隊軍も續々と反熱河旗色を表明してゐる、一方開魯を南下し下窪を占據した茂木部隊は既に下窪を出發、附近に跋扈する馮占海、李海靑軍を驅散しつゝ赤峰に迫つたので、こゝに早くも熱河北部一帶の掃匪は激戰を見ずして完了するに至り王道の旗が飜翩と飜へつてゐる

この情勢に驚いた學良は自己の牙城に刻々と迫りつゝある日滿軍の進撃を喰ひ止めんとてその戰備の擴充に必死となつてゐる即ち日本軍が一度び長城線に接近の曉は必然的に崩潰する自己の運命を知る學良は今やその全兵力を

動員 して、淩綏街道から關城に向つて蜿蜒たる對日線を張り、これによつて日本軍の進撃を阻止せんと計つてゐる、既にこの抗日線に沿つて石門口、秦皇島一帶には學良正規軍の騎兵第三師が堅固な防備陣をめぐらし積極的攻勢を示して居り界嶺口の學良正規軍第八師並に丁喜春軍八千は二十八日沙帽山に孫德荃と正面衝突した我が服部部隊の右翼を衝くべく既に界嶺口を出發沙帽口に向け長蛇の進撃を續けてゐる

なほ淩源に尨大なる陣地を構築した學良正規軍の第三十旅と湯玉麟正規軍百八旅は嶮岨なる地形によつて巧妙なる戰陣を張り、盆地を進撃し來たる我が軍を高地より要撃せんと大砲二十門を配備して必勝を期してゐる、また平泉には二十九旅があり、建平には新編の趙國增軍の第一旅が構へさきに朝陽を追はれた董福亭軍は目下續々と建平に

集結 し、兵備の建直しを計つてゐる、しかも今やこの尨大なる抗日戰備を一段と擴充し必勝の萬全を期する學良の動員命令に後方に待機した孫殿英の大軍は既に關城に入城を終り陣地の構築をいそいでゐる、また宋哲元軍も完全に王田への集結を終りこれに相ついで學良の正規軍は續々と省境に向つて移動しつゝある、斯くて今や南熱河の戰雲は最高調に達し我が熱河討伐戰はいよ〳〵本舞臺にはいつたのである

大原野を眼前に— 蜿蜒長蛇の大行進

廿五日劉龍臺にて 島田特派員發

二十五日未明記者は關東軍○○○隊に從つて義州城を出發した今回の○○○隊の活躍こそは日本戰史における一大記錄である、茫々三十萬平方粁の大廣原熱河省を完全に橫斷して○○より○部○○へ向ふのだ、記者はこの驚異的記錄を生み出さうとする○○○隊の最前線をうけたまはつてゐる第○○隊の昆野中尉と同乘した

○○城を未明に出發したが城外を離れたのは午前十一時であつた、先づ○○へ、これが最初の目的地だ、遊軍第○○○隊、鈴木○團は既に徒歩で行動を起してゐる二十六日の○○に於ける戰鬪を豫想して彈藥食料の補給に當つてゐるのがこの○○○隊の任務である、第○○隊の○○臺先頭を切り、續いて第○○隊、○○隊各々○○臺、更に○○隊がこれに從つて行進を續けてゐる、實に總數○○臺、約○里に亘る文字通り蜿蜒長蛇の列だ、ビックパレード、大進軍雪の原野、雪氷の山骨、銀色に光る大凌河、途なき所を唯一筋に○○へと進んで行く

○○を離れて大凌河に沿うて進むこと約二時間、次に途を山岳地帶にとつて大凌河を橫斷した、幾度か斷崖をわたり幾度か山頂を越えた、二月末とはいへ未だ寒氣はきびしく○○車內にゐる記者の體は嚴しい寒さにちぢみ上りさうだ、○○車內にゐてさへこの寒さ、トラックを運轉する兵士、トラックの上に立つてゐる掩護の兵、その寒さは察するに餘りがある

かの歐洲大戰における大激戰の一つとしてベルダンの攻防戰は世界的に有名なものであるが、このベルダンの戰ひこそは佛、獨兩軍の自動車隊の戰ひであつたとさへ云はれてゐるベルダンを佛國より救つたものは自動車隊の活躍であつた、記者は長蛇の如き○○列の先頭に立つてベルダンの攻防戰を思ひ起した時、今寒氣と戰ひつゝ朝陽へ前進を續けて行く關東軍○○○隊の努力が如何に偉大なものであるかを思はずにはゐられなかつた

日本大石橋聯婦活躍

陣頭に大日章旗寄贈

後列向つて右より岡本副官、森重第二中隊長、岩田大隊長、上原第三中隊長、前列浮田夫人、角田夫人、齋藤夫人、山下夫人、高山社會主事

石本氏はいづこ

必ず探し出すと悲壯な早川隊長

思出深い朝陽寺驛で 半歲前の恨みをのむ

【朝陽寺にて島田特派員發】問題の人石本權四郎氏は何うなつたか、生か…死か！若し未だ殘忍な兇徒の手にかゝつてゐないとすれば、何處の土地に如何なる生活を續けてゐるのであらうか、記者は今松山支線の一寒驛朝陽寺にて思ひを遙かに國士石本權四郎氏に馳せてゐる、否思ひを石本氏に馳せてゐるものは一人記者のみではない、何の裝り氣もない驛長室の小さなテーブルを圍んでゐる人々、步兵第○○○○隊長早川大佐始め隊附松山少佐、鷲尾副官等何れも同じ思ひに

深い 沈默を守つてゐる、何故なればこの寒驛の驛長室こそは、嘗て石本權四郎氏の人々こそは、生死不明の情報一度軍部に傳はるや、令兄鎭太郎氏と共に急遽救出に當つた人々であり、その策を練つた場所なのである、既にそれより半歲は過ぎ去つて今や破竹の勢ひを以て滿洲國の○○たる熱河省の治安維持に當つてさうして早川大佐の率ゆる○○隊は再びこの思ひ出深い寺驛に入つたのである、記者は知れぬ沈默の中から權四郎氏救出運動當時の模樣を聞き出さうとこの沈默を破つた……「運かつた……」

一言 これは早川○○の痛な叫びであつた、私は當時も今の通りこのテーブルの前のこの椅子に腰をかけ本鎭太郎氏は今松山中佐の席についてゐられた、殆んど……

で權四郎氏救出の策を練り、漸くこれなれば大丈夫と思ふ計畫……

畏し・聖旨傳達

川岸侍從武官一行 廿七日新義州に着く

【安東】滿洲事變以來國境警備の重任に日夜精勵しつゝある朝鮮軍、警察官御慰問のため差遣された川岸侍從武官一行は既報の如く二十六日その國境線御慰問の最終地である新義州に到着したが、二十七日午前九時半旅館を出て、第二守備隊に到着、營庭において第二守備隊、新義州守備隊、衛戍病院に對して嚴かに聖旨、令旨並びに御下賜品を傳達され終つて憲兵分隊、道廳、新義州署、安東側鐵橋衛兵所において順次同樣傳達式が行はれたが、御慰問を辱うした文武官は聖恩の鴻大に只管感泣してゐる

我身の危險を冒し 滿人の患家を往診

瓦房店醫院の醫師と產婆が 尊き日滿親善の鑑

【瓦房店】瓦房店醫院婦人科醫師犬丸春美、產婆森本ツチコの兩氏は我身の危險を冒して附屬地外奧深く患家を往診手術した美談がある、それは瓦房店管內松樹驛附屬地より三邦里東方復縣第六區陳家屯農業李全鳳の長男の妻李氏(二〇)は二月二十六日午前一時頃より陣痛を催し既に產氣つきたるも田舍で百姓家のこと、て母親が產婆となりて世話してゐたが

胎兒先に右片手のみ露出し數時間を經過するも生れず百方手段を盡して見たが不可能なるより遂に無謀にも胎兒の手を力任せに引張り出したが右手は關節からぽつきり折れて無殘にも死產露出せず一方產婦は出血多く親の生命も危き重態となつたので夫は俊馬を飛ばして松樹驛に馳けつけ瓦房店病院に急を報じ往診を求めた

しかし何分同地方は時局以來未だ治安平定せず昨日は匪賊が襲襲を襲つた、今日は辻強盜があつたと

學良の狡猾手段 謠言隊派遣

後方で謠言をまく

【奉天】二十八日通遼から歸奉した人の語るところによると皇軍さ滿洲國軍は無人の境を進む如く一は林西に向け他は赤峰に向け進撃を開始しつゝあるが日滿兩軍が惱まされてゐるのは無力の學良僞勇軍でなく、數日來からの蒙古吹雪で廣漠たる平原を進軍する大軍はナポレオンのモスクワ入城を偲ばす光景であるが、九州男兒の意氣はこのために何等躊躇するどころか、益々勇氣は幾倍し一路○○に向つて進みつゝある、ところが最近學良の指示を受けた謠言隊が潛入し「日本軍二個小隊が全滅した」とか「飛行機が十數臺燒かれた」とか「今に日滿軍は大敗して總退却して來る」とか、不利な謠言が次から次へと傳へられ夕方前に店を閉めるといふ風である、これは何とか彼等が安心の行くやう宣傳する必要があるが、中には逃げ仕度をする者があるから宣撫工作の活動を希望すると

三勇士の葬儀 撫順で執行

三日午後二時盛大に

【撫順】一時に三名の戰死者と四名の負傷者を出した當地○○隊は事變後曾てみぬ大犧牲に今更の如く緊張を覺えてゐるが、胸部を打貫かれて名譽の戰死を遂げた一等兵倉又仁作氏は隊內切つて強の者で道毅丸田伍長戰死の際には身に一彈を負ひながら安全地帶まで故人を背負ひ込んだ如く、また過日出動に當つては官民多數の見送りに對し最後まで帽子を打ち振り勇躍して戰地に向ひ、頭部を貫通され斃れた一等兵沼直三郎氏(既報沼とあるは誤記)は隊內で唯一人の裁縫師でまた八圓八十錢の俸給中八圓五十錢を貯金してゐたさいふ几帳面な兵であつたので留守隊に居殘ることになつてゐたが本人はどうしても承知せず出征したのであつた、又金子稔一等兵は通信が得意で營內でも主としてこの方面に働いてゐたが腹部に貫通銃創を負ひ前二氏と同時に名譽の戰死を遂げたものであるが、何れも新潟縣出身の同期兵で間もなく來る五月の除隊期には打連れて故山に凱旋することになつてゐたのに惜しい勇士を失つた、尚葬儀は後藤中尉を委員長とする在撫官民代表委員により三日午後二時から盛大に公會堂に於て執行の豫定である

大同學院新入生詮衡

西山氏歸京談

【安東】大同學院新入生詮衡のため內地各地に出張中であつた滿洲國文教部總務司長西山政猪氏は二十七日午前六時四十五分安東通過新京に向つたが語る

滿洲國の官吏養成所である大同學院の入學希望者詮衡試驗のため東京、仙臺、京都、大阪、福岡の五ケ所と歸途京城に立寄つて昭和五年以後の卒業者と今年卒業する者に就いて日本で約五百名、京城で二十餘名の詮衡試驗をやつて來た、學問、人物、健康三拍子揃つた者をといふ標準で選んだが改めて新京でもモ一度詮衡しなければならぬので何名採用するか未定だが百名を越すやうなことはあるまい

武道大會選手

【鐵嶺】來る五日撫順に於て擧行される全滿武道大會には鐵嶺署からも選手嚴選の結果左の如きメムバーを組織し出場するに決定した

▲劍道部 教師橫山信太郎、選手藤井靜、卜部禰作、植田忠一

▲柔道部 教師佐々木武三郎、選手堤利夫、毛利朝元、相良淸

旅順放送

速成科を特設

(明治四十年十月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

滿洲國政府、滿鐵に既成鐵道の直營委託

一日午後三時 契約內容發表

滿洲國既成鐵道の滿鐵委任經營に關して三月一日午後三時滿鐵本社において左のごとき發表を見た

一、今次滿鐵は滿洲國政府より滿洲國鐵道の直營を委託されたり滿洲國の治安を確保し其の產業を發達せしむる爲には國內交通就中鐵道の整備發達に俟たざるべからず然るに現時國內には未だ鐵道網十分普及しあらざるのみならず小鐵道分立し其の經營箇々に行はれ不利大なる實情にあり故に之等現在の諸鐵道を統一し合理的經營を爲し其の經濟的竝技術的能率を擧げざるべからず而して本目的達成の爲には多年滿洲に於て鐵道經營に習熟せる滿鐵をして之が統一經營に當らしむるを最適當とす加之右は滿洲國諸鐵道に關し滿洲國の滿鐵に對し有する巨額の債務を處理する上に雙方の爲便とするところなり之卽ち滿洲國政府が滿洲國鐵道の經營を滿鐵に委託せる所以にして固より滿鐵としても異議ある所に非ざるを以て玆に快く之を引受くることゝせり

二、今次契約の要旨大要左の通り滿洲國政府は吉長、吉敦、吉海、四洮、洮昂、洮索、齊克、呼海(松花江水運事業の一部を含む)瀋海、奉山(打通線及附屬港灣を含む)の既成諸鐵道に關し滿鐵に對し負擔する債務合計約一億三千萬金圓を借款總額とし此等諸鐵道に屬する一切の財產及收入を以て本借款の擔保とし此等諸鐵道の經營を滿鐵に委託す

滿洲國政府と滿鐵以外の第三者との間に存する鐵道の債權債務に關しては政府と滿鐵間に於て協議の上滿鐵に於て之を處理し其の支拂ひを要するもの及奉山線の中英公司に對する借款の償還資金は鐵道の依託經營に依る收入金より支出す奉山線の內中英公司借款に關係あるものは同借款問題解決する迄本借款の擔保より除外す

滿洲國政府は別に滿鐵に敦化圖們江鐵道、拉法哈爾濱鐵道、呑東海倫鐵道の建造を請負はしめたり

右建造費は合計約一億金圓とす

尙前記敦化圖們江鐵道建造に關聯し滿洲國に於て天圖輕鐵を買收するの要あるに付滿洲國は之が資金として約六百萬金圓を滿鐵より借入れ同輕鐵の經營を滿鐵に委託することゝせり

新設兩局職制

兩局の職制は左の如し

▲建設局　庶務課、計畫課、工事課、吉林、ハルビン、チ、ハル羅津に建設事務所を設置す

▲鐵路總局

△總務處　文書科人事科地方科
△經理處　會計科用度科
△運輸處　旅客科貨物科水運科
△機務處　運轉科工作科
△工務處　工務科電氣科
△警務處　第一科第二科

新機關設置に伴ふ滿鐵人事異動

鐵路總局および鐵道建設局新設に伴ふ滿鐵の人事異動は一日附で左のごとく發表されたが、この他に同日同時に發表されたのは社員約九百名、臨時社員約二百名合計千二十名の異動である

△鐵道建設局

鐵道建設局長を命ず　技師　佐藤應次郎
鐵道建設局次長を命ず　技師　田邊利男
同庶務課長を命ず　參事　山崎善次
同計畫課長を命ず　技師　西川總一
同工事課長を命ず　技師　奧田周
吉林建設事務所長を命ず　技師　河邊義郎
ハルビン建設事務所長を命ず　技師　石村長七
チチハル建設事務所長を命ず　技師　鈴木長明
羅津建設事務所長を命ず　桑原利英
總務部文書課長　中野忠夫
鐵道建設局兼務を命ず　技師　穗積哲三

△鐵路總局

ハルビン事務所長　宇佐美寬爾
鐵路總局長を命ず
同運輸處長を命ず　參事　伊澤道雄
次長兼機務處長を命ず　技師　太田久作
總務處長兼總務處文書科長を命ず　參事　下津春五郎
經理處長兼經理處用度科長を命ず　參事　龜岡精二
工務處長兼工務處工務科長を命ず　技師　山領貞二
總務處人事科長を命ず　參事　大里甚三郎
總務處地方科長兼務を命ず　參事　多田晃
經理處會計科長を命ず　參事　土田水足
運輸處旅客科長を命ず　參事　足立長三
經調第三部主査
運輸處貨物科長兼務を命ず　參事　伊藤太郎
埠頭事務所庶務長
運輸處水運科長兼務を命ず　參事　隅田虎二郎
機務處工作科長を命ず　技師　高橋恭二
工務處電氣科長を命ず　技師　山本廣
機務處運轉科長を命ず　技師　木村知彦
囑託　金井清
參事を命じ哈爾濱事務所長を命ず
なほ警務處長および同處第一科第二科長は未定

滿洲國、憲法制度の調査開始決定

委員會の設置成る

【新京電話】滿洲國においては建國以來着々堅實なる發展の歩を進め國礎漸く鞏固を加ふるに至つたので、愈々憲法制度を布くべくこれが準備として憲法制度の調査を行ふこととなり、三月一日午後三時建國一周年記念日を機として執政より左の敎書が發せられた

敎書

玆に參議府の諮詢を經て憲法制度の調査に關し命ずること左の如し

一、憲法制度を調査するため憲法制度調査委員を置く

二、調査委員は特命による

執政

大同二年三月一日

國務總理副署

委員會委員

【新京電話】滿洲國政府發表＝憲法制度調査委員會設置建國一年を經政令ほゞ楷模を具へ人民漸く衽席に登る、邦基鞏固にして憲法を査にし以て國家萬年の大計を樹つべしとの主旨にて今回別紙(別項)の通り敎書の發布を見、且つ特命による憲法制度調査委員會を置くこととし國務總理を筆頭委員となし外委員左の如し

調査委員　鄭孝胥、委員　張景惠、趙欣伯、臧式毅、謝介石、熙洽、張燕卿、丁鑑修、馮涵淸、齊默特色木丕勒、袁金鎧、張海鵬、貴福、鄭垂、葉熊七、駒井德三、田邊治通、增輻、寶熙、林棨、李槃、阪谷希一、三宅福馬、林延琛

而してその掌理するところの事項左の如し

一、諸外國憲政の調査
一、諸外國憲政の視察
一、諸外國憲法制度の經過調査
一、憲法大綱の研究
一、憲法起草委員の詮衡

ソ政府委員會參加招請を拒否す

【ジユネーヴ二十八日發】ソウエート政府は聯盟の二十一委員會參加招請拒否に決した

熱河より生命大事 學良の逃げ仕度

隱れ家をオランダに定めて 各將領へも好模範

【東京二十八日發】陸軍への情報に依ると學良は日滿軍の猛烈なる進擊に依り熱河の崩潰も目睫に迫つた事を覺つたので張學銘に命じパリに莫大の送金をなし且つオランダには一大邸宅を購入し逃走準備をなしてゐる、尙各將領等は家族のため保定、石家莊等の各地に約三千戶の借家を選定し避難準備中である

焦慮の學良出動命令

黃顯聲軍に

【北平二十八日發】熱河の戰況不利と見て焦慮した學良は增援隊派遣をなしつゝあるが更に遼西一帶に防備を施したる黃顯聲の指揮する騎兵第十師及び于以哲の第百七師に對し熱河出動を命じた

閻軍張家口へ

【山海關二十八日發】天津からの情報によれば閻錫山は中央の督促により歩兵部隊を北平南苑に、騎兵部隊を張家口に併せて二萬を出動せしめたが之等の部隊は同じく山西軍ながら商震軍から見ると全く性質を異にする閻錫山直系のもので萬一の場合は北平で居直ることゝなりはせぬかと見られてゐるが右部隊の今後の行動は大いに注目されてゐる

宋哲元軍出發

【北平二十八日發】宋哲元軍は萬福麟の第二集團軍の隷下に屬し近く乾溝鎭に進發することゝなつた

馮占海北平發

【北平二十八日發】下窪に駐屯してゐた馮占海匪軍は皇軍同地占領に依り算を亂して西方に潰走した馮占海は學良の命に依り昨二十七日倉皇として北平發熱河に向ひたるが馮の熱河行は四散する部下を糾合し再び日滿聯合軍に對抗せんがためなるが部下七萬五千を有し熱河に於て相當勢力を有する馮の今後の行動は注目に價する

外蒙の赤軍續々南下

【ハルビン特電二十八日發】日滿軍の熱河討伐開始と共に外蒙の赤軍は續々南下しハンダカヤ、ボイルノウル間ハルハ河對岸の國境警備兵は二十日頃から全部撤退し三貝子の駐屯軍も引揚げたが、外蒙赤軍は滿洲國境の例に倣ひ熱河省境を越えて外蒙に逼入する匪賊を武裝解除するため東西ウヂムチン方面に移動したものと見らる、尙赤軍の撤退により內外蒙古の交通自由となり交易が盛んとなつた

無電技師戰死

檢、二の死體

【通遼二十八日發】滿洲國軍の第一枝隊王永淸軍所屬無電技師高島原町淺江常盤氏(二七)は二十四日第一枝隊後方より馬車に乘り開魯に向け前進中吹雪のため本隊にはぐれ同日午後七時頃開魯の手前一里の大圖と稱する部落に差掛るや突然數十の兵匪に襲擊され行の滿洲國人と共に名譽の戰死を遂げた、同氏の死體を見るに鐵面は銃の臺尻と思はるゝ鈍器にて打潰され無殘の有樣である、携帶の無電機は滅茶々々に破壞せられ電池は持去られてゐた、同に淺江氏は通遼方面より前進する日滿軍を通じての最初の戰死者である

咀邊門の敗兵を爆擊

凌源街道で

【錦州二十八日發】本日正午頃野雞淸日石咀邊門より凌源に通ずる本街道附近を支那軍の一部隊退却中との報に我〇〇隊主力は出動これに空中より〇〇を加へ敵に多大の損害を與へて歸還した

熱河征戰の急進展

茂木、神代部隊哈拉綏東より西進

各正面の敗敵を急追

【新京特電】關東軍司令部發表＝昨二十八日夕茂木部隊主力は小哈拉道口(赤峰東北方十里)に又綏東より西進したる神代部隊は下窪に到着し、一日朝以來各方面の敗敵を急追中なり

泰平庄に進入

【奉天特電】通遼より進發した茂木部隊は抵抗する敵匪を擊破しつゝ一日午後四時赤峰に入城した

【新京電話】關東軍發表＝本一日朝小哈拉道口を出發せる茂木部隊は一日午後三時十五分赤峰の東方約六里泰平庄に進入せり、信ずべき情報によれば服部部隊は今一日午前凌南を占領し最近北平より增備のため急派せられたる敵于喜春の第一〇八師は敗走したるものゝ如し

【開魯一日發】廿八日開魯を占領した茂木部隊は後方部隊と合體し本日中に〇〇入城を期して前進中

鈴木部隊行動開始

【錦州一日發】各方面友軍の凌源進展と正面の敵狀偵察に待機の姿勢を執つて暫くの沈默を守つてゐたわが鈴木部隊は本一日朝來俄然行動を開始し、その挺進隊は葉柏壽東方約四十キロ公水泉子附近の無人の境を行く如く猛進敵の第一線陣地〇〇〇の堅壘に向つて勇躍前進猛擊中である

【錦州一日發】本一日暁の霧尙かすむ中を早くも〇〇地根據地を發した鈴木中尉搭乘の〇〇機は……

早くも凌南を占據

服部部隊更に奮進

朝陽占領まで (上)

鈴木〇團長手記

熱河討伐戰の序幕を飾る朝陽入城に偉大な軍功を樹て皇軍の赫々たる武勳を中外に宣揚したわが鈴木部隊長は「朝陽占領まで」と題し左の戰記を綴りその苦鬪の跡を物語つた

熱河省

は滿洲國の一部にしてこれが治安維持は當然皇軍のなすべき責務である、その時機が一日早ければ一日早く熱河省民を塗炭の苦より救ひ、滿洲國の王化に潤はしむることが出來るは申すまでもない、皇軍が熱河の掃蕩をすべしとの噂は夙に傳へられたところだが何時の時機に行ふかは最近まで我々さへも知らなかつた從つて何時にても出動し得る準備を整へて諸般研究偵察等は行つてゐた

日本軍

が北票及び熱河に對する作戰を實行するに當りその方法として……

奇襲を

加へることの困難であることはいふまでもないのであるから……

鐵道を

破壞する……

海と空と (126)

高杉晋一郎作　橋本濤史畫

明暗 (十四)

雪夜の大連に別れを惜しむ遑もないほど時間に迫られてゐた。家を出てすぐ附近の四辻で馬車を拾ふと、その幌の中から灯に輝く雪の街路に美しい大連の町を眺めつゝ、驛へ急いだ。どこか映畫のクリスマスの夜に似た風景だつた。鋪道を歩いてゐる者は皆少し俯き加減で白い息の輪を背後に流してゐるた。喫茶店、酒場などの扉からさつと温かさうな室内の空氣と一緒に元氣よく出て來る男も見えた。襄は頭の一部でその風景を眺め、一部で今出て來た家の事、ボールの事、逸見のことを考へてゐた。ボールは店へ出てゐるだらう著しひそかにその姿に別れられるものならもう一度とも思つたが、自分ながらさうした未練がましさに嘲笑を感じた。彼は唯、馬車を急がせた。

驛へ着くと、正面の大時計は、旅順行終列車の發車前二分を指してゐた。飛ぶやうにして切符を求めると、發車前の鈴が鳴り終つた所だつた。彼は辛うじて列車の踏段へトランクを投り込みながら乘る事が出來た。

發車してから車内へ入つて見ると乘客は僅かだつた。

彼は暫くは何を考へるでもなくぼんやり座席の一つへ埋まつてゐた。それから漸く一切の事が再び潮のやうに頭へ押し寄せて來た。別に今更解決を要すると云ふものではなかつたが、一切の思ひ出が事毎に改めて噛んで見なければならないやうに迫つた。

沙河口、周水子、夏家河子、營城子……それら小さい驛に小雜みに五つばかり止るだけで、旅順迄は五十分位で着く筈だつた。著し、谷に逢つてからまだ周水子まで出る列車があつたら、今夜の中にも綾に逢つて奉天まで行つて了はうと彼は思つてゐた。そんな事を考へながら、彼は、兄の別れ際の眼を思ひ、母の哀願するやうな顏を浮べ、ふさまた逸見の苦しんでゐる姿を眼の前に見るやうに思つた。(その逸見――襄が杏物市場の二階に想像してゐた逸見は、もう聯絡江を渡つて朝鮮へ入つてゐるだらう)

襄の前には、電車道を挾んで何かに焦るやうに顏を上氣させてゐるボールが出て來た。あの時のボールは自分を憎んでゐたのだらうか、それとも何かを話さうとしてゐたのか、避けるやうでもあつた。然し自分の眼をじつと見凝めもした……。

彼は逸見とボールを結婚の姿で二つ並べて見た。さうして自分がそれに喜べるかどうかを思つた。彼等の手を取り合つた姿を思ひ浮べて見た。微に喜べるやうだつた。それで彼は滿足だつた。もうこれ以上ボールの事は考へてはならない……。

窓外に走る闇を見つめ、まばらな乘客に無關心な視線を投げ、或ひは前の座席のクッションに眼を落して、來往するそれ等の想念に驅られてゐるうちに、列車は走るやうに過ぎ、氣の附いた時は最後の小驛龍頭をもう通過してゐるのだつた。

間も無く列車は旅順驛の構内へ入つた。

ひつそりした人氣の無い、雪に閉された旅順驛へ、數へるほどの乘客と共に降りた襄は、まつ驛の時間表で此處から今夜のうちに出る列車がまだあるかどうかを調べようとした。

彼は、驛の待合室の壁に貼つてある時間表の前に立つて、細かい活字の上を讀み始めた。それで見ると、彼の乘つて來た列車が僅か二十分をおいて再び大連へ引返すのが最後でそれ以後に出る列車も入る列車もなかつた。此の終列車が、周水子で本線の急行と連絡するやうになつてゐた。

(それでは今夜は谷の處へ泊らなければならぬかな)とさう彼が思つた時だつた。

彼はふと聞覺えのある聲を耳にした。

それは時間表を貼つてあるすぐ左の待合室の窓を通して、内部から聞えて來る聲だつた。

彼は思はず耳を傾けた。

滿日俳壇

島田青峰選

冴返る

冴返る港の朝の汽笛かな　大連　園部　紅花

冴返る朝の汽笛や泊り船

構内にベル冴返る終列車

暁の海に濃の音冴返る　香川縣　高木　宏影

紅白の夜の梅花や冴返る

一望の雪の野原や冴返る

梅溪に殘れる雪や冴返る

玻璃戸越し梅花の見えて冴返る　大連　中島　弘義

着ぶくれし苦力續くや冴返る

表忠塔白く聳えて冴返る

支那馬車の蹄の音や冴返る　齊藤店　河本　寒夢

番犬の鳴く聲絶えて冴返る

冴返る廟の前なる石の段　失名氏

除夜の鐘この寒空に冴返る　大連　占部　靜閑

山寺の筧の音や冴返る

冴返る教會の塔見えにけり　大連　小松　乙爽

冴返る湖水に近く住みにけり

下駄の音鋪道に響き冴返る　大連　岡野しのぶ

冴えきつて境の窓なる雪の富士

遠山の雪のまばらや冴返る　大連　伊藤　君州

冴返る大地に響き鐘遠し

片町の灯り届かず冴返る　金州　菊地　美枝

山道やたゞ一筋に冴返る　旅順　久保田露星

冴返るや醫師と急ぐ橋暗し

滿日俳壇 募集規定

次回課題「春の宴」「鷲」「桃の花」▲句數無制限▲用紙半紙各題別紙▲住所雅號氏名明記▲締切三月十日▲封筒に「滿日俳句」と表記の事▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

けふの放送

大連 JQAK　三月二日

▲午後六時ニュース(以下内地中繼)

▲講演(六時三十分)「亞細亞聯盟の結成と世界の平和」文學博士村川堅固

▲常磐津(七時)「伊賀越道中双六平作腹切の段」淨瑠璃常磐津政太夫、同同豐太夫、三味線同政吉郎

▲落語(七時三十分)「花見の仇討」橘家圓蔵

▲獨唱とピアノ(八時)一、獨唱(イ)別れ、アルヴアレス作曲(ロ)ジプシーの娘を求むるは誰ぞ、パイジエロ作曲、獨唱伊藤敦子、ピアノ獨奏及伴奏ジエームス・ダン、フルート助奏宮田清藏(二)ピアノ獨奏トッカータとフーガ、バッハ作曲、タウジッヒ編曲(三)獨唱(イ)朝の歌レオンカヴアロ作曲(ロ)ジプシーと鳥(フルート助奏付)ベネディクト作曲(ハ)歌劇椿姫さらばこの世、ヴエルディ作曲

(以下大連放送局より)

▲(八時三十一分)職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

婦女界(三月號)

「夫の職業と妻の苦心を語る座談會」は婚期にある女性も母親も、配偶者の選擇上ぜひ讀んでおく必要がある、ほかに「新時代の結婚行進曲」「話題の結婚四重奏」「結婚適齡期日記」等々、募集實話「貞操を蹂躪された女性手記」「夫の性病に感染して悩む妻」興味讀物は「國際愛戀局の裁判傍聽記」「女優森静子の悲戀物語」「歌姫淡谷のり子の悲愛巡禮」等々、實用記事では「婦人子供服を經濟に着るコツを語る座談會」「結婚すれば惡化する病氣と手當」「性病の話」などがある、附錄「家庭百科重寶辭典」今月の第六卷で完結した、(附錄共定價五十錢送料七錢東京丸ビル婦女界社發行)

婦人と修養(三月號)

特輯記事「職業婦人になる手引」「税金の話」「私の父母を語る」では鳩山、荒木、駒井、三令孃に林芙美子、ダン道子、水谷八重子及川道子の七女性が、その兩親と共に」「跡見花蹊傳」「世渡りの道」「子供をはじめて入學させるお母樣への注意」など、また季節向の活花、流産の注意、美容、裁縫、お菓子のつくり方等の一般實際の記事、文藝欄では「足利時子」等がある(定價二十錢、東京丸ビル婦女界社)

幼年の友(三月號)

「石コロ太郎」「日吉丸」「タンクの六サン」「チリリン太郎」「チユ吉とヤン吉」「トンマクラベ」「コハガリ三助」「大ツブノナミダ」「ターワン」「犬メテガラ」「ズケサンカクサン」等二十餘の粒よりの童話、附錄として組立物「ウゴクペリカン」「タコオドリ」(定價四十錢、送料二錢、東京丸ビル婦女界社發行)

廣告部電四四九一番

飢餓線上にあへぐ本溪農村を救ふ者
陳縣長と小島參事の好スクラム

四

小島參事は二十二日夜行で鳳凰城から歸つて來た。そこには小島氏が眼のなかに入れても痛くない愛息が病氣で入院し、夫人は二人の幼兒をつれてつき切りといふ傷ましい場景が彼を待つてゐた。併し彼は病に惱む愛息を看護する暇もなく「お父ちやん〳〵」と病床に父を連呼する可憐な聲を背にして、又もや二十三日午前十一時三分の列車で南下する彼であつた。憔悴の間席暖らざるとは彼の此の頃である。それにしても何といふ悲壯、何といふ熱情だらう、小島參事の心情に一掬の感涙なきものは一人としてなかつた。

無心の汽車は傷心の人、小島參事を載せて南下する。

窓外に繽紛と降る雪は、その行途の苦しさを偲ばさしむるが、瞑目する彼の瞼に映るは、愛兒への切々たるおもひか、彼の來るのを待ち佗る農村民衆か。

車中に訪れた記者に彼は沈痛な語調を以て語るのであつた。

「農村がすつかり疲弊してゐるのは事實です、併し滿洲農村は日本內地と異つて、生活のコストがいくらでも切り下げることが出來るので、彼等の生活は比較的固定してゐます、從つていま急に政策を持つて、或は計畫を樹て、彼等の生活をどうかうしようといふより自然の推移のうちに生活の向上を逝らしめれば駄目です、それより日本に、はつきりした滿洲農民のためにといふ、國民感情が橫溢して來れば、滿洲住民の文化開發は望めません、先日も滿鐵の人が、朝鮮人の學校の問題で見えましたが、滿鐵の人などもう少し現實に觸れれば、ピッタリとした意見は涌いて來ません」

農民生活の實際に入り込む彼としては、政策的な、或は机上に作つた計畫に對しては少しも興味が涌かない、農民と共に泣き、共に苦しみ、共に喜ぶといふ脈々たる血が躍ることでなければ、彼の如き第一線の闘士には關心が涌いて來ないのだ。

五

溫厚寛仁の縣長陳藤翹氏と、熱誠果敢の參事小島龍象氏に、加ふるに若き後藝宮崎、小曾根の兩副參事を配したスクラムは、ガッチリと組んで、飢餓線上に彷徨する本溪縣農民に、醒めよ！と響く生命の曉鐘を打鳴らしてゐる。

見よ！彼等の努力は、城廠から草河口への農村道路となり、或は草河口の本溪縣編入となつて實現しようとしてゐる。

春陽嬉々と戯る、下、城廠から草河口への榮花十里の野に、一條の道路が布かれ、街道には野菜や或は鑛產物を積んだ車馬が絡驛としてつらなり、大地に鋤鎖を投じて耕す人々の面上には、包み切れない生活の喜びが浮んでゐる。蕩々たる哉王道！熙々たるかな滿洲國！それは夢ではない。陳縣長小島參事、宮崎、小曾根副參事等の力によつて實現されようとしてゐるのだ、春待つ乙女子の如く樂しき運命はいま本溪縣農村に微笑みかけようとしてゐるのだ。

本溪縣農民に祝福あれ！

陳縣長、小島參事等の努力に加餐あれ！（完）

有望な多角形的農園經營法
蓋平、辰巳兩園の發展

【熊岳城】滿洲農業移民の奬勵せらるゝ今日大農法式純滿洲農業の基礎を作る前に內地式滿洲農業經營法の基本智識は目下の急務であるが半歲の結氷期を有する滿洲農業經營法はその第一着手として單一制農業は不適當で滿洲農業に成功せんとする者はすべからく多角形的農業經營法に

着目 すべきである、この點よりしてその好模範ともすべき各農園の經營法は熊岳城及蓋平附近の各農園の經營法で單一農業に達する迄の產業の合理化、農業の經濟化はこの兩地方の特色とする處より滿洲農業の將來に着目する內地よりの視察者が先づ第一にこの兩地方に足を止むるに至つた事は昨年來大いに注目に價する事實である、就中その道の專門家とせらるゝ蓋平農園主佐々木方策氏の經營法は滿鐵農務課に於ても同地方視察者に極めて興味を以つて紹介せられてゐる狀態であるが氏の一年作實利主義早生トマト苗及びトマト果實成の經濟化に依る年收數千圓の純利に就ては既に世人周知の成績であるが氏は本年度に於て新に四棟の溫室を設け蓋平トマトの外に珍種

美味 な早生メロンの栽培に着手し二月中旬既に活々とした花の蕾が將に綻びんとする情景は氷つく滿洲に一寸珍しい趣を有してゐる、之れと相並んで同處驛接辰巳農園若松周吉氏の早生優良トマトも昨年來非常の成績と好評を收め既に兩園に對するトマト苗の注文が續々は入つて來たと云ふ珍現象に多角形的農業經營法は益々注目さるゝに至つた、一方注目的たる苹果樹は樹齡結實期に入り需要豐富昨年度等數萬斤の不足を告げたといふ大根、葱其他の蔬菜類は益々相場も上昇し地元不足の賣行き盛況將來滿洲農業に成功せんとする人々の好資料として熊岳城の農業と共に益々世に知られて來た

撫順炭礦增掘で早くも繁忙
いよ〳〵新年度から

【撫順】撫順炭礦七百萬噸出炭計畫は既報の如く今回山元提出の追加豫算決定と同時に、いよ〳〵來る四月の新年度から實行に移さることゝなり、こゝもと有卦に入つた撫順炭礦は久方振りに繁忙の日を迎へて、早くも右百萬屯增掘に要する諸機械類の注文や露天掘上層剝土作業の準備に忙がしいが聞く處によれば口には百萬噸增掘と簡單にいふも實際上合理的に百萬噸を增掘することは却々至難の大事業で今直ぐといふわけにいかず新年度からといつても施設の關係でいよ〳〵本格的に大々的增掘を見るのは早くとも先づ十月頃になる模樣で場合によつては十一月乃至は十二月になるやも知れずとあり目下坂口採炭課長以下關係エキスパート一同大車輪の體である即ち增掘採炭所は主として古城子露天掘で同所には現在所謂撫順頁岩を除去するため電氣ショベル二百B二臺百五十B一臺百廿B八臺百三B一臺五十B三臺及び運搬用の電車十六輛汽車十七輛ダンプカー三百六十輛の施設あり本年度は約一千八百萬噸の剝岩を行ひ二百四十五萬噸の石炭を採掘したるも新年度には二千二百萬噸を剝離して三百三十萬噸の採炭を行ふ計畫であるので差引剝離作業に於て約四百萬噸採炭高に於て八十五萬噸合計四百八十五萬噸の作業增加となるべく之は現在の施設を以つては到底及びもつかず、こゝに追加豫算を以て百二十Bショベル二臺十噸電車六輛及びダンプガー三十六輛を新規購入して上記の作業に當ることゝなつてゐるわけであるが神戶製鋼を始め內地機械製作會社は目下軍需工業に追はれて繁忙を極めてゐる際とて右の如き機械百七八十萬圓にも上る機械類が果して豫期の如く出來るや否や關係當事者が氣を揉むのも無理はないが萬一にも然る場合は折角の增掘計畫に一大支障を來し非常なる無理を伴ふであらうと

金州名物の漬物
驛頭に進出
容器も美裝を凝して

【金州】金州名物として全滿各地に嗜好せらるゝに至つた金州漬物が愈々美裝を凝らした容器に入れられ、驛賣として驛頭にお目見得することゝなつた

驛前の岩崎漬物店では名物宣傳に鋭意大童となつてゐたが、此の程滿鐵側の諒解を得たので初志の通り近く茄子辛子漬正味三百匁入の美麗容器のものを五十錢、大根粕漬正味五百匁入同容器のものを七十錢何れも、利益を度外視して奉仕的販賣を決行することにしたのであるが旅行者に取つては簡易であり、しかも恰好の土產物として必ずや好評を博することゝ思はる、從來驛頭に騷高らかに叫ばれた名物金州林檎に今一つ金州漬が加へられて非常な賑はひを呈することゝなるであらう

撫順鮮農に農耕資金

【撫順】當地鮮人會金融組合では近く開耕期に入るので例年通り管下鮮農に對し農耕資金の貸付を開始する筈で目下借入金額及びその信用程度等を調查中である、而して昨年は模員約六百名に對し總額約六萬圓を融通したといふ豐作に加へて相場騰貴したる等の關係で農家の懷工合よく從つて殆ど全部の回收を見たといふ好結果であつたので、本年も少くとも同樣六萬圓程度の貸付を行ふ筈であるが、元來同會は奉天東亞勸業會社より日步二錢八厘で融通を受けたのを農民には五錢の日步で貸付けて居るし鮮農間にも漸く利子引下げの要望が稱へられてゐるので本年は多少の利子引下げを行ふべく總督府等と協議研究中である

南滿中學堂卒業式

【奉天】南滿中學堂第十五回卒業式並に第一回日語專修科修了式は二十八日午前十時から同學堂講堂に於て擧行され本科生三十六名及び日語專修科生二十四名に對し卒業證書が授與され品行方正學術優等の廉を以て本科卒業の洪錫九君には奉天省長賞、劉盛德君には總裁賞、王紹廷、李世維の兩君には總領事賞、洪錫九、宮維漢、鄒福林の三君には堂長賞が夫々授與されたがこれ等卒業生並に修了生は本科生十三名修了生十六名實務志望を除く外全部內地大學、專門學校入學志望で日滿關係の緊密になると共に滿洲國人の日語研究熱が非常に旺盛となつて來た一現象であるが今その志望別を擧げると左の如し

▲本科生　滿洲醫大豫科五名、日專門部三名、明治專門三名、旅順工大豫科五名、高校二名、高工一名、高商一名、早大專門部一名、上海美術校一名、鐵道教習所一名、實務十三名

▲日語專修科生　高商七名、滿洲醫大豫科一名、實務十六名

英雄の忙中閑日月
小山總帥の餘技

【新京】討熱軍事工作も愈々開始され日滿兩軍事當局は目の廻る多忙を極め恐ろしい緊張裡に軍務を執つてゐるが英雄の忙中閑日月は大和魂に付きものゝ最も美しい長所である、新京附近治安の總帥小山憲兵中佐は熱河討匪軍の士氣を鼓舞する意味で鴨綠江節なものして左の如く披露に及ぶ

一、滿洲國僕は君、君や僕故に苦勞しもするさ、せもする
　孤軍奮鬪衛國還一百里程[illegible]
　互に手を執り睦しく
　晴れて世界を蜜月旅行

二、滿蒙の沃野千里の大曠野今ぢや匪賊の影もなく
　王道樂土のユートッピア
　世界に類なき新國家

三、滿蒙は不毛の地ぢやと誰云ふた
　日本と滿洲の丹精で
　今ぢや五穀の花盛り
　やがて文化の實を結ぶ

四、胡砂吹くと誇らば誇れ滿蒙は
　日本と滿洲の丹精で
　今ぢやアジアの理想鄉
　王道樂土の新國家

長春庵の景勝地
遊覽道路を新設
四月上旬を期し開通式

【旅順】旅順北道路の開通と共に著しく聲價を高めた三澗堡會濟家屯と土城子に在る長春庵は陽春から秋色濃まやかな三季を通じ隱れたる景勝地として旅順民政署では關東廳土木課に依賴し之れが遊覽道路の新設に着手し既に大半の工事を終り來る四月上旬を期し竣工開通式を擧げる事となつた同新設道路は延長約一、八五四、五米路面幅員五米を有し路面築造面積は九二七二五平方米にて總經費二、二四八圓强である、然しこの金額中には村民の賦役價格一七、四八圓餘が含まれてゐる

奇特な婦人
金一封寄贈

【奉天】二十七日正午ごろ二人の子供を連れた三十歲前後の婦人が奉天特務機關を訪れ滿洲派遣軍にと金二圓を寄贈し名も語らず立ち去つたがこの奇特な婦人の行爲に特務機關では大いに賞讚してゐる

窮困者に寄附

【鞍山】鞍山在鄉軍人分會有志發起の下に窮困者石坂、樺澤兩氏救濟募金の企てに對し南驛前通仁和煤礦佐藤新藏氏は手紙を添へ金二十圓を寄贈し來つたと

渾河下流に
渡船業出願

【撫順】附屬地市街及び渾河對岸の撫順城及び河北各部落瀋海線撫順驛との交通は事變後とみに頻繁となり解氷以後は一層その度を加ふるものとみられ昨年末完成した永安橋の殷賑が思はるゝが、千金寨滿洲人は一般に上流に偏せる永安橋より下流楊柏堡川の合流地點より渡河するを便とせるところから渾河の解氷に先だち早くも渡船業を企圖する者もあり、市內西四條通陶山治作氏は逸早く小船三隻をもつて第三發電所下から渡船業を營みたき旨その筋に許可を願出た

綏芬河附近の
匪賊の狀況

【新京】綏芬河地方における現有匪賊總數は約一千と稱されてゐるが情報に依れば之等匪賊團は各部隊に分れ何等統制なきものにして問題視するに足るものはないがその頭目兵力系統等をあぐれば左の如し

頭目	兵力	系統及その他
天和	五〇	元地方民田
四海	五〇	元王德林軍
東洋	五〇	元關旅長の部下
點東邊	一〇〇	元關旅長の部隊
東山好	八〇	元關旅長の部隊
青龍	七〇	元王德林軍
青林	七〇	元王德林軍
鄒旅長	一〇〇	元關旅長の部隊
雀連長	一〇〇	元王德林軍

建國記念展

【鞍山】鞍山小學校では滿洲建國一周年記念日に際し滿洲國協和會並に關東軍其他から蒐集した滿洲國の記念ポスターを二十八日から向ふ一週間に亘り同校講堂に陳列し記念展覽會を開催して居るが講堂一パイに貼布され一般參觀を歡迎しつゝあり展覽會として中々觀られるものがある

奇特な產婆

【鞍山】鞍山北一條町豆腐製造販賣業某は昨秋渡滿來鞍し豆腐製造から販賣まで人手を傭はず働き續けたが生活に惠まれず三人の子供[illegible]なか〳〵臨月の妻に寢込まれどうすることも出來ず遂に濟生會の救助を受くるに至つたが豫て此の窮狀に同情した同町內の產婆角南さきの氏はいたく同情し無料にて助產婦一切の手當を施し產褥を見舞ひ何くれと世話し數日前玉の樣な女の子を無事分娩した、其後も引續き世話をして居るが同氏は此外にも貧窮者の家庭に就き無料で產婦の手當を施した事多く町內の人々は常に奇特な行爲を賞讚して居る

撫順の火事

【撫順】二十八日午前五時三十分頃市內永安大街二一滿鐵消費組合ラヂオ御用商時政友治(三四)方階下修理場より出火、室內の椅子テーブル、ラヂオ材料等に轉火燃え擴がれるを折柄通行中の撫順守備隊角田中尉が發見表戶を叩いて家人に急を告ぐるも階上に就寢中のこととて通ぜず同中尉は思ひ切つて腰間の軍刀を以て窓を破壞し室內に侵入直にかくと消防隊に急報すると共に家人を叩き起してバケツに水を汲み消火につとめ間もなく消防隊の出動により約四十分後鎮火した、原因は修理用電流の放置か漏電か出火と同時に撫順署司法係藤本警部補急行取調を開始してゐるがいまだ不明、損害は完成ラヂオセット二十七臺時價約二千七百圓同組立材料五十臺分其他にて三千五百餘圓に上つてゐる

金に窮して心中
奉天の心中事件詳報

【奉天】既報、廿八日午前九時半頃市內八幡町二番地文化アパート二階十六號室に於て福島縣耶麻郡猪苗代町生れ明治製菓販賣擴張員淺井清一(三九)と岡山市花畑町生れ市內柳町五番地料理店松の家抱藝妓福丸事豐田ゆきえ(二九)の兩名が瓦斯心中を遂げたが淺井は昨年七月明治製菓販賣擴張員として來奉し市內住吉町六番地に居住し本年一月十五日現在のアパートに轉居したもので又福丸は一昨年十二月前借一千圓三年六ケ月の年妓として安奉線橋頭武藏野から仕替へて來たもので淺井とは昨年十月頃から馴染を重ねてゐたが二十七日午後七時頃淺井は柳町料理店福の家に登樓して福丸を呼び金に窮して心中を決意し之を最後と散財をなしそのまゝ兩人手を取つて淺井の自宅前記アパートに歸り二十八日午後四時頃更に兩名ともウイスキー一本をあふり室を閉ぢて瓦斯管を引き心中してゐるのを家主が發見して大騷ぎとなり奉天署に屆出たもので發見した時は既に死後二時間を經過してゐた

撫順體育協會

【撫順】體育協會理事會は三日午後一時より中央事務所會議室に於て開會八年度豫算及び川口會計部長送別其他につき協議の豫定

郷軍將校團
北滿視察

【撫順】郷軍撫順分會將校團約五十名は來る三月三十一日から一週間の豫定で北滿視察旅行に向ふ由であるが、四月一日チチハル、二三日昂々溪四日、ハルピン五日、新京、吉林を視察六日歸撫の豫定である、尚哈市は前奉天支部長島本大隊長の講演を聽く筈と

中西地方部長

【鞍山】滿鐵地方部長中西敏憲氏は一日午後三時着急行列車にて來鞍し地方部關係各箇所を初度巡視し守備隊、警察署、憲兵隊等を訪問し時局に奮闘せらるゝに就き感謝の意を表し、製鐵所其他を歷訪挨拶なし午後五時半から臺町俱樂部に於て鞍山各方面代表者多數を招待し披露宴を張り午後七時四十八分發列車にて湯崗子に至り一泊二日大石橋に向ふ豫定である

旅順市助役
廿五日附で認可

【旅順】旅順市助役に推された岸田愛文氏は二十七日正午廿五日附を以て認可發令となつた、因に水野豐氏の認可は兩三日中發令の筈

山海關改稱

【奉天】從來山海關を臨榆縣と稱して居たが去る一月二十六日（舊正元日）より海平縣と改稱する事となつた

瓦斯に中毒

【鞍山】鞍山製鐵所燒風爐の改造作業中であつた柳西屯生れ趙鳳起(四七)並八家子生れ李振東(四七)は二十七日午後四時頃完全爐の附近で休憩中漏出せる瓦斯の中毒を受け昏倒し滿鐵醫院に於て應急治療を行つたが遂に蘇生せず二十八日聚落莊に於て葬儀を行ひ遺骸は家族に引き渡したと

川口氏送別會

【撫順】撫順炭礦會計係主任川口芳蓮氏は今回本社鐵道部に榮轉不日出發することゝなつたが、體育協會では會計部長の送別會として三日午後五時より山陽樓に於て同會主催の送別會を催すと伺會費五圓二日午後三時までに社會係まで申込まれたしと

非常時の奉天

【奉天】ダンス排擊の聲で些かホール界は寂寥の觀あり非常時奉天にふさはしいダンス黨の緊張振▲關東廳局長の奉天驛通過又は來奉に奉天警察署では常に署長以下署員幹部總動員の送迎である▲心からの送迎は勿論惡いことではないが――▲局長としてはこの際署長が署長不在ならば署長代理の出迎へにしたらどうだらうかと傍く▲署員幹部が浪速通大街をサイドカーで疾驅すると市民はスワ何事かと怖く▲奉天全市民は事變來寧日なき警察官各位の努力により安心して生活のできるを感謝してゐる▲其れだけ各幹部の揃ふた出動を視ると何だらう？と考へるのだ▲連日休む暇のない署幹部の人々の繚繞だけでも少しは休める時がありたい▲これは奉天全市民の希望でありますと

臨時 花柳病豫防協會特報

治淋熱療器 特別宣傳

熱療器一揃「金五圓」

救世的實費分讓は社會公益の一端であるが、事實藥に一錢の價か坊間のみで全快する二週分の價格を用ひ得る最新の器械を購入出來るので有ます

熱の力で『りん病』を治す

『治淋熱療器』特許さる

發明者は一銀行家

淋病患者が常に經驗する如く、淋病は一度罹つたが最後、假令手當をしてもしなくとも必ず慢性になる。そして**た淋病は最早如何なる手當をしても根治するものでない**といふのが、現代醫學上の定説……淋病は絶對に治らぬかと云ふに必ずしも左樣でない。彼のチブスその他高熱の病に數週間惱まされて居た患者が全快……治して、根本的に病根を絶つ事も現代醫學の認むる定説である。つまり淋菌は熱に對して非常に弱く、**四十度前後の熱に逢ふと容易に死滅するといふ、淋菌特有の弱點に重點を置いて、**職を賭し身命を擲ち數……**て遂に「治淋熱療器」を案出して、治淋上に革新の烽火を擧げたものは實に是等専門家と全然畑違ひの一銀行家である。**

同器の特色とする所は別項日本政府特許公報記載の如く「最も簡易に合理的に應用し、何人にても安全自由に使用……的を達し得る」點であつて、如何なる素人と雖も何等の練習を要せず、即日合理的治療が施せる點である。要するには凡て間接防禦的で、淋菌そのものに對して之を全滅する力がなかつたのであるが、熱療器はこの化學藥の行詰まり……接淋菌そのものを死滅せしめて、原因的治療の効果を發揮したものと稱すべきである。

……して非常に弱いからでありまして四十度前後の熱において完全に死滅するのであります。しかし如何にして淋菌を死滅せしむるかといふ方法は、いまだ發表せられてゐなかつたのでありますが、今回一銀行家の手によつて此難問題が解決せられたので有ます。

日本政府特許公報に安全にして自由に其の目的を達すると發表された熱療器 素人に

りん病不治論は化學藥の行き詰り

藥物で全快せぬ理由

漢方

……内服藥として殆ど**バルサム**か**白檀油製劑**に限られてゐまして、殊に前者は胃腸腎臟を刺戟し連用に耐へないのでありますが、頗る安價で一日分の原價數錢で足る處から、奸商の乘ずる所となり、有名藥中に之を主藥とせる者甚だ多く巧に藥九層倍の暴利を貪つてゐる物も少くない。又洗滌藥としてはレゾルチン水、硫酸タルリン水、次硝酸蒼鉛水、プロタルゴール等、挿入藥としてはペルーバルサム硝酸銀等で油で練つ……

日本政府特許公報

記載發表の原文

抑も淋菌は攝氏四十度内外の加熱により容易に死滅するものなるは斯界學者の汎く認證する所にして本案は是を最も簡易合理的に應用し何人にても安全自由に使用して克く其目的を達し得る特徴あるものとす（以上原文のまゝ）

▶熱療器と特許局下附の登録證書◀

實用新案登録證　登録第一二一〇六號　考案者　實用新案ノ名稱　熱療器　前記實用新案ハ登録スヘキモノト確定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登録シ本證ヲ下付ス　昭和　年一月　日　特許局長官　崎川才四郎

圖入使用法附屬品其他一式付　**金五圓**　内地無料　地方小包料六十錢（殖民地は）

分讓申込所

東京荒川區上尾久二七三一　**花柳病豫防協會**　振替口座東京七一七三八

【淋菌の巣窟を灼く熱療器】

淋菌と共に無効賣藥の征服

博士學者が證明した以上の日本政府特許局の登録證

慢性でも淋菌は熱の力で減滅す

素人に出來る熱療法

高熱を利用して

淋病を放任

してはおくとなぜいけないか？

過れる藥物療法、猛烈な淋菌も、熱の力で死滅す素人に出來る熱療法

放任していゝといふ疾病は一つもないがその内でも淋病は特に然りである。

淋病を完全に全治しないでゐると徐々に陰〇は〇〇不能の傾向を來し、生存々續上當然の權利であり享樂である交〇不可能となり肉體的破滅を來すばかりでなく精神的にメランコリーに陥る。延いては早老を來し遂に生活戰線上の敗殘者となつて悲慘な死を招くに至る。夫婦間に子寶が得られないばかりでなく男性の淋病は當然妻女にもこれを及ぼし婦女子は子宮病にヒステリーに不姙症に陷り悲慘な破滅は一家に及ぶに至るのである。何淋病を放任して置いて併發する男女の淋疾患性諸症の二、三に就いて述べてみると。

◇包皮〇頭炎――は多くは包莖と……

熱療器が喜ばれる諸點

◇效果が……
◇愉快に治療出來る點
◇誰にも使用出來る器械の構造
◇熱度の調節が自由自在な點
◇使用に際し場所を擇ばない
◇價格の安い點

幸ひに特許權當會の主權に落ち

救世的實費分讓

おたより

熱療器と使用回數の適度

應答一束

全快者の禮狀や専門家の賞讃と共に種々本器に對する質問がありますが、相互の手數を省くため總括的に左記揭載して參考に供します

（問）……な箱に入れてお送りしますから破損したり具合の惡くなつたりする憂ひは絶對にありません。

（問）私の惱んだ淋病もお藍で完全に全治しましたので不要になつて居る熱療器を現にこまつてゐる友人に貸してやりたいのですが……

（答）あなたの物ですから貸すのは結構ですが、念の爲め器械をよく消毒の上貸して上げて下さい。

（問）感染して約二ケ月あまりのものですが熱療器を何日位使用すれば完全に癒りますか

（答）同じ二ケ月でも體質と病氣の進行程度にもよりますが、本器の實驗例によれば大低十日間内外で好結果を得ると思ひます。

（問）熱療器を使用すれば別に養生の必要は有りませんか

（答）如何に特許の器械を使用しても養生を怠つては全治は長びきます、淋病患者の攝生法食物の選び方、並びに從來各所で販賣しつゝある賣藥の内容等は器械と共に詳しい説明書を差上げます

（問）廣い場所でなければ熱療器を使用する事は出來ませんか

（答）便所の中でも使用の出來る位の器械ですからどんな狹い場所でも秘密に治す事が出來ます。

淋菌を死滅せしむる政府特許の治淋『熱療器』

一人の全快は十人の豫防となる

淋病は何故治らぬか、それは直接淋菌其物を殺す藥がないからである。然るに此執拗な淋菌も熱に對しては非常に弱く、攝氏四十度内外にて死滅する事は普ねく認められたる事實である。此事實を根低として完全に熱を局部に送り淋菌を死滅せしむる新裝置を案出したるは、治淋上に革新の炬火を點じたものである。此の熱療器の特色は特許局公報に記載せられた如く一何人にも安全自由に使用して克く其の目的を達し得る點に存し殊に他の療器と異り治療が頗る愉快で、少しの苦痛もなく、一度始めたら治る迄やめられないのである。

淋菌の巣窟を灼く熱療器の實費提供

詳細圖解入使用法附屬品等一式付き

金五圓　送料内地無料（殖民地は金六十錢）　ハガキ申込次第急速發送

醫は仁術也療養費は最低を以て誇りとす

『一人の全快は十人の豫防となる』譯である故に、全國數百万を算する淋病患者へ斯る絶大の價値ある熱療器の實費提供の壯擧を敢行し以て花柳病の撲滅を期する次第である。

東京荒川區尾久町二七三一（下尾久北二丁目）　荒川郵便局私書函第三號

花柳病豫防協會

電話下谷四一四三番　振替東京七一七三八番

注意

一、本器は特許局下附の公報にもある如く醫學の知識無き何人にも何等の危險無く安全に使用が出來ます故淋毒に惱む諸子は即時本器に依り全快せられたし。

一、本會は各人の名譽と人格を尊重し往復文書等の秘密を絶對に嚴守尚御希望に依り變名匿名にて現品を送附しても差支へありません。

善鬼惡鬼（2）

平山蘆江作　苅谷深隍繪

血は血で斬る（二）

「兄貴、ちよつと表へ出てもらひたい」

大刀を片手に、五郎兵衛は見臺の前へ立ちふさがつた。

「何だ」

「用がある」

「そこで云へ」

「こゝでは云はれぬ用だ。お濱どのは床を展べて寢かしてやつた。あまり苦しんだ疲れで、すやすやと眠つてゐる」

「御苦勞だつた」

「禮を云ふには及ばぬ。表へ出ろ」

「やかましい」

「どうあつても出ないな」

刀は腰へ、兩手に唾をつけて、兄の肩をうしろから、ぐいと拖上げた。

兄は慌て氣味で、ふり放さうとしたが、離れない。

「狼藉をするな」

「默つて出ろ」

「無禮ものめ」

右手をりうと振つて、弟の向ふ脛へあて身を食はせると、「痛ッ」と叫んでとびすさつた。

それを尻目にかけて、兄重太郎は徐ろに立上ると、床の間に立てかけた大小の、古ぼけたのを腰にさつさと外へ出た。

五郎兵衛は不意打のあて身に、心持ちんばを引きながら、ついてゆく。

月は中天にかゝつて、もう九つ（十二時）に近い。春ながら冬の夜のやうに冴えかへつて、靜かな柳原堤の柳が、青黒い土手に、ポトリポトリと影を落してゐた。土手の下には、神田川の水が、月を泛べて光つてゐた。

弟が早足に土手へ驅け上つて、兄を待ちかまへる。兄は悠々と濕氣の多い土を踏んで、弟の前に立つた。

芽生え柳が、やわらかに、兄弟のあたまの上で、そよそよとゆれる。

「早く用を云へ」

「お濱どのは何だ」

「女だ」

「おぬしの何にあたるといふのだ」

「たしか女房である筈――」

「たしか……」

弟の聲が慄へを帶びたが、兄は水のやうに冷たかつた。

「さうだ」

「よし、女房なら女房らしくせい」

「いらぬ世話だ――弟の分際で」

五郎兵衛は何か云ひかけたが、默りこくつて、兄の顔を睨みつけた。

「用といふのはそれだけか」今度は兄が云つた。

「まだある」

「さつさと云へ。おれは學問の勉强が忙しい」

「その學問呼はりが氣に食はぬ」

「學問が」

「兄貴。一體、轟の家を何と思ふ」

「我々兄弟の父親の家の鑑は何だ」

「それがどうしたといふのだ」

「轟一刀流、父祖傳來の家の鑑を忘れて、柔弱至極な書見三昧、それでも、おぬし、父のお位牌の前で、のめのめと、その面をさらしてゐられると思ふか」

「差出た事を申すな、貴樣などにこの重太郎の心が、判つてたまるものか。第一、貴樣のやうな[illegible]劍術が何の役に立つ。たわけものめ」

兄は踵をかへして、さつさと土手を下りかけた、弟の手がぐいと伸びて、兄の刀の鐺をつかんだ。

「新陰流の劍術なら 新陰流劍術でもよい。おぬしの勉强してゐる書物は……」

「書物がどうした、何だといふのだ」

「おれは無學でも、ちやんと知つて居る。あれは只の四書五經ではあるまい。貴樣は天下禁制の本を讀んで居るのだ。おぬしが、毎日内を外にして、どこへ通つて居るか、それも判つて居る。この儘ですごしたら、轟の家はどうなると思ふ」

「やかましい。天下禁制であらうと、なからうと、おれの志ざす學問の道は、人間の履むべき道を書いてある。貴樣などのやうな人非人の道とはちがふわ」

鐺をぐいと跳ねて、重太郎はごんごん土手を下りた。

「待て」と、五郎兵衛の激しい聲が兄の頭上から浴びせかゝると、右手にさりなほした鐵扇が、ブーンと唸つて宙に飛んだ。

キネマと演藝

岳諷會改稱

渡邊三作氏は梅若流前家元梅若萬三郎師が觀世流に復歸したのでこれに隨從して觀世流に復すことになつた、なほ岳諷會は來る四月を以て第百回に相當するのでそれを機會に觀世松風會と改稱する事となつた

うわさ話

▲松竹の六車次長一路新京へ向つたが▲二十八日午後中央映畫館の安田支配人の案内で各方面に挨拶▲軍部と打合せの上一行は戰塵の巷熱河へ向ふ豫定であります、さ▲計畫してゐた映畫人協會の歡迎座談會も歸りまで延期▲藤原義江

松竹ニュース班の來滿で又燃え上つた軍事映畫の流行▲早くも日活が「動員挿話軍用列車」新興が「征け熱河へ」と昨年同社撮影隊が仕入れて行つた熱河地方の實寫をアレンジして適當にやるらしい▲株式組織問題で揉めてゐた菊太郎プロは解散して御大は寶塚キネマへ入り込むらしい。

「よみがへる曉」

新興現代劇で山内英三原作、渡邊新太郎監督、三宅義晴がクランク、桂珠子が主演、相手に新人黒川洋二が拔擢されてゐる【三月一日より映樂館で上映】

メガネデー

浪速町近江洋行が嶄然たるサービスとして近江洋行が來る廿五日より來月八日迄の十二日間を特に眼鏡に對して行ふ由なるが必要時に迫る今日、需用家には蓋し便利此の上なし此の際利用するが得策であらう

鐵道問題發表さる
けふ滿洲と東京で
滿洲交通經濟界の一轉機
宇佐美局長ら昨日奉天に出發

久しき懸案たる滿洲國の社外線問題は遂に解決し建國一周年記念の佳節たる三月一日を期し、滿洲においては午後三時大連滿鐵本社、新京滿洲國交通部において、又東京においては時差を

入れ て午後四時外務省、軍部および滿鐵支社において一齊に發表された、これより先き二月二十八日はこの劃期的事件の前日とて滿鐵本社は上を下への大混雜を來し、鐵路總局の幹部となるべき人々のプールであつた舊鐵道部長應接室およびその隣の百十三號室は午前十時といふに早くも多數の小使の手でテーブルや書類が續々運び出され、裏庭で荷造りされる、宇佐美新局長をはじめ幹部ところ四、五十名のお揃ひの名刺が一包になつて屆けられる、席を奪はれた太田、下津、天里、伊澤などの諸氏が立つたまゝ相談する人事課の藤森千春氏が雄渾の筆を

揮つ た記念すべき「鐵路總局」の大看板が運び込まれ丁寧に磨いた後白布で幾重にも包んでトラックに乘せられた、一方新線建設局となるべき鐵道部新館四階は佐藤應次郎技師は新京に行つてゐて不在だが、田邊技師、山崎參事らの新幹部を中心にいよ〳〵天下晴れて滿洲の交通開發の先驅者となる喜びを語り合つてゐる、一日匆々奉天の舊滿鐵病院跡に鐵路總局の新看板をかけて事務を開始するので總局の幹部たる宇佐美氏以下數十名の滿鐵社員は午後四時半の「はと」と午後十時の吉林行きとの一、二等を滿員にして大連驛を出發したがその度に大連驛はこの記念すべき門出を送るために滿鐵要人で人の山を築いた、かくて本一日は豫定のごとく正午後三時總務部長應接室にて石本總務部長より新職制について

發表 を行ひさらに土肥人事課長はこれに伴ふ人事異動の發表をなし、滿洲交通界の平和多幸なる前途を祝した(寫眞は揮毫を終つた鐵路總局の新看板を磨いてゐるところ)

爲替關稅撤廢案
―議會不提出に決定―

【東京一日發】關稅調査會は二十八日午後六時より藏相官邸に開會中島主税局長より幹事會原案の説明をなし、問題とされた三割五分爲替關稅の撤廢は除外され

一、内地に生産されざる藥品類三種の稅率引下

一、木材關稅引上

一、蒟蒻玉引上

等事務的なものゝみに止められ申し譯的小改正に過ぎないが、原案通り可決、午後八時散會した、本改正案は一兩日中に閣議に上程し今週中に議會上程の筈、なほ三割五分關稅改正は提出されざることゝ確實となつた

在連外商が現金取引を要求
邦商側にショックを與へた
經濟封鎖を懸念してか

國際聯盟における和協決裂し、日本の聯盟脱退を目前に控へて列國側では經濟封鎖の擧に出るであらうとの說が傳へられてより、早くも大連における對外商取引の上にデリケートな動きを見せ、某外國商館大連支店では多年に亘り毎月數千圓に上る取引ある邦商に對し最近「現金でなければ取引せぬ」との通告を發し邦商間に多大のショックを與へると同時に事態を重大視し所轄大連署高等警察外事係でも愼重内偵の結果、眞相を關東廳外事課に報告するところあつた即ち外國商店では萬一本國において經濟封鎖の擧に出でんか、邦商に對する賣掛代金の回收不能に陷るを憂慮した結果と見られ、其の他外國商店でも邦商との掛け取引を回避する傾向が增長しつゝあるに鑑み邦商間では之が對策を講ずる必要から或は問題を商工會議所へ移し協議されるに至るものと見られてゐる

米のモラトリアム說は僅に地方筋だけ
土方日銀總裁語る

【東京一日發】米國財界の不安につき土方總裁は左の如く語る

最近米國の地方には銀行のモラトリアム騷ぎがあるが財界の中心であるニューヨーク州には波及して居ない、昨日日銀着電に依ると、所謂正貨流出が多少あるやうだが、アメリカの金準備を脅す程度ではない、物價引上げの爲にする平價切下げ說に就いてはこれに先立ち戰債棒引き關稅引下げやその他の手段が殘つて居り恐らくまだ〳〵金再禁止等はしないであらう

米財界惡化で内地株慘落

二十八日人氣惡化を示した内地主力株は一日も引續き落潮を辿り北濱定期の新甫は大株百圓、大新百一圓七十錢、鐘紡百九十圓五十錢鐘新八十六圓三十錢といづれも八九圓乃至十二、三圓安と慘落し東京短期の東新も六七圓方安の百六十圓臺割れを演じたが内地株安は米國の財界惡化からモラトリアム施行や同國の金輸出禁止說などが傳へられ人氣動搖のためとみられてゐる

滿洲化學工業株大口割當を決定
購組聯合會が第一位
次で東洋窒素と三菱の順

【東京特電一日發】滿洲化學工業會社の株式募集は非常なる好成績を見たが、大口の申込みは何と云つても全國購買組合聯合會で、昨日農林省の承認を得て四萬五千株を正式に引受ける事となり、證據金を拂ひ込んだ、產業組合組織によるこの組合が、營利會社に出資する事は法規上差支へなきも、組合の精神に反するとの議論もあつたが、結局農民の利益の爲めに參加の決定を見たもので、大體左の如き條件が附されてゐる

一、聯合會を代表する取締役一名を新會社に送る事

二、年產十八萬噸のうち半數の供給を聯合會に對し優先的に認むる事

三、價格その他取引方法は他の營業に對するよりも便宜を與ふる事

なほ化學工業の株式引受は滿鐵の半數引受を除き、この聯合會が第一位で、ついで東洋窒素の三萬株三位は三菱であるが、その他財閥も相當大口を引受ける事になつてゐる

鮑駐日代表
―經濟建設聲明書を發表―

【東京特電二十八日發】鮑滿洲國駐日代表は今日午後二時麻布櫻田町の公署に在京新聞通信記者を招待し滿洲國經濟建設に關する聲明(新京政府發表と同樣のもの)を公表、說明を加へた、その王道主義に基礎づける經濟建設案は頗る合理的且つ積極的であつて多大の好評を以て迎へられた

黄塵

◇…けふは善隣滿洲國の建國第一周年記念日、世界に殘された文化未開拓の處女地が、一躍東方に國して、今やこの將來には赫奕たる光輝が投げられて居る、こゝに住む三千萬民衆が、歡喜躍舞してこれを慶祝するまた故なしとしない。

◇…それにしてもこの一年はあわたゞしかつた、鄭國務總理も、この訓辭に「輕除一年」といつてる、產みの惱みを遂げた滿洲國自體の苦勞も大きかつたが、これがために拂つた我日本の犧牲も莫大なものだ。

◇…だが、これも天の大道を踏まんがためには餘儀ないことだ、熱河の肅淸治安も目睫の間に迫つてる、かくて新年滿洲國も一路文化の開發に邁進することが出來やう。

上海標金

寄値	七六八兩二
安値	七七一兩一
高値	七七二兩二
止値	七六八兩〇

各地特產發送高

▲開原		▲公主嶺	
大豆	―	大豆	―
高粱	―	高粱	―
豆粕	二車	豆粕	―
雜穀	三車	雜穀	―
▲四平街		▲新京	
大豆	二一車	大豆	八二車
高粱	―	高粱	―
豆粕	―	豆粕	八車
雜穀	―	雜穀	二五車

市場電報 (一日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片八分一
同 先物	一七片一六分三
紐育銀塊	二六仙三分一
孟買銀塊	五三留比八分三
スチール	三四弗四分一
アナコンダ	五弗〇分〇
英米爲替	三弗四一仙一六分三
米日爲替	二〇弗五〇仙
米支爲替	二九弗〇分〇

神戸日米

第一回	二〇弗四分一
第二回	二〇弗八分一
第三回	二〇弗三分三

棉花 ●米棉

現物	六仙〇五
三月	五仙八八
五月	五仙九七
七月	六仙〇九
九月	六仙二八
十一月	六仙三九
一月	六仙四六

●印棉

ベンゴール	一八〇留比
ブローチ	一六〇留比
オムラ	一四〇留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇〇〇〇	一〇一〇〇
大新	一〇一四〇	一〇二三〇
鐘紡	一九〇三〇	一九四九〇
鐘新	八六三〇	九〇三〇
日糖	七九九〇	―
郵船	―	―
滿鐵	―	六六三〇
東株	―	―
東新	一六〇六〇	一六一三〇

(短期)	大新	東新
寄値	一〇〇〇〇	一六八一
引値	一〇〇九〇	一五九三〇
高値	一〇一二〇〇	一六一一〇
安値	九八八〇	一五七三〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
鐘新 寄値	八五一〇	六〇〇〇
引値	八八三〇	六〇八〇
高値	八九七〇	六一四〇
安値	八五一〇	六〇〇〇

東株・東新・五品・豆

	前場寄	前場引
東株	一六六九〇	一五七〇〇
東新	一六六五〇	一六二九〇
五品 當	二六八〇	二六〇〇
五品 中	二六〇〇	―
五品 先	―	二六一〇
豆 新 當	―	―
豆 新 中	―	三三九〇
豆 新 先	三三一〇	三三八〇

(短期)東新滿鐵新		
寄値	一五九〇〇	四五九〇
引値	一五八五〇	四五九〇
高値	一六〇九〇	四六五〇
安値	一五七一〇	四五〇〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇〇	二三六八
中限	二三九五	二四一二
先限	二四二一	二四四三

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二三八一	二三七〇
中限	二四〇三	二四〇五
先限	二四二〇	二四四四

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三八一	二三七九
中限	二三九〇	二四一四

大阪綿糸

	前場寄	前場引
先物限	二四四五	二四六〇
三月	一七九〇〇	一七九九〇
四月	一七八一〇	一七九四〇
五月	一七八二〇	一七九九〇
六月	一七八〇〇	一七九三〇
七月	一七八六〇	一七九九〇
八月	一七九〇〇	一七九七〇
九月	一七八二〇	一七九八〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	四七五五	四七四〇
先限	五〇一五	五〇二〇

横濱生糸

	前一節	前二節
三月	六八九〇	六八八〇
四月	六九〇〇	六九二〇
五月	六九七〇	六九〇〇
六月	六九五〇	六九五〇
七月	六九六〇	六九八〇
八月	六九八〇	六九一〇

印度麻袋

鐘筋直積	二三留比四分三
靑筋直積	二四留比一六分一五
爲替相場	七九留比三分一